

# 奧太利、匈牙利

三九〇

## 第一章 國勢ノ概要

### 第一節 政治組織

憲法ハ千八百六十七年十二月二十一日制定セラレタルモノニシテ奧匈帝國ハ同一君主ノ下ニアル全然相異ナリタル二國ノ結合ヨリ成立ス

「ボスニヤ」「ヘルツェゴウイナ」ハ奧匈帝國ノ州タリ

奧國及匈國ハ外交、財政、軍事ニ關スル事項ノ外ハ各別ニ國政ヲ行フ

兩國ノ人民ハ獨逸人、匈牙利人、ボヘミヤ人、モラウ人、スロバク人、波蘭人、ルセニヤ人、クロアチヤ人、セルブ人、スラヴ人、ルーマニヤ人、伊太利人ニ屬ス而シテ此等

種ハ各地方ニ分散シアルヲ以テ兩國共ニ互ニ人種上及利益上ノ競争ヲナス

兩國行政權ノ首長ハ奧國皇帝及匈國國王ナリ

奧匈國議會ハ上下二院ヨリ成リ兩院ノ議員ハ維納ト「ブダペスト」ノ兩首府ニ交互ニ召集セラレ兩國共同ノ問題ヲ決議ス

奧匈國議會ノ外奧匈兩國ハ各固有ノ議會ヲ有ス

維納ニ於ケル奧國議會ハ奧國ノ議會ニシテ貴族院及衆議院ヨリ成リ貴族院ハ世襲議員六十五名及被選舉議員百八十名ヲ有シ衆議院ハ選舉ニ依ル議員五百十六名ヲ有ス

「ブダペスト」ニ於ケル匈國議會ハ匈國ノ國民議會ニシテ貴族院及衆議院ヨリ成リ貴族院議員ノ數ハ七百九十八人ニシテ世襲及選舉ノ兩種議員ヲ有シ衆議員ハ選舉ニ依ル議員四百二十五名ヲ有ス

### 第二節 面積及人口

奧匈國ノ總面積ハ「ボスニヤ」「ヘルツェゴビナ」兩州ヲ合シテ六十七萬六千七百七十七平方吉米即チ我カ日本帝國ヨリ大ナルコト約五平方吉米ナリ而シテ千九百九年ニ於ケル人口ハ合計五千一百二十萬六千二百二十六人ニシテ其ノ密度ハ一平方吉米ニ七

十六人ノ割合ナリ

### 第三節 一般豫算、陸軍豫算

豫算ニハ三種ノ區別アリ即チ埃匈國共同豫算、埃國豫算、匈國豫算之ナリ  
千九百九年ニ於ケル帝國及王國ノ總歲出ハ三十七億四百七十萬クローネ「クロ  
ーネ」ハ我カ約四十一錢ニ當ル」ニシテ陸軍ノ總歲出ハ四億四千九百八十萬クロー  
ネナリ今陸軍費ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

共同軍ノ爲メ 三億二千二百六十萬クローネ

埃國國防軍ノ爲メ 七千八百五十萬クローネ

匈國國防軍ノ爲メ 四千八百七十萬クローネ

千九百十年ニ於ケル共同軍ノ豫算ハ三億五千二百九十三萬五千十七クローネ  
ニシテ千九百十一年ニ於ケルモノハ三億九千六百二十三萬五千十七クローネ  
ナリ

但憲兵及陸軍警察隊ノ費用ハ以上ノ數字中ニ之ヲ含有セス

千九百十年ニ於ケル海軍豫算ハ六千六百七十五萬七千二百十クローネニシテ  
千九百十一年ニ於ケルモノハ一億二千三百二十五萬六千九百四十七クローネナ  
リ  
維持費ヲ別トシテ一兵卒保育ノ爲ニ要スル實費ハ約五百圓ニ相當ス

## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

埃匈國軍ハ之ヲ三種ニ區別ス可シ即チ左ノ如シ

埃國及匈國ニ共通ナル埃匈國共同軍

埃國國防軍

匈國國防軍

之ナリ以上ノ他戰時必要ニ際シ埃匈兩國ハ各國民軍ヲ編成ス

## 第二節 中央統轄機關

### 一 軍ノ最高元首

軍ノ最高元首ハ奧國皇帝及匈國國王ニシテ帝國ノ全陸軍ヲ統督シ將校及高等文官ヲ任免シ法令ヲ認可シ犯罪者ノ特赦ヲナスノ權ヲ有ス

### 二 軍事內局

軍事內局ハ君主ト三箇ノ陸軍省トノ中間ニ在テ事務ヲ整理スルノ機關ナリ

### 三 監軍

全軍ヲ監軍六人ニ分配シ統督セシム六監軍ノ内三名ハ維納ニ一名ハインスブルックニ一名ハブダベストニ尙ホ一名ハサラエヅヲニ駐在ス監軍ハ皇帝ニ直隸ス

### 四 帝國陸軍省

帝國陸軍省ハ共同軍ヲ管轄ス陸軍大臣ハ共同政府ノ一部ヲナスモノニシテ議會ニ對シテ責任ヲ有シ共同軍及「ボスニヤ」ヘルツエゴビナニ關スル軍ノ統帥及軍政ヲ統フ

帝國陸軍省ハ五局ヨリ成ル各局ハ將官及同相當官ヲ長トス

### 五 參謀本部

參謀總長ハ皇帝ニ直隸ス然レトモ或特別ノ場合ニ於テハ陸軍大臣ノ仲介ヲ受ク可キモノトス而シテ其ノ職權ニ屬スルモノハ陸軍ノ編制、動員、鐵道交通、作戰並徵募、教育、參謀將校ノ配布トス  
參謀本部ハ八部ヨリ成ル

### 六 陸軍文庫

陸軍文庫ハ其ノ一部ハ參謀本部ニ他ノ一部ハ陸軍省ニ屬シ(第一)歴史課(第二)古書課(第三)地圖課及(第四)圖書課ヨリ成ル

### 七 陸地測量部

陸地測量部モ亦陸軍省ト參謀本部トニ分配シ(第一)測地科(第二)地形科(第三)製圖科(第四)技術科(第五)經理科ヨリ成リ本國軍ハ勿論外國軍及陸軍部外ノ私人ノ要求ニ應シ得ル如ク宏大ナル建物ト完全ナル設備ヲ有ス

### 八 各兵種ノ總監部

騎兵、砲兵、工兵、技術兵、輜重兵、軍馬補充部、陸軍諸學校及建築ニ關スル總監部アリテ

各其ノ専門事務ヲ統轄ス尙ホ左ノ諸部ハ各専門事務ヲ管理ス

要塞砲兵監部

衛生管區司令部

衛生隊司令部

野戰牧師管區司令部 陸軍ノ宗教勤務ニ服ス

會計監督局

陸軍技術委員會 改正及發明ニ係ル事項ヲ掌リ砲兵又ハ工兵將官之ヲ管理シ

委員トシテ將校六十名ヲ有ス

衛生委員會

### 九 奧國國防省

奧國國防省ハ大臣官房及六局ヨリ成ル

### 十 奧國國防軍司令部

奧國國防軍司令官ノ職權ハ共同軍ニ於ケル總監軍ノモノニ同シク司令官ハ軍團長ノ階級ヲ有ス

### 十一 匈國國防省

匈國國防省ハ大臣官房及十一局ヨリ成ル

### 十二 匈國國防軍司令部

匈國國防軍司令官ハ奧國國防軍司令官ト同一ノ職權及階級ヲ有ス

### 第三節 地方統轄機關

全國ハ共同軍ノ爲メ之ヲ十六軍團管區ニ分テ各管區ニ軍團管區司令部ヲ置キ又奧匈兩國ヲ各數箇ノ國防軍管區ニ區分シ各司令部ヲ置キ更ニ之ヲ數箇ノ徵募區ニ分ツ其ノ他衛戍司令部、要塞司令部及局地司令部等アリテ地方統轄機關タリ

### 第四節 徵兵法

徵兵 徵兵法ハ奧匈帝國ニ關スル千八百八十九年四月十一日ノ法律、奧國國防軍ニ關スル千八百九十三年十二月二十五日ノ法律、匈國國防軍ニ關スル千八百九十年五月三十日ノ法律、國民軍ニ關スル千八百八十六年ノ法律ヲ以テ之ヲ規定ス

義務兵役期限ハ滿十九歳ヨリ四十二歳マテトス原則トシテハ免役ナルモノナシト雖モ實際ニ於テハ平時次ノ者ハ兵役ヲ免除セラル即チ教育團隊ノ會員世襲ニヨリテ土地ヲ所有シテ其處ニ居住シ且開拓ニ從事スル者眞ノ家族扶養者之ナリ但此等ノ者ト雖モ八週間徵集セラレテ教育ヲ受ケサル可カラサルモノニシテ唯、政府ノ認定シタル宗教ノ僧侶及其ノ弟子ノミ眞ノ免役トス  
兵役ニ適シ且免役ニ該當セサル者ハ抽籤ニヨリテ之ヲ左ノ二種ニ區別ス

第一種 抽籤番號ノ若キ者ハ之ヲ埃匈國共同軍ニ充用ス

第二種 自餘ノ者ハ番號ノ若キ者ヨリ順次所要定員マテ兩國ノ國防軍ニ充用ス

以上ノ要員ヲ取リタル殘餘ハ之ヲ補充兵トナス而シテ補充兵ハ又二種ニ別タル即チ其ノ一ハ共同軍ニ對スル補充兵ニシテ其ノ年ニ於ケル共同軍要員ノ五分ノ一ノ割合ヲ以テ之ニ充テ他ハ國防軍ノ補充兵ニシテ殘餘ノ兵員ヲ以テ之ニ充ツ  
兵役稅 現役ヲ免除セラレタル者ノ毎年支拂フ可キ兵役稅ハ自己及父母ノ收入ニ從ヒ計算セラルルモノニシテ收入ノ多少ニ從ヒテ其ノ率ヲ異ニス

### 兵役ノ期限及條件

共同軍 現役三年、豫備七年ニシテ豫備中ハ三回四週間宛ノ召集ヲ受ク

國防軍 國防軍現役(前記第二種兵ノ直接編入セラレタル者)ハ二年ニシテ國防軍部隊ニ於テ服務ス

國防軍豫備役ハ共同軍豫備役ヲ終リタル者及國防軍現役ヲ終リタル者ヨリ成リ前者ハ服役二年ニシテ後者ハ十年トス

國防軍豫備役者ハ次ノ如ク演習召集ヲ受ク即チ埃匈國防軍ニ在テハ國防軍現役ヨリ同豫備ニ編入セラレタル者ハ服役間累計二十週以下ノ召集ヲ受ケ共同軍豫備役ヨリ編入セラレタル者ハ四週日以内ノ召集ヲ受ク但チ「コロル」及「フオラルベル」グノ國防軍豫備役者ハ右召集ノ外毎年三回ノ射擊演習ニ出場スルヲ要ス又匈國防軍豫備役者ニ在テハ五回ノ召集ヲ受ク可シ而シテ各回ハ多クモ五週間ナリトス

國民兵役 兵役十二年ヲ終リタル者即チ國防軍ノ服役ヲ終リタル者並十九歳乃至四十二歳ノ者ニシテ他種服役ニ充當セラレサル者ハ總テ國民兵役ニ編入セ

ラ  
國民兵役ハ之ヲ二種ニ分ツ即チ第一次國民兵役及第二次國民兵役ニシテ第一次國民兵ハ三十八歳以下ノ者之ニ屬シ第二次國民兵ハ三十八歳乃至四十二歳ノ者之ニ屬ス

國民兵役者ハ召集ヲ受クルコトナシ但「チロル」及「フオラルベルグ」ノ者ハ特種ノ權利及義務ヲ有ス

「ボスニア」「ヘルルツエゴビナ」人ノ兵役 此ノ兩州人ハ特別ノ兵役條件ヲ有ス即チ兵役ハ原則トシテハ義務服役ナルモ實際ニ於テハ免役セラルル場合多ク且代償金ヲ以テ兵役ヲ免セラルルコトヲ得而シテ其ノ服役期限ハ現役三年豫備役九年ニシテ國民兵役及補充豫備役ナルモノヲ有スルコトナシ

### 徴兵ノ資源

毎年徴兵適齡ニ達スル壯丁數ハ前年ノ猶豫者ヲ加ヘテ概數五十萬人ニシテ今千九百九年議會ニ於テ票決セラレタル兵數及其ノ種別ヲ擧クレハ左ノ如シ  
共同軍(海軍ヲ含ム) 十萬三千百人

埃國國防軍

一萬九千二百四十人

「チロル」「フオラルベルグ」國防狙撃兵

七百三十人

匈國國防軍

一萬二千五百人

計

十三萬五千五百七十人

### 第五節 將校及下士

#### 一 階級

下士 伍長(下士ノ内ニ含マル)軍曹曹長及見習士官

會計下士ハ戰鬥員内ニ列セス

將校 少尉、中尉、大尉、少佐、中佐、大佐、少將、中將、大將、元帥

#### 二 下士ノ補充及進級

補充 下士ノ補充ハ専ラ兵卒中ヨリスト雖モ六箇月以上服役シ且獨逸語ヲ話シ得ルヲ要ス

進級 伍長ヨリ軍曹ニ進ムハ停年一年トシ軍曹ヨリ曹長ニ進級スルモ亦停年

一年以上ナルヲ要ス  
見習士官ハ試験ニヨリ任命セラルルモノニシテ下士ニ非ラスシテ士官候補生ナ  
リトス

**賞與金** 下士ハ服役六箇年ノ後一時賜金タル賞與金ヲ受クルノ權ヲ有シ服役  
十八年後ハ恩給ヲ受クルノ資格ヲ有ス

下士ハ服役十二年ノ後ハ文官適任證ヲ受ク

賞與金額ハ下士カ文官適任證書ヲ受領シタルカ又ハ受領以前若クハ受領ヲ辭  
シタルカニヨリテ差異アリ而シテ右第一ノ場合ニ於テハ賞與金ハ現役中受ケ  
タル最高給與額ノ百分ノ二十五トシ第二ノ場合ニ於テハ第四年ヨリ第八年マ  
テ累進ス

**救助資金** 下士ノ死亡又ハ退職等ノ場合ニ於テ其ノ家族ヲ扶助スルノ目的ヲ  
以テ定メラレタルモノニシテ政府ノ出費關係者ノ醜金等ヲ以テ成リ千九百九年  
ニハ其ノ額三十五萬四千クローネアリタリ

### 三 將校ノ補充及進級

#### 補充

將校ノ補充ニ二途アリ即チ左ノ如シ

第一 陸軍士官學校 陸軍士官學校ハ十七歳乃至二十歳ニシテ特別試験ニ合  
格シタル者ヲ入學セシメ其ノ修業年限ハ三年トス

陸軍士官學校ハ三校アリ即チ歩騎兵ノ爲メ「ウイーネル、ヌウースタット」ニ於ケル  
「マリア、テレジア」士官學校、砲工ノ爲メ「モードリング」ニ於ケル技術士官學校及  
歩騎兵ノ爲メ「匈牙利、ルドヴィカ」士官學校之ナリ

生徒ニシテ卒業試験ニ及第シタル者ハ直ニ將校ニ任命セラレ其ノ他ノ者ハ  
將校生徒トシテ部隊ニ送遣セラレ見習士官ノ階級ヲ有シ又ハ之ヲ有スルコ  
トナク他ノ將校生徒ト同シク取扱ハル

第二 士官候補生學校 此ノ學校ハ十四歳以上十七歳以下ノ少年ヲ收容ス修  
業期限ハ騎兵科ノ爲メハ三年其ノ他ノ爲メハ四年トス而シテ生徒ノ兩親ハ  
其ノ財産ニ應シ生徒ノ學資ヲ支拂フモノトス

共同軍ノ爲メ士官候補生學校數ハ十八箇ニシテ埃國國防軍ノ爲メハ一箇、匈  
國國防軍ノ爲メハ二箇アリ

生徒學校ヲ卒業スルトキハ將校生徒ノ名稱ヲ以テ軍隊ニ配賦セラレ缺員アル毎ニ其ノ卒業序列ニ從ヒ見習士官ニ任セラレ若クハ其ノ缺員ヲ待ツ間伍長ニ任命セラル

生徒將校ニ任命セラルルニハ其ノ入ラントスル部隊將校團ノ同意ヲ經ルヲ要スルモノトス

實施學校 實施學校ハ將校ノ息子ヲ入學セシムルモノニシテ修學期限ハ四箇年ナリ而シテ生徒本校ヲ卒業スルトキハ高等實施學校ニ入り三年ノ後陸軍士官學校ニ入校セシメラレ士官學校ニ入校ノ能力ナシト認メラレタル者ハ士官候補生學校ニ入校セシメラル

實施學校ノ數ハ埃國ニ六校、匈國ニ四校アリ

進級 進級ハ原則トシテ停年ニ依ル然レトモ例外ノ場合ニ於テハ拔擢ニ依ル而シテ進級ハ左ノ諸部類ニ從ヒ各別ニ行ハルルモノトス

- (一) 參謀團
- (二) 技術參謀團
- (三) 步兵獵兵、工兵、鐵道兵、電信兵
- (四) 騎兵
- (五) 野戰砲兵
- (六) 要塞砲兵
- (七) 衛生隊
- (八) 輜重兵
- (九) 被服勤務
- (十) 隊外現役將校(アルメ)

トスタン

同停年ニ於ケル第一部類即チ參謀團ノ將校進級セサルトキハ他ノ部類ノ將校ハ進級スルコトヲ得ス又第九及第十部類ノ將校ハ他ノ八部類ニ於ケル同停年ノ將校總テ進級シタル後ニ非ラサレハ進級スルヲ得ス

大尉マテハ專ラ停年ニヨリテ進級ス大尉ヨリ少佐ニ進級スルニハ試験ヲナシ其ノ結果ニヨリ大尉トシテ其ノ階級ニ止ム可キカ進級ノ順序ニ達シタルトキハ進級セシム可キカヲ定ムルモノトス但陸軍大學校、砲兵高等學校、工兵高等學校ヲ卒業シタル者ハ試験ヲ受クルコトナシ而シテ大尉ヨリ少佐ヘノ進級ニ於テ拔擢進級ト停年進級トノ比例ハ一ト五ノ割合ニシテ又拔擢進級ト雖モ停年順序ノ四分ノ一以上ニ在ル者ニ非ラサレハ拔擢セラルルコトナシ

大佐以上ノ進級ハ進級適任ノ證書ヲ有スル者ノ内ヨリ專ラ停年ニヨリテ進級セシム故ニ參謀將校ニ非ラサレハ殆ト將官ニ進級スルコト能ハサルナリ

國防軍將校ノ補充進級ニ關シテハ略、共同軍將校ニ同シ

四 將校ノ地位



「アルメーランド」現役勤務ニ不適當トナリ他ノ軍隊ニ於テハ退職ス可  
キ將校ハ「アルメーランド」ノ名稱ヲ以テ勤務ヲ繼續スルコトヲ得  
「アルメーランド」ニ三種アリ第一種ハ陸軍省監軍部參謀本部諸陸軍管區司令部  
陸地測量部諸委員會諸學校軍馬補充部鐵道勤務等ニ採用セラレ第二種ハ要塞職  
員陸軍監獄補充馬廠ノ職員ニ採用セラレ第三種ハ文庫ノ係員ニ採用セラレ  
退職將校 退職將校ハ「アルメーランド」ノ將校ト共ニ該將校ト同様ノ職務ニ  
採用セラレルコトヲ得

國有鐵道乘車賃ノ割引 現役及退職ニ於ケル將校同相當官並其ノ妻子(子  
ハ他ニ嫁セサル者)ハ乘車證ヲ有スル場合ハ制服又ハ平服ニ在ル場合ヲ問ハス賃  
金ヲ半減ス尙ホ扶助料ヲ受クル軍人ノ寡婦及孤兒モ亦同一ノ特權ヲ受ク

### 五 補充將校

共同軍ノ豫備將校 共同軍ノ豫備將校ハ次ノ者ヨリ成ル即チ(一)現役軍ヨリ  
退職セル將校(二)現役勤務ヲ止メ且豫備役少尉ニ任命セラレタル將校生徒(三)特別  
試驗ニ及第シ且將校會議ニ於テ可決セラレタル後少尉ニ任セラレタル一年志願

兵之ナリ

一般ノ規則ハ現役ヨリ轉役シタル豫備役將校ノ外進級スルコトヲ得スト雖モ少  
尉ハ其ノ他ノ者ト雖モ三回ノ演習召集ヲ終リ尙ホ六箇月間自費ヲ以テ軍隊ニ入  
リテ見習勤務ヲナシタル者ハ中尉ニ進級セシメラル

非現役勤務ニ於ケル國防軍將校

此ノ種將校ハ次ノ者ヨリ成ル即チ

- (一)現役軍ヨリ轉入ノ將校
- (二)現役軍豫備ノ將校ヨリ轉入スル將校
- (三)國防軍ノ舊一  
年志願兵ニシテ現役軍ノ一年志願兵ト同一條件ヲ充ス者
- (四)必要ナル能力ヲ有ス  
ル下士ヨリ成ル

國民軍將校

國防軍ノ舊將校及下士ヨリ成ル

## 第六節 軍隊

### 一 步兵

共同軍 平時共同軍步兵ノ總數ハ五十八旅團トス

線列歩兵聯隊ノ總數ハ百二箇ニシテ各聯隊ハ第一ヨリ第百二ニ至ル一連番號ヲ有シ四中隊編制ノ四箇大隊ヨリ成ル而シテ百二箇聯隊中五十五箇ハ奧國ノ徵兵ヨリ成リ之ヲ獨逸聯隊ト稱シ他ノ四十七聯隊ハ之ヲ匈牙利聯隊ト稱ス尙ホ外ニ「チロル」獵兵聯隊ト稱スルモノ四箇及「ボスニア」「ヘルツェゴヴィナ」ノ歩兵聯隊四箇アリ

以上ノ各聯隊ハ補充大隊ノ爲ノ幹部隊ヲ有ス  
以上ノ外獵歩兵二十六大隊アリテ各大隊ハ四中隊及補充隊幹部一中隊ヨリ成リ全大隊ハ之ヲ獨逸大隊十八箇及匈牙利大隊八箇ニ區分スルコトヲ得尙ホ「ボスニア」「ヘルツェゴヴィナ」ノ獵兵大隊一箇アリ

**歩兵工兵** 各聯隊及獨立大隊ハ工兵將校一名ヲ各大隊ハ同下士二名ヲ各中隊ハ鐵兵四名ヲ有ス而シテ之等ノ工兵ハ戰時ニ於テ聯隊工兵支隊ヲ編組スルモノトス

**機關銃隊** 各聯隊及獨立大隊ニハ機關銃二門ヨリ成ル一隊ヲ有ス而シテ各隊ノ平時ニ於ケル編制左ノ如シ

中尉一、軍曹一、伍長二、武器掛一、銃手若クハ馭者七、鞍馬一、馱馬四

銃手ハ拳銃ヲ携帶シ背囊ヲ有セス馭者ハ騎銃ヲ有ス

**歩兵隊ノ定員** 中隊ノ定員ハ將校五、下士十、兵卒八十二（内特別制式ノ器具ヲ有スル工兵四ヲ含ム）トシ聯隊（幹部隊共）ハ將校百八、下士百八十六、兵卒千三百三十六トス但見習士官及將校生徒ハ將校中ニ含有ス

各中隊ノ工兵卒ハ聯隊本部ノ工兵將校ノ指揮ノ下ニ一小隊ニ編合スルコトヲ得

**聯隊本部ノ編制** 聯隊本部ハ大佐一、上長官一（中佐若クハ少佐ニシテ射擊教習ニ任ス）參謀將校五、聯隊副官二、大隊副官四、工兵將校一、糧食將校一、軍醫四、輜重將校一、下士三若クハ四名、樂手四十三名ヨリ成ル軍樂隊一箇（樂手、中十一名ハ有階者）聯隊ノ喇叭手一、大隊ノ乘馬喇叭手四、鼓手長一、武器掛一、傳令卒二十一名ヨリ成ル

**戰時編制** 各聯隊ハ現役大隊ノ外ニ補充幹部大隊ヲ以テ二箇ノ新大隊ヲ編制ス而シテ其ノ内一大隊ハ豫備大隊ト稱シ他ハ補充大隊ト稱ス

戰時各獵兵大隊ハ補充幹部中隊ヲ以テ二箇ノ新中隊ヲ編成ス而シテ其ノ内一  
ハ之ヲ豫備中隊ト稱シ他ハ補充中隊ト稱ス

戰時定員 大隊ハ約千人ヨリ成ル

奧國國防軍(平時)

奧國國防軍ノ步兵總數ハ十六箇旅團トス

步兵聯隊ノ總數ハ四十箇ニシテ一連番號及聯隊本部所在地ノ名稱ヲ以テ稱フ  
ル特稱ヲ有ス

定員 各聯隊ハ平時將校(見習士官及將校生徒ヲ含ム)八十下士百二十二兵卒六

百十四名ヲ有ス

一聯隊ハ三大隊ヨリ成ル

機關銃隊 奧國國防軍步兵ハ各大隊毎ニ四門編制ノ機關銃大隊ヲ有ス

戰時奧國國防軍各聯隊ハ其ノ完成ナル三大隊ノ外豫備ノ一大隊補充一大隊及  
司令部ノ衛兵一中隊ヲ編成ス

匈國國防軍(平時)

匈國國防軍ハ平時步兵十四旅團ヲ有ス各旅團ハ其ノ司令部所在地方ノ名稱ヲ  
以テ稱呼ス

聯隊ノ總數ハ二十八箇ニシテ各聯隊ハ三若クハ四大隊編制(總計九十四大隊)ニ  
シテ番號及所在地方ノ名稱ヲ以テ稱呼ス

定員 中隊ハ將校五下士七兵卒四十三ヨリ成リ四大隊編制ノ聯隊ハ將校百九

下士百三十四兵卒七百二十六ヨリ成ル尙ホ十箇ノ聯隊ニ於テハ右ノ外大隊ノ  
一幹部隊ヲ有ス

戰時諸聯隊ハ其ノ平時諸大隊ノ外補充一大隊及司令部ノ衛兵一中隊ヲ編成ス  
尙ホ大隊ノ幹部隊ヲ有スル諸聯隊ニ在テハ豫備一大隊ノ編成ヲナス

戰時一大隊ノ定員ハ約千人トス

奧國及匈國國民軍

戰時ニ際シ必要ニ應シ國民軍ハ選拔大隊及地方大隊ヲ編成ス

## 二 騎 兵

共同軍 共同軍ニ屬スル騎兵ノ總數ハ十九旅團トス

騎兵聯隊ノ總數ハ四十二聯隊ニシテ總テ輕騎兵トシ重騎兵ヲ有セス而シテ諸聯隊ハ其ノ服裝軍馬ノ補充及武器等ニ於テ異ナル所ナシト雖モ次ノ如ク區別セラル

龍騎兵十五箇聯隊 第一ヨリ第十五ニ至ル番號ヲ有シ「ボヘーム」及獨逸諸國ニ於テ補充セラル

鎗騎兵十一箇聯隊 第一ヨリ第十三(第九第十ノ番號ヲ缺ク)ニ至ル番號ヲ有シ一般ニ「ガリチア」ニ於テ補充ス

輕騎兵十六聯隊 第一ヨリ第十六ニ至ル番號ヲ有シ匈牙利ニ於テ補充ス各聯隊ハ六箇中隊及補充一隊ヨリ成リ尙ホ騎兵工兵一小隊(將校一、下士卒二十五)並電信一分隊ヲ有ス

機關銃隊 平時ニ於テハ騎兵師團及獨立騎兵旅團毎ニ四門編成ノ機關一隊ヲ配屬ス各隊ハ大尉一、中尉二、下士七、兵卒五十、馬匹五十七ヨリ成ル

騎兵隊ノ定員 騎兵中隊(四小隊)ハ將校五、下士二十一、兵卒百四十五(内四名ハ特別ノ器具ヲ有スル工兵トス)ヨリ成ル

### 戰時編制

各聯隊ハ戰時其ノ補充幹部隊ヲ以テ新中隊二箇ヲ編成シ其ノ一ハ豫備中隊ニシテ他ハ補充中隊トス尙ホ各聯隊ハ各將校一、下士卒五十ヨリ成ル二小隊ヲ編成シ司令部ノ衛兵中隊ノ組織ニ宛ツ

戰時騎兵一中隊ノ定員ハ約百五十騎トス

### 奧國國防軍

平時奧國國防軍騎兵ハ六中隊及補充幹部隊一隊ヨリ成ル六箇聯隊「チロル」乘馬狙擊兵三中隊「ダルマチア」乘馬狙擊兵二中隊ヨリ成ル

定員 平時騎兵中隊ノ定員ハ將校三、下士卒六十三ニシテ戰時ハ共同軍ノモノト同定員ナリトス

### 匈國國防軍

平時匈國國防軍騎兵ハ輕騎兵十聯隊ヨリ成リ各聯隊ハ一連番號及其ノ所在地方ノ名稱ヲ以テ稱呼スル特稱ヲ有シ各六中隊及補充幹部一隊ヨリ成ル

定員 平時一中隊ハ將校四、下士卒六十五、馬匹五十四ヨリ成リ戰時ハ共同軍ノモノト同一ノ定員ヲ有ス

### 三 野戰砲兵

共同軍 共同軍野戰砲兵ハ總計四中隊編成ノ四十二聯隊及四中隊編成ノ輕榴  
彈砲十四聯隊ヨリ成ル

定員 野戰砲兵一中隊ノ定員ハ將校四下士卒百一馬匹四十四砲四門ヨリ成ル  
奧國國防軍 奧國國防軍ハ輕榴彈砲十六中隊ヲ有ス

### 騎砲兵

共同軍 共同軍ニ屬スル騎砲兵ハ總計三中隊編成ノ八大隊トス

定員 騎砲兵一中隊ノ定員ハ將校五下士卒百二十二馬匹百十六火砲四門トス

### 四 重砲兵

重砲兵ハ重榴彈砲兵五大隊(內三大隊ハ二門編成ノ三中隊ヨリ成リ二大隊ハ四門  
編成ノ三中隊ヨリ成ル)及重榴彈砲兵幹部大隊四箇ヨリ成ル

### 五 山砲兵

山砲兵ノ總數ハ四門編成ノ四中隊ヨリ成ル五聯隊及四門編成ノ山砲三中隊及同  
榴彈砲二中隊ヨリ成ル聯隊一箇トス

### 六 要塞砲兵

要塞砲兵ノ總數ハ六箇聯隊(內四聯隊ハ二大隊ヨリ二聯隊ハ三大隊ヨリ成ル)及獨  
立ノ五大隊トス即チ大隊總計十九(七十二箇中隊)ナリトス

要塞砲兵ノ各聯隊及獨立大隊ニハ要塞氣球隊ノ若干(總計八箇)及照明隊若干(總計  
十三箇)ヲ配屬ス

定員 要塞砲兵一中隊ノ定員ハ將校四下士卒九十九トシ氣球隊ハ將校一、下士  
卒十九トス

### 七 技術兵

技術兵ハ工兵及交通兵ニ分ル

第一工兵 工兵ノ總數ハ五中隊及補充中隊ノ幹部一隊ヨリ成ル十五大隊アリ

第二交通兵旅團 交通兵旅團ハ次ノモノヨリ成ル

(イ)鐵道及電信聯隊 四中隊編成ノ三大隊幹部大隊一、電信ノ補充幹部隊一、要塞

鐵道幹部隊五及要塞電信幹部隊二ヨリ成ル

(ロ)氣球隊 毎年若干ノ將校ニ氣球ニ關スル教育ヲ實施ス而シテ該隊ハ經理上

要塞砲兵第一聯隊ニ屬シ其ノ定員ハ技術兵科將校及教官十、下士卒二十トス  
(ハ)自働車隊

### 八 輜重兵

輜重兵ノ總數ハ十六箇大隊ニシテ各大隊ノ中隊數ハ一定ナラス各大隊ハ尙ホ補充中隊幹部及縱列ノ幹部ヲ有ス

## 第七節 參謀團及諸勤務

### 一 參謀職員

參謀ノ勤務ハ次ノ者ニヨリテ實施セラル

參謀將校 此ノ將校ハ主トシテ陸軍大學校ヲ卒業シタル將校ヲ以テ補充ス

參謀見習將校 此ノ將校ハ陸軍大學校ニ於テ二年間ノミ修學シタル者及單ニ

軍團學校ノ課程ヲ履修シタル者ヨリ成リ見習勤務ヲ終ルトキハ其ノ分遣シ

タル部隊ニ歸還スルモノトス

傳令將校 戰時其ノ大部分ヲ適任ト認メラレタル補充將校中ヨリ採用ス

### 二 參謀將校ノ補充

維納ニ於ケル陸軍大學校 此ノ學校ハ専ラ參謀將校ヲ養成スルニ在リテ生徒ノ平均數ハ百四十人トス而シテ本校ニ入學シ得ヘキ者ハ將校トシテ四年間服務シタル者ニシテ内三年ハ部隊ニ於テ服務シタルコトヲ要シ年齡二十八歳以下ナル未婚者ニシテ二回ノ試験(筆記及口頭)ニ合格シタル者トス

陸軍大學校ノ修學期限ハ三年ニシテ學年毎ニ試験ヲ行フ而シテ修學期ノ終リニ於テ參謀總長ハ學校ニ於ケル成績及性質素行及容儀ニヨリ成績ヲ定ム

參謀將校ノ任命及見習 陸軍大學校學生ハ卒業スルトキハ參謀見習ヲ命セラレ又ハ部隊ニ歸還ヲ命セラル而シテ參謀見習者ハ參謀補佐官トシテ勤務セシメラレ試用ノ結果適任ト認メラレタル者ハ二等大尉ニ任命セラレ二年間隊附勤務ヲ命セラル部隊ニ於ケル見習ノ結果ニヨリ此等將校ハ一等大尉ニ進級シ自後永久參謀團ニ入ル

### 三 監督勤務

監督部ハ經理勤務ヲ確保シ金錢及物品ノ會計事務並給養宿營被服及寢具ニ關ス

ル事務ヲ管理ス  
戰時ニ於テハ各軍毎ニ一將官ヲシテ經理勤務ヲ管掌セシメ其ノ隸下ニ經理職員ヲ以テ組織スル監督部ト參謀將校ヲ以テ組織スル軍事部トヲ置ク  
監督官ノ補充 監督官ハ陸軍下級將校中ヨリ採用シ二年間監督高等課程ヲ受ケタル者ヨリス

#### 四 衛生勤務

將校相當官タル軍醫ハ次ノ如シ  
軍醫總監(少將)、一等軍醫正、二等軍醫正、三等軍醫正、聯隊軍醫(一等軍醫、二等軍醫、三等軍醫)

衛生勤務ノ諸裝置 陸軍衛戍病院ノ數ハ約二十六箇アリ尙ホ陸軍病舎數多アリテ部隊附軍醫其ノ勤務ヲ執ル

陸軍藥劑官 藥劑官ハ少尉ヨリ中佐ニ至ル階級ヲ有スルモ將校相當官ニ非ラスシテ文官ナリ

#### 五 砲兵勤務

砲兵ニ關スル一般勤務ハ次ノモノニヨリテ確保セラル即チ

第一 砲兵技術團 本團ハ建物ノ管理、建築及材料ノ保管ニ任ス

第二 砲兵參謀團 本團ハ砲兵總監ノ直接指揮下ニアリテ陸軍省ノ砲兵局技術委員會、砲兵射擊學校諸學校ノ技術教育課程、要塞砲兵諸局、軍團司令部、砲兵旅團ノ參謀部ヲ包括ス

砲兵勤務員ノ補充 砲兵勤務員ハ砲兵高等學校ヲ卒業シタル者ヨリ補充ス

砲兵ノ技術高等學校 本校ノ課程ハ陸軍大學校ノ課程ニ相應スルモノニシテ入學ヲ許サル者ハ三十歳以下ニシテ特別試驗ニ合格シタル者トシ修學年限ハ三年トシ卒業スルトキハ見習トシテ監軍部ニ採用セラレタル後一般參謀官ト同一條件ヲ以テ砲兵參謀團ニ採用セラレ一般參謀官ト同一ノ利益ヲ受ク  
砲兵材料職員 此ノ職員ハ造兵廠其ノ他ノ裝置ニ於テ砲兵參謀官ニ配屬指揮セラルルモノニシテ舊砲兵下士又ハ砲兵將校ヨリ之ヲ補充ス

#### 六 技術勤務

技術參謀 技術參謀ハ堡壘ノ構築及要塞ノ攻防ニ關スル作業ノ指導ニ任スルモノトス

技術參謀ノ補充 技術參謀ハ工兵技術高等學校出身者ヨリ補充ス而シテ本參謀團ニハ他兵科出身者ヲ採用スルコトナク且本參謀將校ハ終身此ノ勤務ニ服スルモノトス

工兵技術高等學校 本校ハ砲兵技術高等學校ト同一ノ入學條件及同一ノ組織ヲ有ス

補助職員 技術參謀ノ補助職員ハ(一)特別ノ課程ヲ履修セル下士出身ノ職員及技手(此等職員及技手ハ尙ホ少佐相當ノ階級ヲ得ルモノトス)(二)動員ノ場合ニ於テハ豫備職員タル將校及見習士官(此等ハ現役又ハ豫備役ノ間特別ニ徵集セラレ且教育セラレ)ヨリ成ル

### 七 陸軍建築勤務

陸軍建築勤務ハ全ク獨立ノ一勤務タリ  
技師團 本團ハ堡壘ト全ク關係ヲ有セサル陸軍ノ諸建築ヲ擔任ス  
補充 等本團ハ技師高等學校出身者ヲ以テ補充ス而シテ該學校ハ工兵技術高

等學校ト相似タレトモ異ナレルモノトス

### 八 自働車勤務

自働車勤務ノ爲メ一箇ノ研究局アリテ自働車ニ關スル研究統計及技手ニ免狀ヲ交附スルコトヲ掌ル  
研究局ノ外一箇ノ自働車幹部隊アリテ自働車勤務及技手ノ教育ヲ確保ス  
各軍團管區司令部ニハ自働車技術員トシテ一將校ヲ配屬ス  
研究局長ハ陸軍大臣ニ直屬シ他職員ハ交通兵隊ノ司令官ニ隸屬ス

### 九 獸醫勤務

補充 獸醫ノ補充ハ維納及アタベストニ於ケル二箇ノ獸醫高等學校ヨリス而シテ該校ニ入學シ得ヘキ者ハ中學校又ハ實業學校ノ卒業免狀ヲ有ス可キモノトス  
獸醫ノ階級ハ特別ニシテ將校ノモノト異ナレリ

### 十 陸軍裁判所

陸軍裁判所ノ勤務ニ服スル者ハ將校相當ノ階級ヲ有スル一部團ヲナシ之ヲ法官



團ト稱ス

各軍團司令部ニハ陸軍理事アリテ上長官ノ階級ヲ有ス  
各聯隊ニハ司法警察ノ職務ヲ執リ又ハ司法上ノ問題ニ關シテ陪席官トナル可キ  
法官一名ヲ置クコトヲ得

#### 十一 陸軍牧師ノ勤務

陸軍牧師ノ勤務ハ將官ノ階級ヲ有スル一名ノ僧正之ヲ管理シ各軍團司令部ニハ  
牧師又ハ牧師長一名アリ牧師ノ教派ハ加特力教派正教派新教派回々教派等ナリ  
トス

### 第八節 要塞

埃匈國要塞ハ左ノ諸群ニ大別スルコトヲ得

- 一 「ガリチエン」方面
- 二 「チロール」方面
- 三 「アドリヤチック」海方面

#### 四 匈牙利方面

以上ノ中「チロール」方面ハ更ニ伊太利國境ト瑞西國境トニ分ツコトヲ得而シテ伊  
太利國境ニ對スル要塞ハ全埃匈國中最高方ヲ用キテ築造配置セララル所タリ又「ガ  
リチエン」方面中「クラカウ」要塞ハ露國ニ對スル大要塞ニシテ近世式築城ヲ施シ戰  
用諸材料集積倉庫所在地タリ

### 第九節 教育及學校

陸軍大學校及砲工兵ノ高等學校 此等ノ學校ハ陸軍ノ最高學府ニシテ  
參謀勤務ニ關スル職員ヲ養成ス

軍團學校 各軍團司令部ノ所在地ニ於テ毎年一月一日ヨリ六月末ニ亘リ課業  
ヲ開始スルモノニシテ此ノ教育課程ニ入學ヲ命セラレタル將校ヲシテ各兵科ニ  
共通セル智識ヲ開發セシムルヲ以テ目的トシ一名ノ將官課程ヲ監督ス而シテ埃  
國國防軍ノ將校ハ共同軍ノ將校ト共ニ本校課程ヲ受クト雖モ匈國國防軍將校ハ  
他ノ特別ナル課程ニヨリ教育セララルモノトス

「ブリュック」ノ中央射擊學校 本校ノ目的ハ步兵及騎兵科ニ於ケル射擊教官タル將校ノ養成機關銃隊職員ノ養成ヲナシ且兵器材料及戰術ニ關スル實驗ヲナシ尙ホ上長官ノ教育ヲナスニ在リ

陸軍劍術體操學校 本校ハ「ウイーネル」ノイスタットニ在リテ劍術及體操ノ教官タル將校ヲ養成スルヲ目的トシ諸學校ノ教官ノ爲ニ十一箇月各部隊ノ教官ノ爲ニ四箇月間課程ヲ實施ス

野戰砲兵山砲兵及要塞砲兵ノ諸射擊學校 此等ノ學校ハ砲兵ノ射擊教育指揮官タル少將統督ノ下ニ教育ヲ實施スルモノトス

#### 陸軍馬術學校

本校ハ維納ニアリテ四十乃至五十名ノ將校ニ十一箇月間教育ヲ施シ優等者(約三分ノ一)ハ次年度マテ課程ヲ繼續セシム

#### 騎兵旅團ノ將校學校

本校ハ各共同軍ノ騎兵旅團ニ於テ設ケラレ將校ヲ教育スルモノニシテ戰術射擊電信及視聽通信並破壞作業等ノ教育ヲナス

#### 「スキー」使用法ノ教育學校

此ノ學校ハ全國ニ二箇所アリ

自動車ノ課程 此ノ課程ハ年年維納ニ於テ施行セラルルモノニシテ各兵科

ノ將校ニ自動車ニ關スル教育ヲ行フモノトス

#### 飛行術ノ課程

此ノ課程ハ陸軍各兵科ノ將校及海軍將校ニ對シ維納ニ於テ

實施スルモノトス

#### 野營地

左ノ諸地ハ戰術及射擊教育ノ爲ニ設置セララルルモノナリ

「ブリュック」ノ野營地ハ第二軍團ノ爲ニ設ケルモノニシテ廠舎ヲ有スル九平方吉米半ノ土地トス

「アダベスト」ノ西南ニアル大野營地ハ六平方吉米八ニシテ第四軍團ノ使用ニ供ス

「ウイーネル」ノイスタット附近ニ於ケル「スタインフェルト」ノ射擊場ハ第二軍團ノ使用ニ屬シ重要ナル建物ヲ有シ二十二平方吉米四ノ廣サヲ有ス

「アダベスト」ノ附近ニ在ル「オルケニー」ノ射擊場ハ第四軍團ニ屬スルモノニシテ廠舎ヲ有シ十三平方吉米六ノ廣サヲ有ス

「ヴェスツブリム」ノ附近ニ在ル「ハイマスケル」ノ射擊場ハ第五軍團ニ屬スルモノニシテ廠舎ヲ有シ四十五平方吉米ノ廣サヲ有ス

「ドレント」附近ニ在ル「ボンドン」ノ野營地ハ第十四軍團ニ屬スルモノニシテ廠舎  
及他ノ建物ヲ有シ十平方吉米ノ廣サヲ有ス  
「ベナテック」ノ野營地ハ第九軍團ノ使用ニ屬スルモノニシテ廠舎ヲ有シ三十四平  
方吉米ノ廣サヲ有ス  
「エステルゴン」ノ野營地ハ兵營トシテ整理セラレタル若干ノ建物ヲ有シ十二平  
方吉米ノ廣サヲ有ス

### 豫備兵ノ教育

共同軍 補充兵第一次ノ召集期ニ於テハ六萬千四百人ヲ八週間召集ス

## 第十節 兵器、彈藥、器具、材料、糧食、車輛

### 一 兵器

步兵、砲兵ノ銃、砲諸元ニ關シテハ卷末ノ附表ニ詳ナリ  
機關銃 千九百七年式ニシテ「スウアルス」式ニシテ機關ハ甚タ簡單ナ  
リ

口徑ハ八密米、最初ノ速力ハ五百八十米、射程ノ最大限ハ二千四百步、最大氣壓力ハ  
三千八百、射擊速力ハ一分間ニ四百發、自動込ニシテ砲一門ニ付キ取換砲四門ア  
リ  
砲驛馬ノ負荷ハ九十七吉瓦、彈藥驛馬ノ負荷ハ百五吉瓦ナリ  
銃ノ長サ九十四珊米半、重量十七吉瓦、楯ノ幅ハ八〇珊米、高サハ九七珊米、重量二〇  
吉瓦、楯ノ色ハ柿色ニシテ其ノ楯カ暗色ノ地ニ分離スルトキハ濃キ綠色ノ鞍被ヲ  
以テ蓋フ

藥筒ノ帶ニ挿入セル藥筒數ハ二百五十ナリ  
騎兵ハ千九百四年式ノ劍（槍ヲ有セス）、輕騎銃（一八九五年式）長サ一米、重量三〇六吉  
瓦、自働拳銃（有級者及騎兵卒ハ輕騎銃ヲ携ヘス）ヲ有ス  
機關銃兵ハ步兵ト同一兵器ヲ用ヒ騎兵ノ機關砲兵ハ楯ヲ用ヒス

### 二 器具

携帶器具 二人中一人ハ「リヌマン」式火罐及鋤ヲ帶ヒ一箇中隊ノ十六人ハ鶴嘴  
一箇ヲ有ス

彈藥車ニハ二三ノ器具ヲ納ム

總計 三箇大隊ノ一聯隊ニ器具千四百五十箇トス

騎兵、工兵 特別小隊ハ火鏟四箇、鶴嘴鋤四箇、斧五箇、鋸二箇、器具ヲ入レタル革囊

四箇ヲ有ス

鐵道破壞用特別器具 「アモルス」引火及導火付一吉瓦、爆藥函三十二箇

一箇中隊ニハ「リノマン」式鋤四箇

鶴嘴鋤二箇、斧二箇、器具囊一箇ヲ具フ

聯隊車ニハ鶴嘴鋤十二箇、火鏟十箇、斧三十箇

工兵 一中隊毎ニ兵卒ノ荷フ器具三百二十四箇

器具ヲ有スル中隊ノ一車ニハ鍛鐵器一箇及「エクラジート」二七二吉瓦ヲ具フ

### 三 材料

電話及信號材料 歩兵及徒歩獵兵ノ各大隊ハ電話四局及電話線六吉米ノ外

其ノ有スルモノハ左ノ如シ

一 晝間ノ通信用ノ小旗毎ニ信號十六箇(十四吉米)

二 夜間ノ通信用石油ランプ付四箇(八吉米)「アセキリン」ランプ付四箇(十五吉米)

此等ノ材料ハ各單位ニ分配セララル

砲兵 一箇中隊ニ事務所ノ在料及三吉米ノ電線ヲ運搬スル車一輛

### 四 彈藥

歩兵兵卒一人ハ彈藥百二十箇、中隊ノ車ニハ四十箇、廠ニ百六十箇、總計三百二十箇

騎兵ハ兵卒彈藥二十箇ヲ有シ、其ノ他ヲ合シ各人總計百二十八箇ヲ有ス

砲兵中隊ニハ百二十六發、廠ニハ三百七十二發

### 五 糧食

兵卒ハ豫備糧食三日分ヲ有ス

一日分糧食ノ量 平時ノ一日食ハ麵粉七〇〇瓦、肉一九〇瓦、脂肪二十瓦、乾野

菜一四〇瓦、馬鈴薯五六〇瓦、鹽一五瓦、葱一六瓦トス

戰時ノ一日食ハ麵粉七〇〇瓦、牛肉四〇〇瓦、馬鈴薯一吉瓦、乾野菜一四〇瓦、葡萄酒

二分一リートル、鹽三〇瓦、砂糖二五瓦、煎珈琲二五瓦トス

### 六 輜 重

輜重 歩兵聯隊本部ハ荷車一輛、糧秣一輛、器具一輛、酒保二輛トシ、大隊ハ荷物車

二輛、中隊ハ糧食車一輛トス

獵兵大隊ハ歩兵ノ如クニシテ唯、荷物車一輛、酒保車一輛トス

騎兵聯隊本部ハ荷車一輛、糧食車二輛、器具用車一輛、酒保車一輛、中隊ハ荷物車一輛

糧食車三輛、器具車一輛、各荷物車ニハ一箇ノ鍛鐵工場アリ

軍團ハ車約二五〇〇輛ヲ有ス

山戰軍隊ハ驢背ニ載セタル特別ナル輜重編成トス

### 第十一節 被服及裝具

共同軍ノ徒歩卒 羅紗ハ鼠色ニシテ裝飾ノ色ハ他ト異ナリ立襟ニシテ鈕ナシ胸部ニハ衣囊アリ袴ハ隊ニ依リ綠條ヲ付シ若クハ之ヲ付セス又脚袴ヲ用ヒ外套、頸飾、手袋ハ同一色ノモノヲ用テ國防軍ノ者ハ若干相異スル所アリ

將校ハ皆同一ニ形状及定色ノ服ヲ著シ革帶ノ上ニ廣帯ヲ付ス  
等級ノ徽章ハ襟ニ付スル星ノ數ヲ以テ區別スルノミ

歩兵卒ノ裝具及負荷 革製ノ背革囊ニハ麻 帶、化粧品、糧食、天幕、杭、靴及  
外套ヲ收メ是等ノ背囊ノ重量ハ約九吉瓦ナリ

騎兵、龍騎兵 制服及上衣ハ淡青色ナリ上衣ハ制服上ニ著シ股衣ハ赤色ニシテ長靴ハ殊ニ深シ

兜ハ皮製ニシテ黃色ナル金屬ノ裝飾アリ

鎗騎兵 鎗騎兵ノ制服ハ短クシテ上衣ハ淡青色、股衣ハ赤色ナリ帽子ノ色ハ聯隊ニ依リ同シカラス後備兵ノ帽子ハ全然赤色ナリ

輕騎兵 短キ下衣ハ聯隊ニ依リ濃青色又ハ淡青色、捲髮ハ黃色ナリ上衣ハ黑色ノ毛皮短下衣ト同一色ナリ赤色ノ股衣ハ匈牙利ノ結目ニ貼付スニツノ長靴ハ半輪形ニ裁ラレタリ軍帽ハ羅紗製ニシテ色ハ隊ニ依リ同シカラス匈牙利後備兵ノ輕騎兵ハ兵卒ハ白色ノ皮付ニシテ赤色ノ捲髮ヲ著シ將校ハ金色ノモノヲ著ス

砲兵 制服ハ短クシテ栗色裝飾及襟ハ赤色ナリ襟及股衣ハ淡青色ナリ帽子ハ  
 歩兵ニ等クシテ黒キ鬘ノ羽毛ノ一束ヲ付ス  
 工兵 服及袴ハ灰色ノ淡青色裝飾及襟ハ濃キ綠色ナリ帽子ハ歩兵式ナリ

第十二節 戰時ニ於ケル軍ノ大單位

軍團ノ總數十六箇アリテ各軍團ハ左ノ諸部隊ヨリ編成セララル  
 軍團司令部一(衛兵歩兵中隊及同騎兵小隊各一ヲ屬ス)  
 共同軍ノ歩兵二師團  
 軍團砲兵一隊(野砲兵若クハ榴彈砲兵一聯隊ヨリ成ル)  
 工兵一大隊、輕架橋輜重一隊、器具縱列一箇  
 彈藥廠一箇  
 電信及電話一隊  
 輜重中隊一、野戰病院一、糧食縱列一等  
 歩兵師團ハ總數四十八箇アリテ内八箇ハ埃國國防軍ニ、七箇ハ匈國國防軍ニ屬シ

各師團ハ左記ノ諸部隊ヨリ編成セララル

師團司令部一(衛兵歩兵中隊及同騎兵小隊一ヲ屬ス)

歩兵二旅團

騎兵三中隊

野戰砲兵一聯隊

彈藥廠一箇、電信隊一箇

糧食縱列一箇、野戰病院一箇

輜重中隊

歩兵師團ノ定員 人一萬五千人、砲三十二門

山地兵團ナルモノアリテ左ノ諸隊ニヨリ編成セララル

山地歩兵旅團若干(數一定セス)

騎兵一若クハ二中隊

山砲兵及山地彈藥廠若干

工兵一中隊、山地電信一隊

衛生隊若干

輜重中隊一箇

騎兵師團六箇アリテ各師團ハ左ノ諸隊ニヨリ編成セラル

騎兵二旅團

機關銃一隊

騎砲兵一大隊及彈藥縱列一箇

輜重中隊一箇

騎兵師團ノ定員 人三千六百砲十二門

### 第十三節 平戰兩時ノ兵力

陸軍ノ豫算上ノ定員

平時 左表ノ如シ

共	軍ノ種別	將校	同相當官	下士	卒
同	軍				
			二二、八九五	(1) 二九〇、六三一	

埃國國防軍	四、四三六	(2) 四四、二五八
匈國國防軍	三、九一〇	二七、九四五
「ホスニア」、「ヘルツェゴビナ」	四〇六	六、八三五
計	三一、六四七	三六九、六六九
備考	(1)共同軍下士卒ニハ下級文官九百九十一名ヲ含ム。(2)埃國國防軍中ニハ文官二百一十一名ヲ含ム	

戰時擧ケ得ヘキ總兵力ハ約百九十萬人ト算セラル

## 和 蘭

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政 體

憲法ハ千八百十四年ノ制定ニシテ自來千八百十五年ニ増補ヲ加ヘ千八百四十八年千八百八十四年千八百八十七年ノ三度ニ改正ヲ加ヘタルモノナリ  
 行政權ハ國王ニ屬シ(目下ハ女皇、ヴィクトリア)責任内閣アリテ之カ施政ニ任ス  
 議會ハ上下兩院ニ分ル上院ハ議員五十人ニシテ國內諸州ノ多額納稅者或ハ法令ヲ以テ定メタル重要ナル職務ヲ執ル者ノ内ヨリ各州會之ヲ選出シ其ノ任期ヲ九年トス下院議員ハ百人ニシテ一般ノ選舉ニ依ルモノトス其ノ任期ヲ四年トス  
 國內ヲ行政ノ爲メ十一州ニ分チ各州ニ知事ヲ置キ州會ヲ設ク各州ハ更ニ之ヲ邑ニ分チ其ノ邑長ハ政府ノ任命スル所ノ者ナリ邑ニハ邑會ヲ設ク

### 第二節 面積及人口

和蘭本國ノ面積ハ三萬三千七十九平方吉米人口五百八十五萬七千九百四十九人ニシテ一平方吉米ノ密度ハ百八十人ノ多キヲ算ス而シテ植民地ノ總面積ハ二百四萬五千六百四十七平方吉米人口三千八百萬ナリ

### 第三節 豫算

國ノ總歲出ハ千九百十二年度ニ於テ二二二、〇一七、八六三、フロリン(ニ「フロリン」ハ我カ約八十錢ニ當ル)ニシテ内國軍事費ハ三〇、二九九、〇五九、フロリン、植民地特別豫算額ハ約一九〇、〇〇〇、〇〇〇、フロリン、蘭領印度特別軍事費ハ三六、二六四、七四八、フロリンナリ

## 第二章 陸軍

### 第一節 中央統轄機關

元首ハ陸海軍ヲ統帥シ將校ヲ任命ス

#### 一 國防會議

國防會議ハ元首ノ顧問ニシテ參謀總長、アムステルダム及ヘルデル要塞司令官、ムース及ヘーリンダフリート河口要塞司令官、海軍軍令部長、各兵監、アムステルダム



鎮守府司令官及女王ノ勅命ニ依ル議員四名ヲ以テ組織ス  
該會議ハ之ヲ三部ニ分チ第一部ハ國防ニ關スル陸海兩軍ノ共同事業第二部ハ陸  
軍ニ關スル事項第三部ハ海軍ニ關スル事項ヲ掌ル

二 陸軍省

陸軍大臣ハ陸軍ノ最高長官ニシテ通常將官ヲ以テ之ニ任シ文官タル次官及武官  
ノ副官ヲ屬ス

三 參謀本部

參謀總長ハ陸軍大臣ヨリ必要ノ訓示ヲ受ケ國防作戰ノ計畫ヲ立案ス

第二節 地方統轄機關

和蘭本國ハ三陸軍管區ニ分チ各區ニ管區司令官ヲ置キ陸軍大臣ニ隸セシム  
管區ハ更ニ之ヲ小區域ニ分チ又管區司令官ニハ陸軍司法官ヲ置ク  
其ノ他各衛戍地ニハ衛戍地司令部各州ニハ州副官アリテ管區司令官ニ屬シ徵募  
及交通事務ニ關シ地方官衙ト交渉ノ任ニ當ル

第三節 兵役法

服役年ハ十五年ニシテ内八年ハ民兵七年ヲ國民兵トナス  
民兵ノ服役法左ノ如シ

一 現 役

乘馬セサル兵科ハ八箇月半乘馬兵科ハ十八箇月ニシテ民兵中五千二百名ハ豫備  
軍事教育ヲ受ケタル者ニシテ僅ニ四箇月間勤務スルノミ而シテ若シ乘馬セサル  
兵科及乘馬兵科ニ於ケル兵員不足ノ場合ハ此ノ民兵中ノ抽籤番號ノ高キ者ヨリ  
之ヲ補充ス  
現役ニ服セサル殘餘ノ民兵  
徵員中抽籤ニ依リ此ノ種ノ兵役ニ服スル者ヲ定ム其ノ勤務年數ハ步兵科十箇月  
半步兵ニアラサル徒歩兵科十二箇月半乘馬兵科ニ在リテハ二十四箇月トス但賠  
償金ヲ以テ抽籤番號ノ交換ヲ行フヲ得ヘシ

二 召集法

總テ召集ハ徵員ヲ甲乙ノ二半部ニ分チ甲徵員ノ在營スル間ニ乙徵員ヲ召集ス

八箇月半勤務スル歩兵ニ在リテハ其ノ入營時期ハ三月十五日及十月一日トシ四箇月間勤務スル歩兵ニ在リテハ六月一日トス  
騎兵ノ爲ニハ十月一日歩兵以外ノ徒歩兵及野砲兵ノ爲ニハ三月十五日トス

#### 第四節 將校、下士

##### 一 下士

志願服役及志願ニ依リ尙ホ服役ヲ繼續スル民兵中ヨリ之ヲ補充ス伍長生徒ノ爲メ兵科ニ從ヒ教導大隊、教導中隊及教導騎兵中隊ヲ設ク、

##### 二 將校

將校ノ補充ハ下士ニシテ將校教育ヲ受ケタル者及ブレダ王国士官學校卒業者ヲ以テ之ニ充ツ士官學校ハ生徒トシテ候補生ヲ採用ス  
高等軍事教育ノ爲メカムベンニ陸軍大學校ヲ設ク  
將校ノ俸給ハ少尉千、フロリンヨリ千四百、フロリンニ至ル但砲兵將校ハ千五百、フロリントス中尉千四百、フロリンヨリ二千、フロリンニ至ル但砲兵中尉ハ二千、フ

ロリントス大尉二千、フロリンヨリ二千六百、フロリンニ至ル但砲兵大尉ハ二千八百、フロリンナリ少佐三千、フロリン、中佐三千四百、フロリン、大佐四千五百、フロリンナリ

將校ハ選舉權並被選舉權ヲ有ス但在營間ノ下士卒ハ選舉權ヲ有セス

#### 第五節 軍隊

##### 一 本國軍隊

##### 歩兵

平時十二聯隊アリ内一聯隊ハ擲彈兵二大隊及獵兵二大隊ヨリ成リ殘餘ノ十一聯隊ハ歩兵四大隊ヨリ成ル

大隊ノ平時定員ハ將校二十、下士卒九百三十二ナリ  
戰時ニ於ケル歩兵隊左ノ如シ

歩兵十二聯隊(四中隊編制ノ大隊五箇ヨリ成ル)

要塞歩兵大隊 十二

豫備歩兵大隊 十二  
國民軍大隊 四十八

總計百三十二大隊ニシテ各大隊ノ定員ハ八百五十二名ナリ  
機關銃隊二隊アリ平時ハ各隊ハ大尉一、中尉二(以上乘馬)下士十、伍長八、火工下士一  
民兵十九ニシテ戰時ハ將校三、下士十三、伍長八、火工下士一、馭卒及使役兵六十四、傳  
令兵三、看護手二、機關砲八門、彈藥箱四、行李車一、糧秣車一ナリ  
計畫案ニ依レハ更ニ機關銃隊二隊ヲ編成スル筈ナリ  
自轉車隊ハ四中隊アリ(師團ニ一中隊ヲ附屬ス)中隊ノ平時定員ハ大尉一、中尉二、下  
士七、伍長二、喇叭手一、志願兵二、八箇月半勤務民兵三十三、四箇月勤務民兵三十ヨリ  
成ル戰時定員ハ大尉一、中尉二、曹長二、軍曹六、伍長十二、自轉車兵百二十、自働自轉車  
兵二、火夫二、傳令鳩使用兵一、看護手一ニシテ別ニ自働車二輛ヲ附ス

騎兵

騎兵ニハ遞傳騎兵一中隊、四中隊編制ノ輕騎兵四聯隊、馬廠二アリ  
平時騎兵中隊ノ定員ハ將校五、下士卒百十三、馬匹百四十八ニシテ戰時ハ將校五、下

士卒百五十、馬匹百五十五ナリ

野砲兵

野砲兵ニハ二大隊編制ノ四聯隊(大隊ハ三中隊ヨリ成ル)砲兵輜重一隊及砲廠一ア  
リ平時ニ於ケル野砲兵中隊ノ定員ハ將校四、下士卒百六十一、馬匹七十一、砲六門ニ  
シテ戰時ハ將校四、下士卒百三十八、馬匹百五十、砲四門ナリ

騎砲兵

騎砲兵中隊二アリ平時騎砲兵中隊ノ定員ハ將校四、下士卒百八十、馬匹百三十五、砲  
六門ニシテ戰時ハ將校四、下士卒百五十一、馬匹百八十三、砲六門ナリ

要塞砲兵

要塞砲兵ノ諸隊左ノ如シ

- 十中隊編制ノ要塞砲兵聯隊 三 箇
- 十中隊編制ノ海岸要塞聯隊 一 箇
- 四中隊編制ノ穹窿要塞聯隊 一 箇
- 水雷中隊 二 箇

橋船兵中隊

二 箇

國民軍ニ於テ要塞砲兵中隊四十四箇橋船兵中隊二箇ヲ形成ス  
要塞砲兵中隊ノ平時定員ハ將校四下士卒百八十三ニシテ戰時ハ將校六下士卒三百八十九ナリ

工 兵

工兵ハ一聯隊ヲ有ス聯隊ハ四中隊編制ノ橋船兵一大隊四中隊編制ノ技術兵大隊一箇ヨリ成ル而シテ技術兵大隊中二箇中隊ハ鐵道中隊ニシテ二箇中隊ハ電信中隊ナリ

平時ニ於ケル工兵中隊ノ定員ハ將校三下士卒三百五十四ニシテ戰時ハ將校三下士卒百六十七ナリ

國民軍ハ工兵五中隊橋船兵二中隊ヲ編成ス

憲 兵

和蘭ノ憲兵ハ徒歩及乘馬ヨリ成ル四中隊アリ  
平時兵力ノ總計約三萬五千人トス

二 植民地軍隊

蘭領印度軍ハ左ノ諸單位ヨリ成ル

四中隊編制ノ大隊二十箇(内二十五中隊ハ歐人十七中隊ハ「アンボア」人三十八中

隊ハ瓜哇人ニシテ幹部ハ何レモ歐人ナリ

衛戍兵九大隊ト七中隊

豫備大隊四箇

四中隊編制ノ騎兵聯隊一箇

豫備騎兵聯隊一箇

護衛騎兵中隊一箇

野砲兵四中隊

要塞砲兵十中隊

四中隊編制ノ工兵一大隊

徒歩憲兵千二百四十名

總人員ハ將校千四百五十七下士卒三萬五千五百五十五ニシテ下士卒中一萬二千

人ヲ隊人トス

### 第六節 教育

勤務年六年以上ヲ有スル將校ハ其ノ屬スル兵科以外ニ於テ五箇月ノ射撃見習ヲナスノ規定アリ

各師團司令部ニ戰術講習會アリ少佐ニ昇進セントスル大尉候補者ニ戰術講習ヲナサシム其ノ講座ハ六週間トス

豫備歩兵軍曹ヲ教育シテ豫備少尉ニ昇進ス可キ候補者ノ爲メ四週間ノ講堂ヲ開設ス

其ノ他射撃學校アリ

### 第七節 武器被服

#### 一 武器

歩兵

ハ千八百九十三年式マンリッヘル式銃ヲ用ユ口径六密五ナリ

騎兵

ハ千八百九十三年式マンリッヘル騎銃ヲ携行ス

野砲兵

ハクルップ式野砲ヲ用ユ

諸元ノ詳細ハ附表ニ詳ナリ

#### 二 被服

歩兵

濃青色ノ上衣ニシテ二行釦ナリ袴ハ淡青色ナリ獵兵ハ濃青色ノ絨ヲ以テ上衣及袴ヲ作り野戰服ハ一行釦ニシテ軍帽ハ平時「ケビー」形ナルモ戰時ニ於テハ正裝用ノ「ジャコー」形ヲ用フ又脚絆ヲ用ヒス

騎兵

上衣ハ濃青色ニシテ三行釦ナリ帽ハ毛皮ヲ以テ製シタルモノナリ

砲兵

歩兵ノ制服ニ赤色ノ縁ヲ取リタルモノナリ帽子ハ「ジャコー」形トス正裝スル時ハ黒毛ヲ附著ス

### 第八節 戰時編制ニ於ケル大單位並總兵力

軍ノ編制左ノ如シ

軍司令部一箇

鐵道隊、電信隊、橋船隊各一隊  
 衛生隊一隊  
 步兵師團數箇  
 騎兵一旅團  
 步兵師團四箇アリ各師團ノ編制左ノ如シ  
 五大隊編制ノ步兵三聯隊（各大隊ハ四中隊ヨリ成ル）  
 輕騎兵一中隊  
 六中隊編制ノ砲兵一聯隊  
 自働車中隊一箇  
 機關銃隊（八門）一箇  
 工兵一中隊、電信班、橋船兵班各一班  
 步兵彈藥一縱列  
 砲兵彈藥一縱列  
 經理勤務部一

衛生勤務部一  
 總人員ハ一九〇〇トス  
 騎兵旅團一箇アリ其ノ編制左ノ如シ  
 三中隊編制ノ騎兵四聯隊  
 騎砲兵二中隊  
 砲兵彈藥一縱列  
 小銃彈藥一縱列  
 人員ハ二千五百トス  
 目下編制改革ノ中途ニ在リ千九百十七年ヲ以テ完成ノ筈ナリ完成後ニ於ケル和  
 蘭本國ハ補充隊及後備軍ヲ合シ大略左ノ兵力ヲ舉クルヲ得ヘシ  
 將 校 三千五百人  
 下士卒 十七萬五千人  
 砲 百六十門

# 「オーマン」國

四五〇

## 國勢ノ概要

### 第一節 政治組織

「オーマン」國ハ亞拉比亞東南海岸ニ濱スル一專制君主國ニシテ現國王ハ「セイッド」フ  
エイサル、ビン、ダーキト稱ス然レトモ國王ハ單ニ名義ヲ保有スルニ止マリ其ノ實  
權ハ英國之ヲ掌握ス

### 第二節 面積人口

面積 八萬二千方哩  
人口 約五十萬人  
即チ其ノ面積ハ我カ朝鮮ヨリ稍、少ナシ

### 第三節 一般ノ狀態

國王ハ約一千人ノ親衛兵ヲ有シ遊牧民ハ各自ノ軍隊ヲ有シ自己ノ住地ヲ防禦ス  
國王ノ收入ハ毎年二百四十四萬圓ナリ

## 加 奈 陀

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政治組織

加奈陀ハ英國ノ自治植民地ニシテ英國皇帝其ノ統治權ヲ總攬シ一總督ヲシテ代  
テ之カ統治ノ任ニ當ラシメ内閣之ヲ輔佐ス

憲法ハ其ノ主義本國ノモノニ同シク聯合政府並各州政府トモ政黨内閣ノ組織ニシテ自由保守ノ兩黨交其ノ局ニ當レリ總督ハ恰モ皇帝ノ如ク政黨ノ上ニ超然タリ

### 第二節 面積人口

面積 三百六十一萬九千八百十八方哩  
人口 七百四十八萬九千七百八十一人  
即チ其ノ面積ハ我カ帝國ノ約十四倍ニ相當シ其ノ人口ハ我カ九州ノ人口ト略同ナリ

### 第三節 豫算

千九百十年度ニ於ケル歳出總豫算ハ三千二百六十七萬九千七百四十四圓ニシテ内軍事費ハ九百三十五萬九千九百十二圓ヲ占ム

## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

加奈陀陸軍ハ全部民兵ヲ以テ編制シ之ヲ現役民兵及豫備民兵ニ大別シ現役民兵中ニ少數ノ常備隊ヲ設ケ現役民兵ヲ教育スル基幹ト爲ス豫備民兵ハ平時之ヲ編成スルコトナク戰時ニ總督ノ定ムル規定ニ從ヒ編成スルノ制ナリシカ最近ニ至リ全國ヲ六師管ト三地方管區ニ分チ歩兵六師團及騎兵一師團ヲ編成シ各兵種ノ配合教育訓練動員業務等ヲ戰術上ノ要求ニ合セシメントシ現時之ニ伴フ諸般制度ノ改革中ニアリ

### 第二節 中央統轄機關

英國皇帝ハ加奈陀陸軍ノ元首ニシテ總督代テ之ヲ統率ス  
民兵國防大臣ハ民兵ニ關スル凡テノ事項ニ對シ責ニ任ス民兵國防省ハ左ノ諸部局ヨリ成ル



- 一 官房
  - 二 參謀本部
  - 三 軍務局
  - 四 經理局
  - 五 兵器局
  - 六 主計局
  - 七 教育總監部
- 民兵國防大臣ノ諮詢機關トシテ民兵參議院ヲ設ケ其ノ議員ハ總督之ヲ任命ス其ノ編制左ノ如シ
- 議長 民兵國防大臣
  - 副議長 民兵國防次官
  - 第一陸軍議員 參謀總長
  - 第二同 軍務局長
  - 第三同 經理局長

- 第四同 兵器局長
- 財務議員 主計局長
- 書記官 一名

### 第三節 地方統轄機關

東部加奈陀ヲ六師管ニ西部加奈陀ヲ第十第十一第十三地方管區ニ區分ス  
各師管ニハ步兵師團長地方管區ニハ各司令官ヲ置キ該師團及其ノ師管內ニ駐屯スル自他團隊ノ指揮及統御ヲ掌ル

### 第四節 兵役

加奈陀ノ臣民ニシテ年齡十八歲以上六十歲以下ノ男子ハ民兵ニ服スル資格ヲ有ス  
總督ハ有事ノ日加奈陀ノ住民全部ノ男子ニ兵器ヲ取ルコトヲ要求スルコトヲ得  
民兵トナル可キ男子ハ之ヲ四級ニ區別ス其ノ第一第二級ハ未婚者ニシテ第三級

ハ既婚者又ハ四十五歳以上ノ者トス採用ノ順序ハ先ツ第一級ノモノヲ次ニ第二級ノモノヲ及ホスモノトス  
第三級等ニ及ホスモノトス  
平時ニ於ケル現役民兵ノ服役期限ハ三箇年トス

第五節 將校下士並同相當官

將校以下ノ階級ハ概ネ英本國ノモノニ同シト雖モ平時將校ハ大佐以上ニ進級スルコトナシ唯師團長ハ少將ノ階級ニ進ムコトアルモ之レ其ノ在職中ニ限ルモノトス  
大佐ニシテ司令部ノ高級職務ヲ取り豫備ニ入リタルトキハ名譽少將ニ昇進スルコトヲ得

第六節 常備軍ノ平時編制及兵力

常備軍ノ平時編制ハ未タ確定セサルモ歩兵師團及騎兵旅團ノ編制ハ大要左ノ如クナルカ如シ

歩兵師團

歩兵三旅團(十二大隊)

騎兵一聯隊

野砲兵三大隊

野戰榴彈砲兵一大隊

重砲兵一中隊

工兵二中隊

電信隊一隊

輜重四縱列

衛生隊三隊

騎兵旅團

騎兵三聯隊

騎砲兵一中隊

乘馬工兵一隊

騎兵輜重縱列一箇  
騎兵衛生隊一隊

平時兵力ノ定員ハ現時五萬七千人ニシテ新編制ニ基ク平時定員ハ未タ確定セス

### 第七節 平時兵力ノ配置

東部加奈陀ヲ六師管ニ區分シ步兵六師團及騎兵四旅團ヲ編成ス西部加奈陀ハ第十第十一第十三地方管區ニ分チ現役民兵ノ若干部隊ヲ配置ス步兵師團司令部ノ位置左ノ如シ

- 第一師團司令部 「ロンドン」
- 第二師團 「トロント」
- 第三師團 「キングストン」
- 第四師團 「モントクール」
- 第五師團 「クエベック」
- 第六師團 「ハリファックス」

騎兵旅團ハ左ノ如ク配屬ス

- 第一旅團 西オンタリオ管區
- 第二旅團 東オンタリオ管區
- 第三 第三
- 第四 「クエベック」管區

### 第八節 要塞

「エスクワイモルト」太平洋岸「ハリファックス」(大西洋岸)ハ海軍根據地ニシテ堅固ナル陸軍要塞ヲ設ク「クエベック」(セントローレンス河口)ニモ要塞アレトモ舊式ニ屬ス

### 第九節 教育及學校

民兵ノ訓練ハ毎年十二日以上三十日以下トス其ノ訓練方法ハ英國地方軍ノ教育方法ニ類似ス

陸軍諸學校ノ種類左ノ如シ

「キングストン」ニ在リ

- 陸軍士官學校
- 騎兵實施學校
- 乘馬狙擊學校
- 野砲兵射擊學校
- 要塞砲兵射擊學校
- 歩兵實施學校
- 輜重兵實施學校
- 小銃射擊學校
- 庖厨學校

一 二 一 一 三 四 四 一 一

參謀將校ノ養成ハ英本國參謀大學校ニ於テ之ヲ行フ

### 第十節 戰時編制及戰時兵力

戰時ハ歩兵六師團騎兵一師團(四旅團)ヲ編成シ之ニ戰時直屬部隊トナル可キ各種

部隊ヲ附屬ス其ノ總兵力ハ第一線ニ約十萬第二線ニ約十萬合計約二十萬人トス

## 「グアテマラ」共和國

### 第一章 國勢ノ概要

#### 政治組織

「グアテマラ」國ハ墨西哥國ノ東隣ニアル共和國ニシテ其ノ憲法ハ千八百四十七年三月二十一日之ヲ發布シ自後四回ノ修正ヲ經テ今日ニ至レリ該憲法ニ依レハ立法權ハ議會ニ屬シ行政權ハ大統領之ヲ掌握ス

議會ハ一院ニシテ議員六十九名ヨリ成リ四年ノ任期ヲ有ス

大統領ハ六年ノ任期ヲ以テ一般人民(二十歳以上ニシテ讀書シ得ル者)ヨリ選出シ

連續再選ヲ許サズ

大統領ノ下ニ左ノ六省ヲ設ク

外務省

文部省

内務及司法省

警務省

大藏省

陸軍省

司法事務ノ爲メ首府ニ高等法院ヲ設ケ其ノ他ノ各地ニ控訴院六箇及地方裁判所二十六箇ヲ設置セリ

面積

四八、二九〇方哩(十一萬三千三十方吉米)

人口

一九九二、〇〇〇人(一方哩ノ平均人口四〇人)

一般豫算

歳入ノ過半ハ關稅三分ノ一以上、酒及煙草稅等ニシテ歳出ノ約半

部ハ國債償還費ナリ

千九百十年—同十一年度ノ歳出豫算 七四、一一八、一六五圓

陸軍費 四、八五三、〇四八圓

同

### 第二章 陸軍

平時陸軍ノ兵力ハ將校下士卒合計約七千人ヲ有シ戰時動員ニ際シテハ之ヲ訓練セル將校下士卒八萬五千五百三十五人ニ増員シテ之ヲ百七十一大隊ニ編成シ又豫備軍トシテ將校下士卒四萬五百七十五人ヲ有シ之ヲ八十一大隊ニ編成スル計畫ナリ而シテ十八歳以上二十五歳マテ現役ニ服シ二十六歳以上五十歳マテノ男子ハ民兵勤務ニ服スルノ規定ナリ但租稅約百圓以上ヲ納ムル國民及一部官吏ハ兵役ヲ免セラル

千九百年度將校停年名簿ニ依レハ將校ノ員數左ノ如シ

區分	將官	參謀將校	大尉	中尉	少尉	計
常備軍	一九	六五四	五三九	一、七六六	二、九七八	
豫備軍	五	六七	四三	一九六	三一一	
休職	ク	一〇九	一七五	四〇六	六九〇	
計	二四	八三〇	七五七	二、三六八	三、九七九	

## 第一章 國勢ノ概要

### 第一節 政治組織

「ネパール」國ハ印度ノ北境ニ接スル獨立ノ一專制國ニシテ國王ハ唯一ノ主權者ナルモ眞ノ政權ハ首相及其ノ黨與ノ掌握スル所ニシテ近時は等黨與間ノ爭亂絶ユルコトナシ  
首相ノ下ニ王ノ戚族ヨリ成ル内閣ヲ有シ總テ重要政務ヲ施行シ且最高ノ法廷ヲ兼ヌ

### 第二節 面積、人口

面積 約五萬四千方哩

人口 約五百萬人

即チ其ノ面積ハ我カ朝鮮ノ約三分ノ二弱ニシテ其ノ人口ハ朝鮮ノ約半數ニ等シ

### 第三節 豫算

歳入ハ九百七十八萬六千萬圓ニシテ歳出及陸軍費ハ詳ナラス

## 第二章 陸軍

約三萬人ヨリ成ル常備軍ヲ有シ步兵二十一聯隊砲兵二聯隊(砲二百五十門)ニ區分ス騎兵ハ地形上其ノ編制一ニシテ僅ニ百餘騎ヲ有スルノミ元來國人ハ尙武ノ氣象ニ富ミ體格頗ル強健ナルヲ以テ軍人トシテ良好ナル素質ヲ呈スルノミナラス軍隊ノ編制武器訓練等悉ク歐洲大陸軍ノ式ヲ採用シアルヲ以テ國軍ノ價值ハ其ノ兵力ニ比シ大ナリト云フ可シ  
常備軍ノ外ニ有力ナル豫備軍ヲ有ス其ノ兵員ハ常備軍ニ於テ服役ヲ終リ一定ノ

恩賜ヲ受ケアルモノニシテ有事ノ日之ヲ召集シ常備軍ヲ増援スルコト文明國軍ニ異ナラス

## 南阿聯邦

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政治組織

南阿聯邦ハ千九百十年五月三十一日ヲ以テ組織セラレ英領南阿弗利加植民地タル喜望岬「ナタル」トランスグアル「オレンヂリバー」ノ四州ヨリ成ル其ノ憲法ハ自治ノ精神ヲ基礎トシ軍事外交ハ全然英國皇帝ノ特權ニ屬シ本國政府ノ代表者ト

シテ總督ヲ置キ其ノ指命ノ下ニ十名ノ國務大臣ヲ任命シ行政會議ヲ組織ス立法ハ上下兩院之ヲ掌ル

#### 第二節 面積人口

面積 四十七萬方哩

人口 五百九十三萬八千四百九十九人

即チ其ノ面積ハ我カ帝國ノ約一八倍ニ相等シク其ノ人口ハ我カ九州ヨリモ約二百萬人少ナシ

#### 第三節 豫算

千九百八年ニ於ケル聯邦政府ノ歳入ハ一億五千五百二十一萬二千二百三十五圓六十八錢ニシテ陸軍豫算ハ不明ナリ

## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

南阿ニ於ケル現時ノ陸軍ハ英本國ヨリ派遣セル正規軍ノ一部ト聯邦各州ニ於テ組織セル各兵種ノ義勇隊ヨリ成ル其ノ兵力概數左ノ如シ

#### 正規軍

歩兵五大隊、騎兵四聯隊、野砲兵六中隊、騎砲兵二中隊、要塞砲兵二中隊、工兵六中隊、輜重兵三中隊、衛生隊三隊、兵器廠團三隊

#### 義勇隊

平時定員合計 一萬二千六百六十八人

近時統一セル國防軍ヲ編成スルノ議漸ク熱シ最近ニ至リ其ノ國防法案ノ草案ヲ發表セリ其ノ主旨ヲ略言スレハ國民皆兵主義ノ民兵軍ヲ編成スルニ在リ今左ニ其ノ概要ヲ述ヘン

### 第二節 國軍ノ區分及兵役

現役民兵

第一線

十七歳以上二十五歳マテ

豫備民兵

第二線

二十一歳以上四十五歳マテ

豫備國民兵

第三線

十七歳以上六十歳マテノ全國民

### 第三節 教育及訓練

全國民ハ國防ノ責任ヲ有シ年年所要ノ人員ヲ限リ軍事教育ヲ施ス之ニ應ス可キ者ハ十七歳以上二十五歳マテノ青年ニシテ四年間若干時日ノ教育ト毎年八乃至十五日間連續訓練ヲ受ク而シテ以上ノ訓練教育ヲ受ケサル者ノ爲ニ小銃射擊會ヲ設置ス

豫備民兵、豫備國民兵ハ訓練ヲ受クルノ義務ヲ有セス

### 第四節 常備軍ノ平時編制及配置

現役民兵ハ之ヲ常備軍、海岸及要塞兵ニ區分シ左ノ如ク編制ス



乘馬歩兵 五聯隊(二千五百人)

要塞砲兵團

將校下士團 教育及軍政ニ必要ナル程度

乘馬歩兵ハ二聯隊ヲ岬州ニ「ナタル」オレンヂリバー「トランスバール」ノ各州ニ一聯隊宛ヲ配置ス

### 第五節 平時兵力

現役民兵ノ平時兵力ハ二萬人乃至二萬五千人トス

## 「ウルグアイ」共和國

# 第一章 國勢ノ概要

## 第一節 政治組織

「ウルグアイ」國ハ南米東側大西洋岸ニアル共和國ニシテ現行憲法ハ千八百三十年獨立ヲ宣言シタルトキ制定シ自後多少ノ改定ヲ加ヘタルモノニシテ中央政權ヲ立法行政及司法ノ三機關ニ分ツ

立法權ハ之ヲ議會ニ委任シ議會ハ上下兩院ヨリ成ル

上院議員ハ六年ノ任期ヲ以テ間接選舉法ニ依リ民選セラレ二年毎ニ三分ノ一ヲ改選ス下院議員ハ三年ノ任期ヲ以テ直接選舉ヲ以テ民選セラレ

大統領ハ最高行政權ヲ委任セラレ大統領事故アルトキハ上院議長タル副大統領之ニ代ハルモノトス

大統領ノ下ニ左ノ五省ヲ設ケ行政事務ヲ分掌ス

### 一 内務省

### 二 外務及宗教省

三 大藏省  
 四 陸海軍省  
 五 文部及農商工務省

大統領及副大統領ハ國民ノ公選ニ係リ任期ヲ四年ト定メ退職後四年ヲ經過スルニ非ラサレハ再選ヲ許サス

司法權ハ最高法院一箇ノ外二箇ノ控訴院及若干ノ民事裁判所刑事裁判所及警察裁判所ヨリ成リ尙ホ外ニ知事ノ統轄スル地方裁判所並人民ノ公選スル若干ノ平和裁判所アリ

地方行政ノ爲ニハ全國ヲ十九縣ニ分チ大統領ノ任命スル知事ヲシテ之ヲ統治セシム

### 第二節 面積人口

總面積七萬二千二百十方哩(十八萬六千九百二十六方吉米)人口百十一萬二千人ヲ有シ一方哩ノ平均密度十五人四ニ相當セリ國民ハ主トシテ混血族ニシテ印度人

黑人及白人ノ二次キ白人種中最多ナルハ伊國人ニシテ西佛英瑞西及獨逸人之ニ次ク

宗教ハ羅馬舊教ヲ以テ國教ト定ムト雖モ異教信仰ノ自由ヲ默認シ爲ニ新教徒モ尠ナカラス

### 第三節 一般歳出及軍事費

千九百九年度歳出豫算 四三、九六八、一九六圓  
 陸海軍豫算 六四、一五、九七四圓  
 同

## 第二章 陸軍

### 第一節 中央統轄機關

大統領ハ憲法上平戰兩時ニ於ケル陸海軍ノ最高統率權ヲ掌握スト雖モ陸海軍ノ

實務ヲ處理シ且實權ヲ握ルモノハ陸海軍省及參謀本部トス  
陸海軍大臣ハ内閣ノ一員トナリ大統領及議會ニ對シ總テノ軍務ニ關スル法律上  
ノ責任者ニシテ直接軍隊指揮權ヲ除クノ外諸般ノ陸海軍務ヲ掌リ省内ヲ總務局  
及三局ニ分チ各種事項ヲ分掌セシム尙ホ左ノ四局ヲ陸軍省附屬トナス

- 一 地理及統計局
- 二 要塞及砲兵局
- 三 建築局
- 四 海軍局

參謀本部長ハ陸海軍全般ノ直接指揮權ヲ有シ部内ヲ副官部及六局ニ分ツ即チ左  
ノ如シ

- 一 砲兵局及兵器廠
- 二 歩兵局及兵學校
- 三 騎兵及國境局
- 四 軍需局
- 五 庶務局
- 六 統計及記錄局

右ノ外中央衛生局及軍法會議ハ各獨立シテ陸海軍省ニ隸屬ス當國ノ經理機關ハ  
各隊各箇ニシテ中央機關ヲ備ヘス

### 第二節 兵役及徵募法

男子十七歳ヨリ四十五歳マテハ兵役ニ服スルノ義務ヲ有ス而シテ兵役ヲ常備兵  
役及國民兵役ニ分ツ

常備兵ハ志願兵及傭兵ヨリ成リ其ノ服役年限ハ二年乃至五年ニシテ志願兵ハ應  
募當時中央金庫ヨリ服役間ノ給料全額ヲ一回ニ受領シ傭兵ハ傭役契約ノ擔保ト  
シテ政府ノ規定シタル額ヲ便宜受領ス

國民兵役ハ之ヲ三種ニ分ツ即チ遊動國民軍、地方軍及守備軍是レナリ  
遊動國民軍ハ年齢十七歳乃至三十歳ノ未婚者ニシテ軍役ニ適スル者ヲ以テ組織  
シ有事ノ日内戰又ハ外征ニ際シ政府ノ命令ニ依リ臨時編成ヲ行ヒ常備軍ト共ニ  
戰爭ニ從事セシムルモノニシテ目下約二萬人ヲ有ス

地方軍ハ年齢三十歳乃至四十五歳ノ市民若クハ十七歳乃至三十歳ノ既婚者ヲ以  
テ組織シ有事ノ日ニ於テ各縣各別ノ軍役ニ用フルヲ常規トナシ時トシテハ政府  
ノ特命ニ依リ常備軍ト共ニ使用スルコトアレトモ内戰ノミニシテ外征ニ從事セ  
シムルコトナシ

守備軍ハ四十五歳乃至六十歳ノ市民ヲ以テ組織シ臨時市街村落又ハ局地ノ騷擾ニ際シ鎮撫守護ノ勤務ニ充ツルモノトス  
 國民軍ニ編入セラル可キ資格者ノ總員ハ目下約十萬人ニシテ毎年二月三月四月ノ日曜日及祭日ニ召集ヲ受ケ軍隊訓練ヲ受ク可ク規定シアルモ之ヲ勵行スルニト稀ナリ  
 又當國ノ警察隊ハ平時内務省ノ管轄内ニアリト雖モ軍隊組織及武裝ヲ有シ且軍事教育ヲ授ケテ行政警察ヲ司リ有事ノ日ニ當リテハ陸海軍省ノ統轄下ニ於テ常備團隊ト共ニ戰爭ニ從事セシムルモノナリ

### 第三節 平時編制

歩兵ノ平戰兩時ニ於ケル最大單位ハ大隊ニシテ本部及四中隊ニ分ツ一大隊ノ總員ハ四百二十五人ニシテ一中隊ハ約百人ヨリ成ル  
 騎兵ノ平戰兩時ニ於ケル最大單位ハ聯隊ニシテ本部及三中隊ヨリ成リ一中隊ハ百五人ヲ以テ編成ス

砲兵ノ平戰兩時ニ於ケル最大單位ハ聯隊ニシテ本部及二中隊ヨリ成リ一中隊ハ百十四人ヲ以テ編成ス

### 第四節 平時兵力

- 歩兵八大隊ト九中隊
- 騎兵九聯隊ト六中隊
- 砲兵二聯隊ト三中隊並三小隊
- 機關銃隊二中隊
- 偵察聯隊一聯隊
- 計 六千五百六十二人
- 右ノ外警察隊三千八百三十四人アリ

### 第五節 教育

首府ニ兵學校アリ將校ヲ教育養成スル所ニシテ在學期ハ五年及七年ノ二種アリ

五年在學セシ者ハ卒業後少尉ニ任シ七年在學ノ者ハ卒業後二等中尉ニ任ス別ニ劍術及體操學校アリ

### 第六節 要塞

「モンテグイデオ」灣及「セルロ」山上ニ一要塞アリ「ゼネラル」アルチガス「要塞」ト稱ス七「珊半」クルップ「加農」一中隊ヲ備置セリ

### 第七節 戰時兵力

詳ナラサルモ前述セル平時兵力（正規軍六千五百六十二人警察隊三千八百三十四人計一萬三百九十六人）ノ外尙ホ國民軍約十萬人ヲ保有セルト見テ大過ナカル可シ

## 諾威

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政體

憲法ハ千八百十四年十一月四日制定セラレ國王ハ唯一定期限内ニ於テ國會ノ議定シタル議案ヲ不認可スルノ權ヲ有ス行政權ハ國王ニ屬シ内閣ヲシテ之ヲ施行セシム

國會ハ之ヲ上下兩院ニ分チ議員四分ノ一ヲ上院トシ四分ノ三ヲ下院トナス行政ノ爲メ全國ヲ若干ノ州ニ分ツ

#### 第二節 面積及人口

面積三十二萬二千九百八十七平方吉米ニシテ我カ本土ニ北海道ヲ加ヘタルモノト略等シク人口ハ千九百十年末ニ於テ約二百四十萬ニシテ一平方吉米ニ七人ノ小數ヲ有スルノミ

### 第三節 豫算

千九百九十一年度ノ總歲出一億二千二百二十四萬三千八百二十九クローネン一  
「クローネン」ハ我カ約五十四錢ニ當ルニシテ其ノ中經常國防費ハ二千九十七萬八  
千九百四十四クローネンナリ

## 第二章 陸軍

### 第一節 中央及地方統轄機關

軍ノ最高統帥ハ大元帥タル國王ニ屬シ軍務大臣ハ國王ノ委任ニ依リテ軍政及統  
帥ヲ實行ス  
參謀本部 參謀總長ハ少將ニシテ其ノ下ニ部長四或ハ五名アリ參謀大尉九或  
ハ十名本部附將校十二名副官九名見習將校十四名之ニ屬ス  
各兵總監部 總監部ニハ步兵監騎兵監野戰砲兵監要塞砲兵監工兵監アリ

徵兵區司令部 全國ヲ四十一ノ徵兵區ニ分チ之ニ徵兵區司令部ヲ置ク而シ  
テ各徵兵區ハ其ノ管區ニアル軍隊ニ壯丁ヲ送致ス但特科兵ノ徵募ハ全徵兵區ヨ  
リ之ヲ行フ

### 第二節 兵役法

徵兵令ハ千八百六十六年ノ制定ニ係リ自來千八百七十六年千八百八十五年千八  
百九十七年千八百九十九年千九百年千九百三年ノ數度ニ改正ヲ加ヘタルモノナ  
リ義勇兵役ニシテ代人ヲ許可セス徵兵令ハ目下其ノ改正ニ就キ研究中ナリ  
千九百九年八月十三日ニ於ケル編制改正令ニ從ヘハ服役年ハ二十年ニシテ戰列  
隊ニ入隊セサル者ハ國民軍ニ編入シ十八歳ヨリ五十歳ニ至ルマテ此ノ役ニ服セ  
シム

現役 現役ハ十二年ニシテ第一年中ニ於ケル新兵ヲ類別スルコト次ノ如シ

步兵、要塞砲兵、山砲兵、野砲兵、衛生部隊等 七十二日間

騎兵 百二十六日間

野戰砲兵

百十四日間

工兵

八十四日間

第二年第三年ニ於テハ復習ノ爲メ毎年二十四日間服役ス此ノ復習ハ各兵科ヲ通シテ同一ナルモノトス  
 第四年ニ於テハ獨リ砲兵ノミ若干日間復習ニ服ス  
 北部諸州ノ者ハ第一年ニ於テ新兵期間七十二日ノ訓練ヲ受ケタルノ後地方防禦隊ニ充用セララル  
 後備役 八年ニシテ其ノ第七年又ハ第八年ニ於テ一回二十四時間ノ復習ヲ爲ス

國民兵役

別ニ教育復習ヲナスノ期ナシ

志願兵アリ以テ國軍ノ一部ヲ爲ス此ノ内ヨリ幹部ヲ養成スルコトアリ  
 兵役ヲ免除セララル者ハ勤務ニ不適當ナル者及僧侶トス  
 毎年ノ徵集兵額ハ約九〇〇〇ナリ

第三節 將校下士

下士ノ徵募及進級

下士ハ年齢十八歳以上ノ青年ニシテ普通學試驗ニ合格シタル者ヲ下士學校ニ採用シテ教育ヲ授ク其ノ修業年限ヲ三箇年トス  
 課程ハ普通學及軍事學ニシテ普通學ニ於テハ國語、歴史、地理、數學、博物學、理化學習、字、圖畫、計算、英語及唱歌ヲ授ク要スルニ將來下士トシテ必要ナル軍事學並訓練ヲ授クルノミナラス尙ホ軍隊外ニ出ツルモ社會ニ於テ相應ナル位地ヲ得セシムル爲ノ一般教育ヲ施スヲ以テ主眼トナセリ茲ヲ以テカ諾威ニ於テハ滿期下士ハ商工業従事者ヨリ大ニ渴望セラレツツアリ斯カルカ故ニ下士志願者ハ常ニ好景況ニ在リ  
 此ノ下士學校ハ歩兵ノ爲メ五校、騎兵ノ爲メ一校、野戰砲兵ノ爲メ二校、要塞砲兵ノ爲メ一校(別ニ伍長ノ教育ヲ受クル中學校若干アリ)經理科ノ爲メ二校、衛生部ノ爲メ若干ノ講堂アリ此等ノ諸下士學校ハ大尉ヲ以テ校長トナシ之ニ若干名ノ將校及下士ヲ屬ス但「オスカルボルグ」要塞砲兵下士學校ハ中佐ヲ校長トナス

卒業者ハ伍長若クハ直ニ下士ニ任官ス

將校ノ補充

將校ノ補充ハ士官學校ニ依ル而シテ士官學校ヲ二種ニ分ツ即チ速成士官學校及士官學校之ナリ  
速成士官學校ハ隊附士官ヲ養成スル所ニシテ修學期ヲ一年トス  
士官學校ハ永久幹部タル將校ヲ養成スル所ニシテ修學期ヲ二年トス

第四節 軍隊

民兵制ナルヲ以テ常時存在スル軍隊ハ近衛中隊傳令中隊及幹部隊ノミトス

一 步兵

平時編制

現役軍 歩兵ハ四十一大隊ニシテ二乃至三大隊ヲ以テ聯隊ヲ爲ス聯隊數十三ナリ

自轉車中隊ハ五箇アリ此ノ中隊ハ夏期ハ自轉車ヲ用ヒ冬季ハ「スキート」稱スル橇

ノ一種ヲ用ユ

機關銃隊ハ目下五隊アリテ之ヲ旅團ニ一箇宛ヲ配屬ス此ノ他目下計畫中ニ屬スルモノ左ノ如シ

Thomson ニ在ル步兵三聯隊ニ各一隊

Finmarken ニ在ル步兵大隊(六中隊編制)ノ各中隊ニ各一隊

以上ノ機關銃隊一隊ノ編制左ノ如シ

大尉一、中尉一、下士四、卒二十四、一馬曳二輪車ノ機關銃四門、一馬曳彈藥車四輛、

一馬曳火工器具車二輛、乘馬二、輓車十

戰時編制

歩兵大隊ノ戰時定員ハ將校十八、下士卒八百十六ナリ

自轉車中隊ハ大尉一、中尉二、曹長一、火工下士一、軍曹六、伍長十三、喇叭手二、兵卒百見  
習醫官一、看護手一、縫工一、靴工一、馭卒三、料理卒三ヲ有ス

後備軍 後備歩兵大隊ハ第十三ヨリ第十八ニ至ル六大隊アリ各大隊ハ六中隊

編制ニシテ現役軍ニ在ル聯隊ト編合セラレルトキハ其ノ第四大隊ヲ成形ス



Finland ニアル政府ノ特別部隊  
現時五中隊編制ノ歩兵二大隊(改正案ニテハ三大隊編制ノ聯隊三箇ヲ設クルコトニ定メアリ)及 Finmarken 州ニ二中隊編制ノ一大隊(改正案ニテハ六中隊編制ノ一大隊ヲ置クコトニ定メアリ)アリ

一 騎兵

現役軍後備軍及國民軍ヲ合シテ龍騎兵三聯隊アリ  
傳令中隊一箇騎兵學校ニ屬スル一中隊アリ  
戰時ニ際シテハ現役軍及後備軍五箇聯隊ヲ編成スルモノトス  
機關銃隊二十箇アリ戰時各聯隊ニ四隊ヲ附屬ス一隊ノ編制左ノ如シ  
機關銃四門彈藥箱八彈藥車三火工車二馬匹四十八

三 砲兵

野砲兵 現役軍ニ於テハ二大隊編制ノ三聯隊アリ其ノ一大隊ハ五中隊ヨリ第二大隊ハ四中隊ヨリ成ル後備軍ニ於テハ四門編制ノ中隊二十七箇アリ別ニ彈藥中隊三箇アリ現役軍ノ聯隊ニ一中隊ヲ附ス此ノ中隊ハ動員ニ際シ砲兵彈藥縱列

及歩兵旅團ノ彈藥縱列ヲ編成スルモノトス

山砲兵 八門編制ノ三中隊アリ動員ニ際シテハ分割シテ若干中隊トナル

要塞砲兵 要塞砲兵トシテハ左ノ諸隊アリテ各地ニ分屯セシム

要塞砲兵大隊六箇

要塞砲兵獨立中隊一箇

要塞砲兵分遣隊一箇

信號中隊五箇

火工分遣隊五箇

平時人員トシテハ將校八十一、下士二百六十三、卒四百八、アリ

陣地砲兵(野戰重砲兵) 陣地砲兵一大隊アリ四中隊ヲ以テ編成ス内三中隊ハ

重砲兵ニシテ一中隊ハ榴彈砲兵ナリ動員ニ際シテハ分割シテ若干大隊ヲ編成ス

四 工兵

工兵一聯隊アリ之ヲ分ツコト左ノ如シ

鐵兵一大隊

橋船兵二中隊

電信一大隊

混成一大隊(北部地方)

後備工兵隊三箇

平時人員ハ幹部トシテ將校三十九下士百三十一卒六十一名ヲ置ク

### 五 輜重兵

輜重兵ハ六中隊編制ノ一大隊アリ

## 第五節 參謀勤務及其ノ他ノ諸勤務

### 一 參謀勤務

參謀將校ノ補充ハ陸軍大學校卒業者ヲ以テ之ニ充ツ卒業者ハ先ツ參謀見習トシテ三年參謀部附將校トシテ三年總計六箇年間參謀部ニ在リテ研究シタル後始メテ參謀將校タルノ資格ヲ有スルモノトス而シテ參謀將校ト雖モ常ニ參謀勤務ニ服スルニ非ラスシテ二十九年ニ對シテ少ナクモ十五年ハ隊附ヲ爲スモノトス

參謀將校ノ進級ハ他ノ隊附將校ヨリモ速ナリトス

### 二 測圖勤務

測圖勤務ハ時トシテ參謀部ニ時トシテ陸軍以外ノ官署ニ於テ遂行ス

### 三 監督勤務

軍ノ經理業務ヲ監督スル爲メ六箇ノ地方監督部ヲ設ク此ノ他砲兵及工兵ノ爲ニ技術ヲ監督スル技術監督部一箇アリ

### 四 軍隊ノ經理業務

軍隊經理業務ノ爲メ聯隊ニ主計、大隊ニ副官、中隊ニ伍長ヲ置ク經理ニ任スル主計ハ各兵科ノ將校中ヨリ試験ヲ以テ採用ス

### 五 砲兵勤務

中央砲兵技術局アリ此ノ局ハ Kristiania, Kristiansund, Bergen, Trondhjem ニアル砲兵工廠 Kongsberg 兵器製造所、Rjukan 彈丸火藥製造所ヲ直轄シ之カ業務ヲ監督ス野戰砲兵製造局アリ野戰砲兵監ノ令下ニアリ要塞砲兵製造局アリ要塞砲兵監ノ監督ニ屬ス

別ニ携帶兵器製造委員會アリ

### 六 衛生勤務

衛生勤務ハ Kristiania 陸軍病院長タル衛生部大佐ノ統轄スル所ニシテ此ノ將校ハ平時ニ於ケル國軍ノ衛生勤務及戰時内國ニ於ケル國軍ノ衛生勤務ヲ統轄ス

衛生團ハ衛生部中佐之ヲ指揮シ參謀將校ヲ附屬ス衛生隊之ニ屬ス此ノ衛生團長ハ平戰兩時ニ於ケル軍隊ノ衛生ヲ處理ス

衛生勤務員ハ大佐一、中佐二、少佐六、大尉三十六、中尉二十名ニシテ此ノ他豫備衛生部將校三百五十名アリ

衛生部將校ノ補充ハ醫術試驗ノ前半期ヲ終ヘタル者ヨリ採リ陸軍病院ニ於テ見習ノ後衛生部准士官ノ階級ヲ得タル者ニシテ醫術卒業免狀ヲ得タル時ハ衛生部中尉ニ任ス

### 七 獸醫勤務

獸醫勤務ニ服スル將校ハ少佐一、大尉九、中尉五ニシテ此ノ他豫備獸醫將校若干アリ

### 八 陸軍司法勤務

陸軍裁判所ハ單ニ軍事ニ關スル犯罪ノミヲ處理ス陸軍刑法ハ千九百二年五月二十日ノ制定ニ係レリ

軍事裁判官ハ文官ヨリ之ヲ採用ス

### 第六節 陸軍以外ニ於テスル國民軍事教育

陸軍以外ニ於テスル國民軍事教育トシテハ各種ノ體育會アリ其ノ重ナルモノヲ聯合運動會トス此ノ會ノ目的トスル所ハ將來兵員トシテ必要ナル體格ヲ青年ニ具備セシメ且家郷ニ於テ入隊後ノ豫備教育ヲ授クルニアリトス千九百八年ニ於テ此等體育會ノ爲ニ國家ノ補助シタル金額ハ射撃ノ爲メ一八八、〇〇〇「クローネ」、體操ノ爲メ八、七〇〇「クローネ」又其ノ他各種運動ノ爲メ一五、〇〇〇「クローネ」ニシテ千九百六年ノ調査ニ依レハ射撃會千四百九十六ヲ算シ其ノ會員ハ四六、〇〇〇人ニ達シ爲ニ中央射撃協會ナルモノヲ設クルニ至レリ

目下國民軍事教育法案ノ成文ニ依レハ各學校並射撃協會ハ將來兵役ニ服ス可キ

青年及豫備役兵ノ爲ニ射撃ヲ練習セシム可キ義務ヲ有スルコトヲ規定シアリ

### 第七節 兵器、器具、彈藥、被服

#### 一 兵器

步兵 ハ千八百九十四年 Krupp-Jönsson 式銃ヲ用ユ口徑六密ニシテ五連發銃ナリ彈倉ハ五發裝填トス

騎兵 ハ步兵ト同制式ノ騎銃ヲ用ヒ口徑六密半トス此ノ他刀ヲ帶フ

野砲兵 ハ二種ノ砲ヲ用ユ即チ八十七年式野砲 (Passe) 及千九百一年式七十五

密野戰速射砲 (Ehrhardt) 之ナリ

山砲兵 ハ八十一年式山砲 (Lange) ヲ用ユ

重砲兵 ハ Schneider-Canet 式百五密砲及 Ehrhardt 式百二十密榴彈砲ヲ用ユ

諸元ノ詳細ハ附表ニ詳ナリ

#### 二 器具

步兵 ハ携帶器具トシテ中隊ニ方匙四十、小鶴嘴四十九、手斧八ヲ有ス

### 三 彈藥

步兵 ハ各人百五十發ヲ有ス

野戰砲兵 ハ七十五密速射砲ニ於テハ前車ニ三十六發各彈藥車ニ百發ニシテ砲一門ニ對シ二百二十發宛トス

### 四 被服

服色ヲ變スルコトハ實驗ノ後其ノ無益ナルコトヲ認メ單ニ其ノ制式ヲ若干變更セリ即チ從來ノ上衣ハ廣濶ナル短衣ニ代ヘラレタリ

步兵 ハ濃青色絨ヲ用ヒ白色金屬ノ釦ヲ用ユ帽子ハ「ケビー」形ナリ

獵兵 ハ綠色絨ヲ用ユ

騎兵 ハ上衣ハ濃青色ニシテ袴ハ灰色ナリ帽子ハ「シャコー」形ニシテ黑色ノ毛ヲ戴ケリ

砲兵 ハ濃青色絨ヲ用ヒ裝飾ノ爲メ深紅色ヲ用ヒ縁飾ハ赤ニシテ帽子ハ「シャコー」形ニシテ青色ナリ

### 第八節 平戰兩時ノ兵力

平時ニ於ケル幹部及志願兵ノ數ハ將校一七〇〇下士二七〇〇志願兵一八〇〇ナルカ教育期ニ於テハ其ノ兵數一定セス  
戰時ニ於テハ約十一萬ノ兵ヲ舉クルヲ得ヘシ

「クレター」

### 國勢ノ概要

名義上ハ土耳其王ノ主權ノ下ニ立チ英佛伊露ノ監督ニ係ル一統治府ニヨリテ統治セラレ一九〇八年九月クレター入ハ屢希臘ト合邦ヲ宣言シ現ニ列強間ノ問題タリ

憲法制定ハ一八九九年四月十六日下院議員六五名執政三名

- 一 面積 八六一八平方吉米
- 二 住民 一九〇〇年ノ調査ニヨレハ住民三一〇、三八六八
- 三 豫算 一九〇九年 五、九三〇、三三二「ドラヒム」ハ我カ約三十八錢ニ當ル

憲兵費一〇五六、四五七「ドラヒム」民兵費一、一八九〇一八「ドラヒム」ナリ

## 第二章 陸軍

### 徴兵制度

### 民兵

「クレター」民兵ハ一九〇七年希臘陸軍ヨリ派遣セラレタル將校ニヨリテ編成セラレタリ「クレター」人ハ各人悉ク宗教ノ異同ヲ論セス民兵トナルノ義務アリ代人ヲ出スコトヲ許サス一箇年以上憲兵ヲ勤メタル者僧侶及自ラ衣食シ難キ兩親ノ一

「クレター」第一章 國勢ノ概要 第二章 陸軍

子ハ兵役ヲ免除ス犯罪者ハ兵役ニ服スルヲ得ス免役者ハ二〇一三三五「ドラヒム」ヲ納税スルヲ要ス

兵役期限ハ滿二十一歳ヨリ五十一歳ノ始メマテ

徴兵検査 ハ二十一歳ニ於テ行フ最小身長一米五十四珊トス

毎年徴兵適齡ニ達スル青年ハ二五〇〇三〇〇〇人ニシテ一九〇八年ノ如キハ

五二二八人アリシモ現役勤務ニ召集セラルルハ其ノ中一〇〇〇〇人ニ過キス

兵役期限ハ 現役民兵ニ 一箇年

豫備役民兵ニ十一箇年

後備役ニ 八箇年

後備軍豫備役 十箇年

計三十箇年

豫備軍ハ一箇年現役ニ服セル者三箇月ノ勤務ニテ除隊トナレル者全然免役セラレタル者ヨリ成ル豫備兵ハ毎年四十日以下ノ演習ニ召集セラル

後備軍及其ノ豫備軍ハ特ニ危急ノトキニ非ラサレハ召集セラレス第四年目及第

八年日二十五日以下ノ演習ニ召集セラル

下士及軍樂手ハ五十歳又ハ六十歳マテ志願シテ兵役ニ在ルヲ得

新兵募集ハ毎年十月一日ニシテ官職及公職ハ兵役ニ服シタル者ノミ之ニ就クヲ得

一 官職 民兵ノ將校及下士ハ一部分希臘軍隊ヨリ一部分憲兵隊ヨリ採用ス將校ノ任命ハ統治府下士ノ任命ハ憲兵司令官之ヲ爲ス十箇年民兵又ハ憲兵タル者ハ内四箇年ハ下士トシテ文官任用ヲ請求シ得

二 區分及兵員 (一)司令部民兵ハ「クリート」憲兵司令官ノ下ニアリ其ノ補助機關トシテ新兵課經理課醫務課アリ (二)民兵二大隊(各四中隊)アリ各大隊ハ一ノ行政官廳タリ大隊本部ニハ將校三下士二中隊幹部ニハ中隊長一將校二下士六卒一  
二五民兵實員ハ一九〇八年ニ將校四一、下士一一四、卒一〇〇〇アリ (三)「カネア」スフ、キア「レティモ」カンディア「ラッシュタイ」ノ五地ニ四補充管區廳アリ其ノ他監督部衛生部、廠陸軍裁判所等ノ官廳アリ

三 武裝 一九〇三年型「マンリッヘル」シニナウエル式歩兵銃銃劍付ヲ有ス

四 服裝 全然希臘軍ト同シ

### 憲兵

一九〇七年十月十四日ノ法律ニヨレハ年齢二十三歳以上三十歳以下身長一米六六以上ニシテ五箇年徴募セラレタル熱心ナル「クリート」生ノ基督教徒ヨリ成ル服役ハ三箇年ニシテ更ニ三箇年ツツ五十歳マテ延期スルヲ得始メニ「カネア」ノ憲兵課ニテ三箇月ノ教練アリ

一 官職 將校及下士ノ一部ハ伊國騎兵團ヨリ採ラレ憲兵隊中ニテ高級ノ官位ヲ占ム

俸給ハ舍營勤務服給金ヨリ成ル伊國將校及下士ハ別ニ其ノ本國ノ官等ニ相當スル俸給ヲ伊國ヨリ受ク

二 區分及兵員 六中隊ニ分ルニハ「カネア」「ニコレイモ」「カンディア」「スファキア」「ラッシテ」ニ各一各中隊ニ若干ノ小隊分隊及組アリ外部勤務ノ乘馬憲兵若干市内勤務ノ自轉車兵若干遊働分隊ヨリ成ル

「カネア」及「スファキア」ニ 四七屯所

「ニコレイモ」ニ

二四屯所

憲兵屯所

「カンディア」ニ

二二屯所

計一一三屯所

「ラッシテ」ニ

二〇屯所

總兵員將校一四、副官四六(騎馬二)、下士二五一(騎馬六)、憲兵九六六(騎馬五〇)、見習憲兵二〇、通譯一計一二七八人

三 武裝 憲兵ハ一九〇三年型マンリッヘル、シーナウエル式歩兵銃銃劍付、下士及騎馬者同式騎兵銃、前者ハ銃劍付、士官及騎馬者ハ刀、將校モ卒モ悉ク「プロ」ニング式自動拳銃ヲ携フ

四 服裝 赤色短表衣及鈕釦付胴衣、自國風ノ服ヲミタル黑色股衣、驃騎兵帽ニ似タル略帽、長靴(夏ハ白色、冬ハ黑色)、時ニハ乘馬脚絆、黑色外套ヲ著用ス

### 佛 蘭 西

# 第一章 國勢ノ概要

## 第一節 政治組織

佛蘭西ハ共和國ニシテ其ノ憲法ハ千八百七十五年七月二十四日、同二十五日及同二十六日ノ法律ニ依リテ制定セラレ自後屢次修正ヲ加ヘラレタルモノニシテ該憲法ニ依レハ行政權ハ大統領及内閣ニ立法權ハ上下兩院ニ委任セララルモノトス。

大統領ハ國民議會即チ上下兩院ノ合同會議ニ依リテ選舉セララルモノニシテ七箇年ノ任期ヲ有シ尙ホ再選セララルコトヲ得行政權ヲ總攬シ責任アル内閣諸大臣ヲシテ之ヲ實施セシム又大統領ハ陸海軍ヲ統帥スト雖モ兩院ノ協贊ヲ經ルニ非ラサレハ開戰ヲ布告スルコト能ハス。

内閣ノ組織ハ屢變更セルモ現今ニ於テハ陸軍、海軍、内務、外務、植民、司法、大藏、農務、商務、文部及美術、工務及遞信並勞働ノ十二省ヨリ成ル。

上院ハ五箇年ノ任期ヲ有スル三百人ノ議員ヨリ成リ其ノ内二百二十五人ハ每三

箇年ニ三分ノ一宛改選スルモノニシテ各町村會ヨリ其ノ人口ノ多寡ニ從ヒ選舉セラレタル選舉人ト兩院議員、縣會議員及郡會議員トヨリ成レル選舉會トニ於テ之ヲ選舉シ殘餘ノ七十五人ハ國民議會及上院ノ選舉ニ係ル終身議員ヨリ成ル但王族ハ一切上院ノ班ニ列スルヲ許サス。

下院ハ任期四年ヲ有スル五百八十五名ノ議員ヨリ成リ本國及植民地ニ於ケル二十五歳以上ノ公民權ヲ有スル者ヨリ選出セララル。

地方行政上全國ヲ八十七縣ニ區劃シ外ニ佛領アルゼリーノ三縣ヲ本國ト略同一ノ制度ノ下ニアラシム各縣ニハ政府ノ任命セル知事ヲ置キ縣參事會ノ輔翼ニ依リ縣内一切ノ行政ヲ司ル。

縣ハ之ヲ郡ニ分チ郡ハ更ニ之ヲ邑ニ分ツ而シテ邑ノ數ハ三萬六千二百二十二ヲ算シ自治制ヲ許サレ地方行政ノ基礎ヲナス。

## 第二節 面積、人口

佛蘭西本國ノ全面積ハ約五十三萬六千四百平方吉米ニシテ我カ國ノ全面積ヨリ



朝鮮ノ半及樺太島ヲ滅シタルモノト略、相等シク人口ハ約三千九百二十五萬ニシテ一平方吉米ニ約七十三人ヲ算シ我カ國ニ比スレハ甚タ少ク且近年人口増加ノ跡ナク寧ロ減少ノ傾向アリ

### 第三節 豫算

豫算年度ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル今千九百十年度ニ於ケル豫算額ヲ舉クレハ左ノ如シ

總豫算 約十六億九百七十四萬二千圓  
陸軍豫算 約三億三千七百五十二萬二千圓

## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

佛國陸軍ハ平時ニ於テハ之ヲ大別シテ本國軍及植民軍ノ二種トナシ戰時ニ於テハ現役軍、豫備軍及後備軍ニ分ツ  
本國軍ハ佛本國「アルゼリー」及「チユニシ」ヲ合ム以下同シニ於ケル常備軍ニシテ佛國人タル現役兵ヲ以テ編組シ植民軍ハ各植民地ニ屯在スル守備隊ト本國ニ屯在スル遊動軍トヨリ成リ其ノ本國ニ在ルモノハ佛國人タル現役兵ヲ以テ編組シ植民地ニ在ルモノハ在本國植民軍ヨリノ交代兵及各植民地ノ土人ヲ以テ編成セル軍隊ヨリ成ル而シテ本國軍ト本國駐屯ノ植民軍トハ戰時ニ於テ共ニ本國ノ作戰用ニ供セラル可キモノナリト雖モ平時ニ於テハ全ク其ノ徵募法ヲ異ニシ各別ノ豫算ヲ有ス  
戰時ニ於ケル現役軍ハ即チ平時ノ常備軍ニシテ戰時陸軍ノ主要部ヲナシ主トシテ野戰ニ使用セラル可キモノトシ豫備軍ハ戰時ニ際シ主トシテ豫備役兵ヲ以テ編成スルモノニシテ現役軍ノ編制中ニ入り若クハ獨立シテ現役軍ト同シク野戰ニ使用セラル可キモノトス又後備軍ハ戰時主トシテ後備役及國民兵役ニ在ル者ヲ以テ編成スルモノトス

之ヲ要スルニ佛國陸軍ハ殆ト全世界ニ散在スル其ノ廣大ナル植民地及保護國ノ防備ニ充ツ可キ軍隊ト本國ヲ防備ス可キ軍隊トヲ全然區別スルモノニシテ其ノ本國ノ防衛ニ任スル軍ノ主力ハ元ヨリ常備軍ニ在リト雖モ戰時ニ於テハ擧國皆兵ノ主義ヲ採ルモノニシテ實ニ平時常備軍ノ殆ト三倍ニ擴張セラル而シテ其ノ國軍兵力ヲ定ムルノ基礎ハ主トシテ隣國タル獨逸ノ兵備ニ拮抗セントスルニ在リ

### 第二節 中央統轄機關

佛國軍ノ最高首腦ハ大統領ナリト雖モ平時ニ在テハ陸軍大臣ハ大統領ノ委任ニヨリテ陸軍ノ指揮ヲ實施ス而シテ陸軍大臣ノ職務實施ノ機關トシテハ陸軍省ノ諸局アリト雖モ尙ホ高等軍事會議、參謀本部及其ノ他各種ノ技術會議委員會等アリテ大臣ノ職務ヲ補助ス以下此等ノ諸機關ヲ略述ス可シ

#### 陸軍省諸局

- 一 經理監督局
- 二 法務局
- 三 內務局
- 四 歩兵局

- 五 騎兵局
- 六 砲兵局
- 七 工兵局
- 八 經理局
- 九 銃砲火藥局
- 十 醫務局
- 十一 植民兵局

高等軍事會議 高等軍事會議ハ陸軍大臣ヲ議長トシ特ニ陸軍ノ編制及戰爭ノ準備ニ關スル諸問題ヲ擔任シ左ノ諸員ヲ以テ組織ス

陸軍大臣 議長

參謀總長

參謀本部長 議定官タル議員

中將 十人

本會議ハ普通毎月一回及諮詢ヲ要スル毎ニ開會スルモノニシテ又大統領ハ何時ニテモ開會ヲ命スルコトヲ得要スレハ自ラ議長トナリ內閣總理大臣及海軍大臣ヲ會議ニ招致スルコトヲ得

參謀本部 參謀本部ハ陸軍高等會議議員中ヨリ選任シタル參謀總長ナル名稱ヲ有スル一將官ノ指揮ニ屬シ左ノ三部ヨリ成ル

第一部 戰時主軍ノ總參謀長ニ指定セラレタル參謀本部第一次長ノ隸下ニ在

リテ作戰及教育外國軍ノ編制及戰術研究、鐵道及兵站ニ關スル事務ヲ擔任ス

第二部 參謀本部次長タル一名ノ少將若クハ大佐ノ令下ニ在リテ軍ノ編制及

動員亞非利加ニ關スル事務、歴史ニ關スル事務ヲ擔任ス

第三部 參謀本部次長タル一名ノ少將若クハ大佐ノ令下ニ在リテ參謀職員ノ

人事、參謀本部ノ庶務並經理ヲ擔任ス

參謀總長ノ下ニ參謀本部長アリテ戰爭準備ノ諸問題ニ對シ總長ヲ補佐シ又陸軍大臣ト直接ニ普通事務ニ關スル諸事件ヲ取扱ヒ動員ニ際シテハ陸軍卿ノ下ニ殘留ス

技術委員會 各兵科各部毎ニ一委員會ヲ設ケ顧問ノ名義ヲ以テ專門ニ關スル事務ニ就キ研究ス

### 第三節 地方統轄機關

地方軍政及統帥事務ノ爲メ全國ヲ二十軍團管區ニ分チ各軍團管區ハ更ニ若干ノ聯隊區ニ分ツ但巴里及里昂ノ要塞ハ陸軍總督府ト稱スル特種ノ機關ニ依リテ統

轄セラル

軍團管區司令部ハ地方最高ノ軍政及統帥機關ニシテ司令官ハ軍團長トシ陸軍大臣ニ直隸シテ管内諸般ノ軍政及軍令事務ヲ統轄ス

聯隊區司令部ハ徵兵、動員、徵發及後備軍ニ關スル事務ヲ統轄シ特ニ各役種在郷軍人ヲ管轄ス

巴里及里昂ノ陸軍總督府ハ我カ東京ニ於ケル衛戍總督部ニ類スルモノニシテ佛國ニ於ケル重要ナル首府及都府ニ於ケル要塞及軍隊ト其ノ地方トヲ一人ノ指揮下ニ委シ以テ衛戍勤務ノ統一ヲ謀ルニ任スルモノトス

### 第四節 兵役法及補充法ノ大要

佛國人及歸化人タル男子ハ悉ク兵役ノ義務ヲ有スルモノニシテ身體不合格ノ者ノ外何人ト雖モ兵役ヲ免除セラルコトナシ

兵役期限ハ壯丁ノ滿二十一歳ニ達シタル年ノ秋季ニ始マリ二十五年間トシ逐次現役現役軍豫備後備役後備役豫備ニ服務ス

現役 各兵科ヲ通シテ二箇年ニシテ戰闘兵科ノ勤務ニハ適セサルモ尙ホ或他ノ勤務ニ適スル者ハ補助勤務役ニ編入セラル

現役軍豫備 現役二年ヲ終リタル者之ニ服シ其ノ期限ハ十一箇年トシ服役中

二回演習召集ヲ受ク

後備役 豫備役ヲ終リタル者及現ニ生存セル四人ノ子ノ父タル豫備役者之ニ服シ其ノ期限ハ六年トシ服役中一回召集ヲ受ク

後備役豫備 後備役ヲ終リタル者及現ニ生存セル六人ノ子ノ父タル後備役者之ニ服シ其ノ期限ハ六箇年間トシ服役中一回點呼ヲ受ク

以上各役ニ於テ四人又ハ六人ノ子ノ父タルノ故ヲ以テ轉役シタル者ト雖モ全服役二十五箇年ハ之ヲ短縮スルコトナシ

右一般服役ノ外志願服役及再服役ノ制アリテ志願服役ハ未丁年者ニ在テハ兩親ノ許可ヲ受クルヲ要シ滿十八歳ノ始ヨリ服役スルヲ得三年四年及五年ノ三種服役アリ再服役ハ本國軍ニ在テハ五年植民軍ニ在テハ十五年ノ再役ヲ爲シ得ヘシ而シテ又下士ハ本國軍ニ在テモ植民軍兵卒ト等シク十五年ノ再役ヲ爲シ得ヘシ而シテ

制規ノ期限以上服役ヲナス者ハ特別ノ手當ヲ受ク  
植民地ニ於ケル軍隊ハ専ラ左記ノ者ヨリ補充セラレ本國ニ於ケル一般徵兵ニ在テハ植民地ニ送ラルルコトナシ

- 一 植民地軍隊ニ編入ヲ志願シタル壯丁
- 二 志願兵
- 三 再服役者
- 四 徵集セラレタル青年ニシテ植民地ニ駐在スル者

### 第五節 將校、下士並同相當官

#### 一 將校及下士卒ノ階級

將校ノ階級ハ我カ國ニ於ケルト同クシテ少尉ヨリ大將ニ至ルト雖モ佛國ニ於テハ政體上武官ノ勢力ヲ増大ナラシムルヲ忌ムノ結果大將ノ階級ハ之ヲ設クルノミニシテ實際此ノ階級ニ昇任スルコトハ稀有ノ場合ニ過キス

下士卒ノ階級モ亦我カ國ニ於ケルト同様ニシテ二等卒、一等卒、伍長、軍曹、曹長、特務

曹長ノ諸階級ニ分ル

## 二 將校、下士ノ補充及進級

將校ノ補充ハ三種ノ出身者ヨリス即チ士官學校出身者將校生徒下士學校出身者及特務曹長出身者之ナリ

一 士官學校 士官學校ハ「サンシール」士官學校及「ポリテクニク」學校（諸藝學校）ノ二種アリテ前者ヨリハ歩騎兵科將校ヲ後者ヨリハ砲工兵科將校ヲ補充ス

二 將校生徒下士學校 下士トシテ少クモ二年ヲ經過シタル者ハ其ノ兵科ノ將校生徒下士學校或ハ工兵學校又ハ經理學校ノ候補者トシテ申請セララルヲ得ヘシ之カ爲メ下士ハ其ノ隊ニ於テ特別試験ヲ受ケテ小隊長勤務適任證書ヲ受領シ次テ軍團長ノ許可ヲ得テ普通學及軍事學ヨリ成ル競争試験ヲ受クルモノトス

三 特務曹長 下士ノ階級ニ於テ少クモ十年ヲ經過シタル特務曹長ノ甚タ

小數ハ數年以來其ノ直屬上官ノ申請ニ基キ大統領ヨリ將校ニ任命セララル

右ノ外憲兵將校ハ其ノ一部ハ各兵科ノ將校ヨリ轉科セシメ一部ハ憲兵下士トシ

テ巴里ノ憲兵學校ノ教育ヲ受ケタル者ヨリ補充ス

將校ノ進級法ニハ古參ノ順序ニ從フモノト拔擢ニ依ルモノトノ二法アリ即チ左

ノ如シ

一 少尉ヨリ中尉ニハ服役年數二箇年ヲ有スル者ノ中ヨリ總テ古參順ニ依リテ進級セシム

二 中尉ヨリ大尉ニハ中尉トシテ服役年數二年ヲ有スル者ノ中ヨリシ缺員ノ

三分ノ一ハ拔擢ヲ以テ三分ノ二ハ古參順ニ依リテ進級セシム

三 大尉ヨリ少佐ニハ大尉トシテ四年ノ服務年數ヲ有スル者ノ中ヨリシ缺員

ノ二分ノ一ハ拔擢ニ依リ二分ノ一ハ古參順ニ依リ進級セシム

四 少佐ヨリ中佐ニハ少佐トシテノ服務年數三年ノ者ノ中ヨリ總テ拔擢ニ依

リテ進級セシム

五 中佐ヨリ大佐ニハ中佐トシテノ服務年數二年ノ者ノ中ヨリ總テ拔擢ヲ以

テ進級セシム

六 大佐ヨリ少將ニハ大佐トシテノ服務年數三年ノ者ノ中ヨリ總テ拔擢ヲ以

テ進級セシム  
七 少將ヨリ中將ニハ少將トシテノ服務年數三年ノ者ノ中ヨリ總テ拔擢ヲ以テ進級セシム

下士ノ補充ハ伍長トス(伍長ハ兵卒ノ有階者ニシテ下士ニ非ラス)  
伍長ハ伍長候補者トシテ中隊ニ於テ特ニ教育シタル兵卒中ヨリ拔擢シテ團隊長之ヲ任命ス  
軍曹ノ任命及其ノ上級ヘノ進級ハ總テ團隊長ニ於テスルモノニシテ植民軍隊ニアリテハ下士ノ任官ハ總テ陸軍大臣之ヲ行フ

三 將校、下士ノ給與

將校ノ俸給額左ノ如シ

少將	服役六年未滿	二千四百十二法
少將	服役六年以上	二千八百八十法
中尉	中尉任官後四年未滿	二千九百八十八法
中尉	同	三年二百四法
中尉	中尉任官後四年未滿	二千四百二十法
中尉	任官後八年以上ノ者	三千四百九十二法
中尉	中尉任官後八年ヲ過キ且服役二十年以上ノ者	三千四百九十二法
中尉	大尉任官後五年未滿ノ者	三千九百九十六法
大尉	同	三千九百九十六法
大尉	同	四千五百法
大尉	同	五千四百法
大尉	同	五千五百八法
大尉	同	六千五百八十八法
大尉	同	八千三百三十六法
大尉	同	一萬二千六百法
大尉	同	一萬八千九百法

中尉	中尉任官後四年ヲ過キ且服役十五年以上ノ者若クハ中尉任官後八年以上ノ者	三千四百二十法
中尉	中尉任官後八年ヲ過キ且服役二十年以上ノ者	三千四百九十二法
中尉	大尉任官後五年未滿ノ者	三千九百九十六法
大尉	同	三千九百九十六法
大尉	同	四千五百法
大尉	同	五千四百法
大尉	同	五千五百八法
大尉	同	六千五百八十八法
大尉	同	八千三百三十六法
大尉	同	一萬二千六百法
大尉	同	一萬八千九百法

俸給ノ外將校ハ地方生活程度ノ高下ニ從ヒ四等ニ分チタル特別ノ手當ヲ又將校ノ勤務ニ從ヒ特別ノ勤務手當ヲ受ク

再役ニ非ラサル下士ノ日給ハ〇法七二トス而シテ此ノ給料ハ再役者ノ爲ニハ服役二年ノ後ヨリ第五年ニ至ルマテハ食料暖室費ノ多額及再服役ノ増給及獎勵金ヲ以テ増加セラレルモノトス  
 下士ハ服役第六年ヨリ俸給制度ヲ以テ給與セラレ毎月月額ノ支給ヲ受ク即チ軍曹ニ在リテハ服役第八年マテハ月額百二法第九年ヨリ第十一年マテハ百八法第十二年以後ハ百十四法トシ曹長ニ在テハ以上ノ期限毎ニ百十一法百十七法百二十三法トシ特務曹長ニ在テハ百五十九法又ハ百六十五法ヲ受ク

第六節 常備軍ノ平時編制

一 諸兵科

(一) 歩 兵

佛國歩兵ノ種類及隊數左ノ如シ

- 線列歩兵聯隊 百六十三
- 徒歩獵兵大隊 三十

「ズアーブ」歩兵聯隊 五

「アルジエリ」撤兵聯隊 四

外人歩兵聯隊 二

亞弗利加輕歩兵大隊 五

線列歩兵聯隊

二種アリテ一ハ聯隊區聯隊ト稱シ各聯隊區ニ於ケル徵兵ヲ

以テ編組セルモノニシテ本部三大隊及機關銃二小隊ヨリ成リ他ハ軍團管區聯隊

ト稱シ一軍管區内ノ徵兵ヲ以テ編組スルモノニシテ本部四大隊及機關銃二小隊

ヨリ成ル兩種聯隊ノ各大隊ハ編制概ネ同一ニシテ共ニ四中隊ヨリ成ル

線列歩兵一大隊ノ定員左ノ如シ

將校十四、下士卒五百十、馬匹六

徒歩獵兵大隊

六中隊編制(一大隊ノミハ四中隊編制)ニシテ全部三十大隊中

五大隊ニ於テ第六中隊ヲ自轉車隊トセリ又十二箇大隊ハ「アルプス」山地ニ在ルモ

ノニシテ其ノ細部ノ編制ヲ異ニセリ尙ホ獵兵各大隊ハ機關銃一小隊ヲ有ス

獵兵一大隊ノ定員左ノ如シ

四中隊編制ノ大隊

將校二十一、下士卒五百五十二、馬匹八

六中隊編制ノ大隊

將校二十七、下士卒八百十八、馬匹十

「アルプス」大隊ノ編制

將校三十四、下士卒九百三十四、馬匹五十六

「ズアープ」聯隊

此ノ聯隊ハ佛國カ「アルゼリー」「チュニジ」ノ中間地區タル「ズ

アープ」地方ヲ攻略シタル際該地方ノ土人ヲ驅テ兵役ニ就カシメタル以來其ノ編

成ヲ定メタルモノニシテ當初ハ主トシテ土人ヲ以テ編組シタリシカ現今ニ於テ

ハ佛人ノミヲ以テ編成スルニ至レリ而シテ本聯隊ハ過去ノ歷史上光輝アル武勳

ヲ有スルヲ以テ今尙ホ此ノ聯隊ニ編入セラルルハ兵卒ノ最名譽トスル所タリト

云フ

各聯隊ハ五大隊（一大隊ハ四中隊）及補充二中隊ヨリ成リ第五大隊ノミハ之ヲ本國

ニ止メ他ハ總テ「アルゼリー」及「チュニジ」ニ駐屯セシム大隊ノ定員左ノ如シ

第一乃至第四大隊 將校十四、下士卒五百九十四、馬匹七

第五大隊 將校十四、下士卒五百二十六、馬匹六

補充中隊 將校三、下士卒四十三、馬匹一

「アルゼリー」撤兵聯隊

此ノ聯隊ハ主トシテ「アルゼリー」土人ヲ以テ編成シ

「アルゼリー」及「チュニジ」ニ駐屯スルモノニシテ六大隊及補充一中隊編制ノ聯隊

ト八大隊及補充一中隊編制ノモノトノ二種アリ

各大隊ハ四中隊ヨリ成リ其ノ定員左ノ如シ

將校二十二、下士卒六百五十八、馬匹七

補充中隊定員 將校五、下士卒四十四、馬匹一

外人歩兵聯隊

此ノ聯隊ノ編成ハ千八百三十一年「ルイ、フィリップ」王ノ世ニ於

テ佛本國以外ノ領土ニ於ケル土人及外國人ヲ以テ一軍隊ヲ編成シタルニ起因ス

ルモノニシテ各聯隊ハ五大隊（一大隊ハ四中隊）及補充二中隊ヨリ成ル

大隊ノ定員左ノ如シ

將校十四、下士卒六百九十四、馬匹三

亞非利加輕歩兵大隊

此ノ大隊ハ「アルゼリー」及「チュニジ」ニ駐屯シ其ノ

目的ハ軍隊ニ入隊前若クハ服役中一回乃至數回輕罪ノ刑ヲ受ケタル陸海軍壯丁

及軍人ヲ收容シ普通軍隊ニ編入スルノ豫備試驗ヲナスニ在リテ各大隊ハ六中隊



ヨリ成ル

大隊ノ定員左ノ如シ

將校三十三、下士卒千五百二十一、馬匹十二

(二) 騎兵

騎兵ノ種類及隊數左ノ如シ

- 胸甲騎兵聯隊 十二
- 龍騎兵聯隊 三十二
- 獵騎兵聯隊 二十一
- 驃騎兵聯隊 十四
- 亞弗利加騎兵聯隊 六
- 「スパイ」騎兵聯隊 四
- 軍馬補充中隊 八

胸甲騎兵、龍騎兵、獵騎兵、驃騎兵、亞弗利加獵騎兵 此等各種騎兵ハ其ノ名稱武裝等ヲ異ニスト雖モ其ノ編制ハ全ク同一ニシテ平時ハ本部及五中隊ヨリ成リ其ノ第

五中隊ハ平戰兩時共ニ補充中隊タルモノトス

一中隊ノ定員左ノ如シ

將校六、下士卒百五十、馬匹百十四

「スパイ」騎兵聯隊 此ノ聯隊ハ幹部ノ一部ヲ除クノ外全部士人ヲ以テ組織スルモノニシテ他ノ諸種騎兵ノ如ク本部及五中隊ヨリ成ルト雖モ細部ノ編制ヲ異ニセリ

一中隊ノ定員左ノ如シ

將校六、下士卒百七十八、馬匹百八十三

軍馬補充中隊 佛本國ニ五中隊「アルゼリー」「チユニジ」ニ三中隊アリ其ノ任務ハ軍馬補充廠ノ馬匹ヲ育成スルニ在リテ中隊ノ編制ハ一様ナラス

(三) 野戰砲兵

野戰砲兵聯隊ハ總計六十二聯隊ト「アルゼリー」「チユニジ」ニ於ケル獨立五大隊トアリテ各聯隊ノ編制ハ齊一ナラス中隊ノ總計左ノ如シ

野砲六百十九中隊(在本國)野砲十五中隊(在「アルゼリー」)騎砲十六中隊、重砲二十一

中隊

右ノ外山砲兵二聯隊(十八中隊)アリテ其ノ四中隊ハ「アルゼリー」ニ在リ  
野戰砲兵諸中隊ノ定員左ノ如シ

野砲兵中隊 將校五下士卒百三馬匹六十一

騎砲兵中隊 將校五下士卒百五馬匹八十七

山砲兵中隊 將校五下士卒百五十六馬匹九十六

「アルゼリー」及「チュニジー」屯在野砲中隊 將校四下士卒百五十三馬匹百三十二

同 山砲中隊 將校四下士卒二百三十八馬匹百六十七

(四) 徒歩砲兵

徒歩砲兵ハ佛本國二十一聯隊アリ各聯隊ノ編制ハ齊一ナラスシテ中隊ノ總計ハ  
八十九トシ内三十八中隊ハ海岸砲兵ニシテ五十一中隊ハ陸地要塞砲兵ナリ尙ホ  
「アルゼリー」及「チュニジー」ニハ四中隊ヨリ成ル大隊二箇アリ

一中隊ノ定員左ノ如シ

將校四下士卒百二十九

(五) 工兵

工兵ハ之ヲ鋏兵氣球兵電信兵及鐵道兵ニ分ツコトヲ得而シテ此等各分科部隊ハ  
大隊ニ編制セラレ各大隊ハ平時教育上合シテ聯隊ニ編合セラルト雖モ戰時ニ在  
テハ鋏兵ハ一大隊宛軍團ニ配屬セラレ他ノ交通兵モ亦若干宛軍ニ配屬セラルル  
モノトス

鋏兵 鋏兵ハ六聯隊(二十一大隊)アリテ一大隊ハ三乃至五中隊ヨリ成ル中隊ノ  
定員左ノ如シ

將校四下士卒百八

氣球兵 氣球兵ハ一大隊(四中隊)アリテ鋏兵大隊ト合シテ一聯隊ニ編制セラレ

鐵道兵及電信兵 鐵道兵ハ三大隊(大隊ハ四中隊編制)電信兵ハ一大隊(六中隊

編制)アリテ兩兵種合シテ一聯隊ニ編成セラルル一中隊ノ定員各左ノ如シ

鐵道兵中隊 將校四下士卒百六十乘馬一

電信兵中隊 將校三下士卒百乘馬三

(六) 輜重兵

輜重兵ハ總計二十大隊アリ各大隊ハ三中隊編制トス尙ホ右ノ外「アルゼリー」及「チ  
ユニジ」ニ若干中隊アリ

一中隊ノ定員左ノ如シ

將校四下士卒八十七馬匹六十七

本國駐屯輜重兵中隊 將校四下士卒三百馬匹二百九十六  
「アルゼリー」駐屯輜重兵中隊

二 諸勤務

(一) 砲兵勤務

砲兵勤務ハ戰時及平時ニ於ケル武器ノ一般管理及砲兵諸工場ノ業務ヲ實施ズル  
ニ在リテ全國ヲ二十二箇ノ管區ニ區分シテ之ヲ實施ス

(二) 火藥及硝石部

火藥及爆藥ノ製造保存等ニ關スル業務ハ砲兵勤務ノ管轄外ニシテ特ニ陸軍大臣  
ノ直轄ニ屬スル火藥硝石技師團ノ人員ニ依リテ實施セララル

技師ハ七種ノ階級ヲ有シ其ノ補充ハ「ポリテクニク」學校卒業者ヲ以テス

(三) 工兵勤務

工兵勤務ハ要塞工事及軍用建築物ノ研究及工事計畫並此等營造物及陸軍所轄地  
ノ監視及保存ニ任スルモノニシテ四十一箇ノ工兵方面ニ依リテ其ノ勤務ヲ實施  
ス

(四) 經理勤務

經理勤務ハ俸給糧食被服陣營具馬具運搬等ノ經理事務及此等業務ニ關スル經費  
並軍隊工場等ノ經費ノ仕拂命令ヲ發シ又金錢物品ノ出納ニ關スル検査ヲ確保ス  
ルモノニシテ各軍團ニ主計監アリテ此ノ勤務ヲ管理シ主計及軍吏ヲシテ此ノ事  
務ヲ實施セシム

(五) 衛生勤務

衛生勤務ハ陸軍病院及軍隊等ニ於ケル衛生業務ヲ確保スルモノニシテ軍醫及藥  
劑官ヲシテ此ノ勤務ヲ確保セシム

軍醫及藥劑官ハ將校ト略同一ノ階級ヲ有ス

(六) 獸醫勤務

獸醫勤務ハ軍用獸類ノ衛生病獸ノ看護食獸ノ臨檢及生肉ノ検査等ヲ確保スルモ

ノニシテ全國ヲ十四獸醫管區ニ分チ業務ヲ實施ス  
 獸醫ハ少尉ヨリ大佐ニ至ル階級ヲ有シ其ノ補充ハ獸醫學校卒業者ヲ以テス  
 以上諸勤務ノ外尙ホ陸軍牧師陸軍裁判所及監獄陸軍通譯等ノ諸勤務アリ

第七節 平時兵力

佛軍ノ平時隊數及人員左表ノ如シ

兵種	區分	隊數		人員			馬匹
		將校	下士卒	人員計	馬	匹	
步兵	兵	六二四	四大隊	一三、一八一	三五四、三八七	三六七、五六八	八、九五八
	騎兵	四四五	中隊	三、九二五	七一、二〇〇	七五、一二五	六五、四一〇
野戰砲	野砲	六三三	四中隊	三、二七五	五七、九三〇	六一、二〇五	三七、九六六
	山砲	一八八	中隊				
砲兵	重砲	一一六	中隊	三、二七五	五七、九三〇	六一、二〇五	三七、九六六
	輕砲	一六	中隊				
其他	諸官衙、學校、輜重兵	六	中隊	七、一四七	一一五、一三九	六一、一一三	二四、九七八
合計		二八、六四六		五五七、五二八	五八六、一七四	一三九、三三九	

徒歩	海岸要塞	陸地要塞	工兵				其他	合計
			鐵兵	氣球	鐵道	電信		
五〇	中隊	四七	中隊	四	中隊	一	中隊	七、一四七
五五六		一五、三四二		一四、七三〇		一五、二六五		一一五、一三九
		一五、八九八		一、五七三				六一、一一三
四五四								二四、九七八
								五八六、一七四
								一三九、三三九

第八節 平時兵力ノ配置

佛本國常備軍ハ二十軍團ヨリ成リ各軍管區ニ一軍團ノ編組内ニ入ル可キ諸隊駐屯ス但第十九軍管區ハ「アルゼリー」ニ在リテ第十九軍團駐屯ス尙ホ「巴里」ニハ植民軍團「チユニシ」ニハ「チユニシ」ノ獨立師團駐屯セリ

第九節 要塞

佛國ハ其ノ接壤國々境ニ於テ一連ノ堡砦ヲ築設シテ敵國ノ侵入ニ備ヘアリ而シテ此等ノ堡砦線ハ其ノ接壤國及地形ノ關係上之ヲ五區ニ大別ス即チ其ノ第一ハ白耳義ニ接スル北方國境ニシテ第二ハ獨國ニ接スル東方國境トシ第三ハ瑞西ニ接スル「ジュラ」國境第四ハ伊太利ニ接スル「アルプ」東方國境第五ハ西班牙ト境スル「ピレネー」國境ナリトス

北方國境線ハ防禦上之ヲ三區ニ分チ最モ重要ナル交通線ヲ掩護ス可キ若干ノ支阻堡ヲ築設セリ

東北國境ハ國防上佛國ノ最モ力ヲ用フル所ニシテ二線ノ要塞線ヲ編成セリ而シテ其ノ第一線ハ國境ニ接シ其ノ第二線ハ第一線ト巴里設堡陣トノ中間ニ配置セラル

右ノ外巴里ノ全周ハ堅固ニ設堡シ防禦ノ第三線トセリ

「ジュラ」國境「アルプ」東方國境及「ピレネー」國境ハ天然ノ山地ニ依頼スルヲ得ルヲ以テ國境山地ノ要點ニ設堡セルノミ殊ニ「ピレネー」國境方面ニ於テハ西班牙ノ貧弱ハ佛國ノ施設ヲ輕減スルヲ許スヲ以テ大西洋及地中海ニ接スル方面ニ若干ノ築

城地ヲ有スルノ外中間地ニハ何等ノ設備ナシ又海岸防禦ニ關シテハ海岸ヲ五箇ノ海軍區ニ分チ軍港其ノ他若干ノ重要ナル地點ニ永久工事ヲ施シ以テ海軍ノ根據地ヲ確實ニシ且商業上重要ナル港灣ト敵ノ上陸ニ便利ナル地點トヲ防護セリ

## 第十節 教育及學校

### 一 教育

兵卒ノ教育ハ我カ國ニ於ケル如ク教育順次ヲ規定スルコトナク唯新兵ノ動員軍ニ參加ス可キ時期ト秋季演習ヲ以テ年度教育ノ終期トスルコトヲ示スノミニシテ全軍教育ノ齊一ヲ謀ル爲ニハ典令教範及臨時所要ノ訓令ニ依ルノ外他ヲ要求セス以テ實行者ニ大ナル獨斷創意ノ餘地ヲ與フ是ヲ以テ聯隊長ハ操典ノ要求及陸軍大臣ノ訓示ニ基キ一年間ニ於ケル詳密ナル教育方針ヲ示シ中隊長ハ更ニ此ノ方針ニ基キ細部ノ教育計畫ヲ立ツルモノトス而シテ各兵種ノ一年間ニ於ケル教育ハ新兵入營(十月上旬)ヨリ新兵ノ動員軍ニ參加シ得ヘキ時期(翌年三月十五日)マテヲ第一期トシ中隊以下ノ演習ヲ行ヒ其ノ時期以後秋季演習マテヲ第二期

トシ中隊以上ノ演習ヲ施行ス  
下士ノ教育ハ一般兵卒ノ教育ト共ニ之ヲ實施スト雖モ將來豫備役將校トナス可  
キ者及將校生徒下士學校ニ入ラントスル者等ノ爲ニハ特別教育ヲ施セリ  
將校ノ一般教育ニ關シテハ步兵操典ノ總則ニ示セル所ニ準據シテ之ヲ實施ス之  
レ佛國ニ於テハ將校團ナク從テ我カ國ノ將校團教育令ニ匹敵ス可キモノナキニ  
ヨルモノトス而シテ將校ノ特別教育課目中ニハ幹部演習他兵科ノ隊附勤務等ア  
リ

### 二 學校

佛國陸軍ニ於ケル諸學校ハ第一將校及同相當官ノ補充ヲナス可キ者第二將校及  
下士ノ豫備學校第三將校及下士卒ノ教育ヲ爲ス者トニ區別スルヲ得ヘシ第一ニ  
屬スル者ハ士官學校諸藝學校陸軍將校生徒下士學校憲兵將校生徒下士學校軍吏  
學校軍醫實施學校及軍醫部士官候補生學校火藥硝石實施學校ニシテ第二ニ屬スル  
者ハ幼年學校豫備學校トシ第三ニ屬ス可キモノハ大學校騎兵實施學校砲工實施  
學校步兵射擊基本學校步兵射擊實施學校砲兵射擊學校野戰砲兵地方射擊學校體

操劍術基本學校軍團砲兵學校中央火工學校工兵聯隊學校鐵道聯隊學校電信學校  
氣球學校トス

士官學校ハ步兵騎兵及植民軍ノ步兵科將校ノ補充ヲナスヲ目的トス

諸藝學校ハ本國軍砲兵植民軍砲兵及工兵科將校生徒ヲ教育スルノ外海軍ニ屬ス  
ル諸技師ヲ養成スルヲ目的トス

陸軍將校生徒下士學校ハ將校生徒ヲ命セラレタル下士ヲ教育シ各兵科ノ現役將  
校トナスヲ目的トシ各兵科毎ニ學校アリ即チ步兵學校騎兵學校及砲工兵學校之  
ナリ

憲兵生徒下士學校ノ目的ハ憲兵下士ヨリ憲兵少尉ヲ養成スルニ在リ

軍吏學校ハ軍吏ノ補充ヲナスヲ以テ目的トシ生徒ハ各兵科下士中ヨリ競争試験  
ヲ以テ採用ス

軍醫部士官候補生學校ハ軍醫補充ノ目的ヲ有スルモノニシテ生徒ハ醫科大學ノ  
一年ヲ終リタル者ノ中ヨリ競争試験ヲ以テ採用ス

火藥硝石實施學校ハ諸藝學校ヲ卒業シタル技師生ニ技師タルニ必要ナル技術教

育ヲ施スヲ以テ目的トス  
 陸軍幼年學校ハ陸海軍軍人ノ子ヲ生徒トシ陸軍士官學校及諸藝學校ニ入學スル  
 爲メ準備教育ヲ授ク  
 陸軍豫備學校ハ軍兒(二歳以上ノ軍人ノ兒子ニシテ政府ノ費用ヲ以テ養育セララルル者)及「エリオール」孤兒院ノ兒童ヲ  
 生徒トシ將來軍隊ノ下級幹部タル可キ準備教育ヲ授ク  
 陸軍大學校ハ全軍ニ高等軍事知識ヲ普及シ且參謀官トナル可キ將校ヲ養成スル  
 ヲ目的トシ學生ハ各兵科ノ大、中尉中ヨリ競争試験ニ依リテ採用ス  
 以上ノ外諸實施學校射擊學校等ハ我カ國ニ於ケルモノト類似ノ任務ヲ有スルモ  
 ノトス

### 第十一節 武器及裝具

#### 一 歩 兵

歩兵ハ千八百八十六年—九十三年式口徑八密米ノ小銃ヲ携帶シ將校及下士ノ一  
 部ハ千八百九十二年式口徑八密米ノ拳銃ヲ携帶ス歩兵各兵ノ携帶彈藥數ハ百二

十發トス

歩兵ノ携帶器具ハ中隊毎ニ百八十五箇ニシテ鋤、シユール(式)鶴嘴、鐵手斧、鐵鉋、大鉄  
 壘鋸ヨリ成ル

歩兵ノ裝具ハ防水性麻布製ノ背囊、雜囊、器具、宿營及料理用具、飯盒等ニシテ内容品  
 フ合シ其ノ重量平均八吉瓦ナリトス

#### 二 騎 兵

騎兵ハ千八百九十年式口徑八密米ノ騎銃、刀及槍(槍ハ龍騎兵ノ一部ノミ)ヲ有ス騎  
 兵卒ノ携帶彈藥ハ六十六發トス  
 騎兵ノ器具ハ中隊毎ニ十二箇トシ匙、鶴嘴、鐵、鋸ヨリ成リ尙ホ爆發鐘百五十ヲ有  
 ス

#### 三 砲 兵

野戰砲兵ハ千八百九十七年式口徑七十五密米火砲ヲ有シ攻城砲兵ハ百五十五密  
 米及百二十密米ノ加農及二百二十密米ノ臼砲ヲ有ス

#### 四 工 兵

工兵ノ武器及裝具ハ概ネ歩兵ノモノニ同シ

### 第十二節 戰時編制ノ大要

戰時ニ於ケル佛本國ノ陸軍ハ本國常備ノ現役軍、植民軍ノ一部豫備軍及後備軍ヲ以テ野戰軍並守備軍ヲ編組ス野戰軍ハ戰時陸軍ノ骨幹ヲナスモノニシテ主トシテ本國常備ノ現役軍、植民軍ノ一部及豫備軍ヲ以テ組織シ守備軍ハ主トシテ後備軍ヲ以テ之ニ宛テ要塞、海岸、山地、交通路等ノ守備ニ任ス其ノ他衛戍地ニハ補充ニ任ス可キ補充隊ヲ編成ス

戰時佛國ハ其ノ野戰軍ノ若干軍團ヲ編合シテ軍ヲ編成シ又若干軍ヲ編合シテ大軍ヲ編成スルモノノ如シト雖モ其ノ編制ハ明ナラス

戰時一軍團ノ正規編制ハ左ノ如シ

- 一 軍團司令部
- 二 歩兵二乃至三箇師團
- 三 左記ノ軍團司令部直轄部隊

騎兵一旅團、砲兵一聯隊、工兵隊（鐵兵一中隊、橋船兵一中隊、工兵廠一箇）、衛生隊一箇、砲兵廠一箇、遊動馬廠一箇、給養縱列、經理職工支隊

戰時歩兵師團ノ編制左ノ如シ

- 一 師團司令部
- 二 歩兵二乃至三旅團
- 三 師團騎兵（一中隊）
- 四 砲兵一聯隊
- 六 工兵一中隊
- 六 衛生隊一箇
- 七 給養縱列
- 八 時トシテハ彈藥數小隊

右ノ外騎兵師團ヲ編成シ軍ニ配屬ス可シ而シテ騎兵一師團ハ司令部及騎兵三旅團（二旅團ハ二聯隊）騎砲兵一大隊ヨリ成ル可シ



第十三節 戰時兵力ノ概數

戰時佛軍ノ擧ケ得ヘキ兵力ハ約二百四十萬人ニシテ隊數概ネ左表ノ如シ

佛軍戰時兵力概數表

備考	兵種		區分		現役軍	豫備軍	後備軍	計
	野戰	步兵	現	備				
括弧内ハ砲數ヲ示ス	野砲中隊	步兵大隊	六四六	四〇二	六二四	四六五	四四六	一五三五
	山砲中隊	騎兵中隊	二四	四〇二	二二六	一九二	三九	六三三
	騎砲中隊	重砲中隊	一六	二二	二二	八三		(九六)
	重砲中隊	徒歩砲兵中隊	二二	一一五				一九八
	工兵中隊	鐵道中隊	八四	八	三六			二二〇
	氣球中隊	電信中隊	八	二四	一九			四三
	兵中隊		六		二〇			二六
								(九六)
								(九六)
								(四二六)

「ブータン」國

第一章 國勢ノ概要

ブータン國ハ印度ノ東北境ニ接スル獨立ノ一專制國ニシテ政體ハ西藏ノ制度ニ類似シ主權ハ俗界ノ首長ト教界ノ首長トニ歸ス然レトモ此ノ區別ハ有名無實ニシテ貴族其ノ實權ヲ掌握シ誅求收斂其ノ極ニ達シ無政府ノ狀態ニ在リシカ千九百七年此ノ兩首長位ヲ讓リ「サア」ウーゲン、ゾンテユック氏新ニ世襲ノ君主トナレ

第二章 面積、人口

面積 二萬方哩  
人口 二十五萬人

「ブータン」國 第一章 國勢ノ概要 第二章 面積、人口

即チ其ノ面積ハ我カ九州ヨリモ約四千方哩大ナリ

### 第三章 一般ノ状態

此ノ國ニハ近世ノ意味ニ於ケル軍備ヲ有セサレトモ住民ハ半開ノ蠻人ニシテ體格頑強戰鬥ヲ好ミ武器ヲ携フ性勤勉ニシテ専ラ農業ニ従事スルモ地勢耕地ニ乏シク且財産ノ保安不確實ナルヲ以テ廣ク耕耘ニ従事スルモノナシ強者ハ恣ニ弱者ノ所有物ヲ強奪シ下級住民ノ奴隸的狀態ハ眞ニ慘憺見ルニ堪エサルモノアリ

## 伯刺西爾共和國

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政治組織

伯刺西爾國ハ千八百八十九年十一月ノ革命ニ依リ合衆共和國トナリ北米合衆國ニ倣ヒ地方分權ヲ基礎トシタル憲法ヲ制定シ中央機關トシテ大統領ノ下ニ立法行政及司法ノ三部ヲ各別ニ設ケ國內ヲ總轄セリ

立法機關ハ上院及下院ヨリ成リ大統領ノ承認ニ據ル可キ國會ナリ上院議員ハ三年ノ任期ヲ以テ各州及聯合管區ヨリ各三名宛ヲ選出シ三年毎ニ其ノ三分一ヲ改選シ下院議員ハ人口七萬人ニ對シ一人ノ比ヲ以テ各州及聯合管區ヨリ選出シ其ノ任期ハ三箇年トス(但シ州ハ少クモ四人ノ議員ヲ出スヲ要ス)

大統領ハ最高行政權ヲ有ス大統領不在又ハ故障アルトキハ副大統領之ニ代リ副大統領故障アルトキハ上院副議長下院議長中央政府高等法院長順次之ニ代ルモノトス

大統領ノ任期ハ四箇年ニシテ國民ノ直接選舉ニ係リ連續再選ヲ許サス

内閣ハ左ノ六省ヨリ成ル

- 一 大藏省
- 二 陸軍省
- 三 海軍省
- 四 工務、鐵道及公業省
- 五 内務及司法省
- 六 外務省

文部ハ内務ニ郵便電信ハ工務ニ屬ス

最高裁判權ハ中央政府ノ下ニアル高等法院ニシテ尙ホ各州ニモ地方法院ヲ設ク  
地方行政ノ爲メ國內ヲ一聯合管區及二十州ニ區別シ各州ハ中央政府ノ憲法ヲ遵  
守スル外各州各別ノ憲法及法律ヲ制定セリ

### 第二節 面積、人口

當國ハ南米大陸中最大ノ共和國ニシテ總面積三百二十一萬八千三百三十方哩(八百  
五十五萬方吉米)ヲ算シ其ノ廣袤ハ世界ノ第五位ニシテ歐洲全土ヨリモ廣ク全世  
界面積ノ十五分一ヲ領シ我カ日本ノ約十四倍ニ相當セリ

當國ハ葡萄牙ノ植民地ニシテ第十六世紀ノ初ヨリ多數ノ葡人移住シ次テ西班牙、  
伊太利、埃太利、獨逸、波蘭及佛蘭西等ノ白人種渡來シ從來土著ノ印度人若クハ黑奴

ト混スル者多ク千九百年度ニ於テ總人口千七百三十一萬八千五百五十六人(一方  
哩密度五人四)ヲ算シ其ノ約半數ハ混血族ニシテ殘餘ハ各十五パーセント宛印度  
人及黑人ニ屬シ其ノ他ハ白人種ナリ白人種中人口最多ナルハ伊太利人ニシテ葡  
萄牙、西班牙、獨逸、埃太利、露西亞、佛蘭西、土耳其、英國人等之ニ次ク

宗教ハ憲法ニ於テ信仰ノ自由ヲ許認セリト雖モ羅馬舊教最モ勢力アリ

當國ハ面積尨大ナルニ拘ラス人口稀少ニシテ交通機關發達セサル結果教育ハ主  
トシテ沿岸地方ニ於テ稍發達セルノミニシテ内地ノ諸州ニ於テハ文化未タ普カ  
ラス千九百八年度ニ於テ學齡兒童ノ就學比例ハ百分ノ八十九ニ達セリト雖モ無  
筆ノ者極メテ多シ

國語ハ葡萄牙語ナリト雖モ佛國語モ亦用ヒラル

### 第三節 一般豫算及陸軍費

千九百十年度ニ於ケル歲出豫算及陸軍費左ノ如シ

歲出豫算 三一、九、二三、八一、九六圓

### 第四節 兵役及徵募

從來當國ハ傭兵制度ナリシカ千九百八年ニ至リ國民ノ輿論ニ顧慮スルコトナク  
 專ラ軍隊能力ノ發展ニ重ヲ置キ遂ニ國民皆兵ノ義務兵制ヲ斷行シタリ而シテ此  
 ノ新法律ニ依リ總テノ伯國市民ハ二十一歳ヨリ四十四歳マテ兵役ニ服スル義務  
 ヲ有シ其ノ義務兵役ヲ左ノ如ク區分セリ

- 一 第一線軍(現役及豫備役) 九年(現役二年 豫備七年)
- 二 第二線軍(後備役) 七年
- 三 第三線軍(國民軍) 八年(國民兵役四年 同豫備役四年)

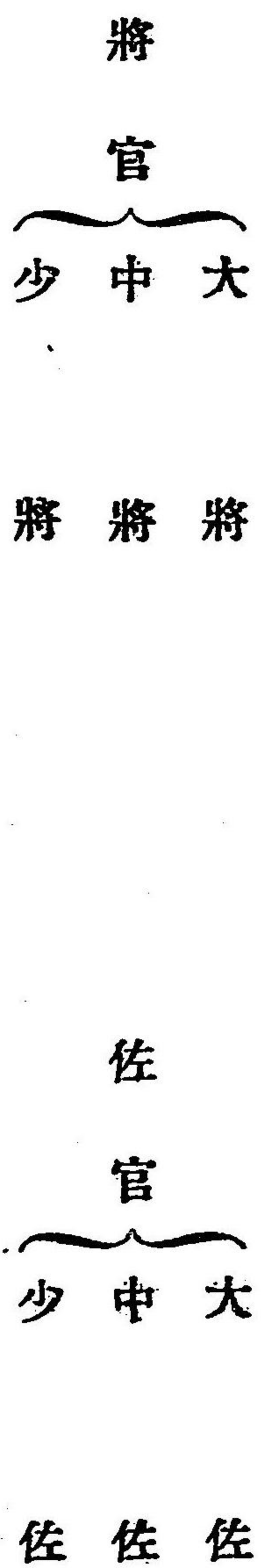
第一線軍ハ常設ノ現役諸隊及戰時事變ニ際シ召集スル所ノ豫備兵ヲ以テ編成ス  
 ルモノニシテ現役兵ハ無報酬ノ二箇年以内ノ志願兵及抽籤兵ヨリ成リ二年ノ現  
 役ヲ終リタル者ハ七箇年間當該部隊ノ豫備兵トナリ一年一回四週間以内ノ定期  
 演習召集ニ應セシム而シテ年年新兵ノ要員ヲ充足スル爲メ先ツ志願兵ヲ募リ其  
 ノ不足數ヲ抽籤兵ヲ以テ充足ス而シテ年年抽籤兵ノ入隊者ハ極メテ僅少ニシテ  
 時トシテ全部志願兵ノミヲ以テ足ルコトアリ

第二線軍即チ後備軍ハ我カ日本ノ後備軍ニ相當スルモノニシテ最初ノ三年ヲ第  
 一次、次ノ四年ヲ第二次トシ各次ヲ通シ毎年一回二週乃至四週間ノ演習召集ヲナ  
 ス外國ニ居住シアル者ハ軍務ニ服セサルモノトス

第三線軍即チ國民軍ハ戰時事變ニ際シ第三次ニ編成ス可キ地方守備軍ニシテ四  
 十歳マテハ第一次國民軍自後四十四歳マテハ第二次國民軍トシ毎年一回二週乃  
 至四週間ノ演習召集ヲ受ク可キモノトス而シテ臨時某地方ニ騷擾起ラハ聯合政  
 府ハ當該州知事ニ委任シ其ノ州内ニアル第三線軍兵役ノモノヲ以テ州軍ヲ編成  
 セシムルコトアリ

### 第五節 武官ノ階級及進級

武官ノ階級左ノ如シ



## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

當國陸軍ハ野戰軍、豫備軍及國民軍ヨリ成ル

### 第二節 中央統轄機關

大統領ハ憲法ノ定ムル所ニ依リ左ノ權限ヲ有ス

- 一 内亂又ハ外寇ニ際シ召集シタル陸海軍ノ最高指揮權ヲ有ス
- 二 陸海軍ノ軍制ヲ定メ且憲法ニ依リ特ニ制限アルモノノ外軍政ヲ處理ス
- 三 宣戰又ハ平和ヲ布告スレトモ普通ノ場合ニ於テハ議會ノ協贊ヲ待ツヲ要ス

四 内亂又ハ外寇ニ際シ急ヲ要スルトキハ議會ノ協贊ヲ俟ツコトナク獨斷ヲ以テ戰ヲ宣ス

陸軍大臣ハ最高指揮官タル大統領ノ直下ニアリテ陸軍軍政及指揮權ヲ總攬シ參謀本部軍政局、砲兵局、工兵局、衛生局、會計局等ヲ直轄シ又別ニ陸軍大臣ノ直隸下ニ監察官ヲ設ク

參謀本部ハ攻防作戰計畫、動員、輸送、諜報及豫定作戰地ノ調査等ヲ擔任シ庶務、參謀、特別勤務ノ三課ニ分ツ

監察官ニ就テハ第三節ニ述ヘントス

### 第三節 地方統轄機關

比隣國交及戰略上ノ關係ヲ顧慮シ全國ヲ十三監察管區ニ區別シ全國軍約六十五「バ」セント「ハ」亞爾然丁國境ニ配置セリ

監察區司令官ハ陸軍大臣ニ直隸シ當該管區内ニ於ケル軍隊官衙ヲ監察シ國防、作戰動員、檢閱等ニ關スル事項ヲ掌ル

### 第四節 兵役及徵募

從來當國ハ備兵制度ナリシカ千九百八年ニ至リ國民ノ輿論ニ顧慮スルコトナク  
專ラ軍隊能力ノ發展ニ重ヲ置キ遂ニ國民皆兵ノ義務兵制ヲ斷行シタリ而シテ此  
ノ新法律ニ依リ總テノ伯國市民ハ二十一歳ヨリ四十四歳マテ兵役ニ服スル義務  
ヲ有シ其ノ義務兵役ヲ左ノ如ク區分セリ

- 一 第一線軍(現役及豫備役) 九年(現役二年 豫備七年)
- 二 第二線軍(後備役) 七年
- 三 第三線軍(國民軍) 八年(國民兵役四年 同豫備役四年)

第一線軍ハ常設ノ現役諸隊及戰時事變ニ際シ召集スル所ノ豫備兵ヲ以テ編成ス  
ルモノニシテ現役兵ハ無報酬ノ二箇年以内ノ志願兵及抽籤兵ヨリ成リ二年ノ現  
役ヲ終リタル者ハ七箇年間當該部隊ノ豫備兵トナリ一年一回四週間以内ノ定期  
演習召集ニ應セシム而シテ年年新兵ノ要員ヲ充足スル爲メ先ツ志願兵ヲ募リ其  
ノ不足數ヲ抽籤兵ヲ以テ充足ス而シテ年年抽籤兵ノ入隊者ハ極メテ僅少ニシテ  
時トシテ全部志願兵ノミヲ以テ足ルコトアリ

第二線軍即チ後備軍ハ我カ日本ノ後備軍ニ相當スルモノニシテ最初ノ三年ヲ第  
一次次ノ四年ヲ第二次トシ各次ヲ通シ毎年一回二週乃至四週間ノ演習召集ヲナ  
ス外國ニ居住シアル者ハ軍務ニ服セサルモノトス  
第三線軍即チ國民軍ハ戰時事變ニ際シ第三次ニ編成ス可キ地方守備軍ニシテ四  
十歳マテハ第一次國民軍自後四十四歳マテハ第二次國民軍トシ毎年一回二週乃  
至四週間ノ演習召集ヲ受ク可キモノトス而シテ臨時某地方ニ騷擾起ラハ聯合政  
府ハ當該州知事ニ委任シ其ノ州内ニアル第三線軍兵役ノモノヲ以テ州軍ヲ編成  
セシムルコトアリ

### 第五節 武官ノ階級及進級

武官ノ階級左ノ如シ



尉官  
大尉 中尉 少尉

下士  
曹 軍 伍 卒

長 (特務曹長、一等曹長、二等曹長、三等曹長)

曹 長

五四四

見習士官

當國陸軍進級條例ハ千八百九十一年ノ改訂ニ係リ各兵科ノ將校ハ皆級ヲ逐フテ少尉ヨリ大將マテ歷進スルコトヲ得但平時ハ大將ニ進級セシムルコトナシ少尉ノ補缺ハ半部ハ故參順序ヲ以テ見習士官ヨリ任命シ他ノ半部ハ下士ヲ以テ

少尉ヨリ中尉ニ中尉ヨリ大尉ヘノ進級ハ各兵科毎ニ故參順序ニ據ルモノトス但步騎兩兵種ニ限リ半部ハ故參順序半部ハ進級試験ノ成績ニ據ラシム大尉ヨリ少佐少佐ヨリ中佐中佐ヨリ大佐ヘノ進級ハ各兵種毎ニ停年拔擢相半シテ進級セシム

將官ヘノ進級ハ順序ニ據ルコトナク總テ中央政府ノ選任ニ從フモノトス少尉ヨリ大佐マテノ進級停年ハ各階級毎ニ平時ハ二年戰時ハ一年トス

將校ノ現役服役年限及延期年限左ノ如シ

階級	服役年限	延期年限
大將	六十七歲	七十歲
中將	六十五歲	六十八歲
少將	六十二歲	六十五歲
大佐	五十八歲	六十二歲
中佐	五十六歲	六十歲
少佐	五十二歲	五十六歲
大尉	四十七歲	五十二歲
中尉	四十三歲	四十八歲
少尉	四十歲	四十五歲

延期年限 (現役滿期後本人ノ志願ニ依リ延期ヲ許ス年限)

第六節 平時編制

一 步兵

歩兵ハ之ヲ線列歩兵及獵歩兵ニ區別シ線列歩兵ハ聯隊ヲ最高單位トシ一聯隊ハ三大隊、二大隊ハ三中隊ヨリ成リ獵歩兵ハ大隊若クハ中隊編成ニシテ一大隊ハ三中隊編成ナリ

二 騎兵

騎兵ノ最大單位ハ旅團ニシテ一旅團ハ騎兵三聯隊及騎砲兵一中隊ヨリ成リ一聯隊ハ四中隊ヨリ成レリ又別ニ二中隊編成ノ聯隊及傳令搜索騎兵小隊アリ

三 砲兵

榴彈砲野砲騎砲山砲及要塞砲兵ノ別アリ榴彈砲ハ中隊編成野砲ハ一聯隊ヲ三大隊一大隊ヲ三中隊騎砲兵ハ一大隊ヲ三中隊山砲兵ハ一大隊ヲ三中隊トナシ各種種毎ニ一中隊ハ四門編成トセリ

四 工兵

大隊編成ニシテ一大隊ハ四中隊ヨリ成レリ又若干ノ獨立工兵分隊アリ

五 平時高等編制

平時國軍ノ大部ヲ以テ戰略旅團(戰時師團ニ改正ス)五箇編成ヲシ殘餘ハ各兵種各

別ニ獨立部隊トシテ全國ニ配布ス

戰略旅團ノ編制左ノ如シ

戰列歩兵三聯隊

機關銃一中隊(九挺)

騎兵一聯隊(二中隊)

傳令搜索騎兵一小隊

野砲兵一聯隊(九中隊)

榴彈砲一中隊(四門)

工兵一大隊

輜重兵一大隊

其ノ他ノ輜重

一 歩兵

第七節 平時兵力



- 線列步兵聯隊 十五
- 獵步兵大隊 十二
- 獵步兵獨立中隊 十三
- 機關銃中隊(九挺編成) 五
- 機關銃小隊(三挺編成) 十二
- 二 騎 兵
- 線列騎兵聯隊(四中隊) 九(騎兵旅團ヲ編成スルモノ)
- 獨立騎兵聯隊(四中隊) 三
- 各旅團配屬騎兵聯隊(二中隊) 五
- 傳令搜索騎兵小隊 十二
- 三 砲 兵
- 野砲兵聯隊 五(百八十門)
- 榴彈砲中隊 五(二十門)
- 騎砲兵大隊 三(三十六門)

- 山砲兵大隊 二(二十四門)
- 要塞砲兵聯隊 三(一聯隊ハ六中隊)
- 同 大隊 六(一大隊ハ二中隊)
- 同 中隊 六
- 四 工 兵
- 工兵大隊 五
- 獨立工兵分隊 十七
- 五 其ノ他ノ輜重及諸廠
- 輜重兵中隊 五
- 騎兵旅團輜重兵中隊 一
- 兵器廠 五
- 彈藥縱列 十八
- 衛生擔架隊 十五
- 架橋材料廠 五

電信材料廠

五 五

遊動馬廠

平時兵力ハ年々豫算案ニ依リ多少ノ増減アリト雖モ約三萬内外(將校二千六百二十六人ヲ含ム)ナル可シ

### 第八節 平時兵力ノ配置

當國ハ亞爾然丁共和國ト共ニ南米大陸ノ二大強國ニシテ亞國トハ歴史及人種ノ關係上相容レサルノミナラス國力發展ノ優劣ヲ競ヒ互ニ南米ノ霸王タラントシ嫉視反目ノ度ヲ高メツツアルヲ以テ其ノ國防ノ方針モ亦之ニ準シ主トシテ亞國ニ對スル作戰ニ甚大ナル顧慮ヲ拂ヒ其ノ陸軍兵力約六分五強ヲ首府以南ノ地域ニ集結シ殘餘ノ六分一ヲ首府以北ノ廣漠ナル地域ニ散屯セリ就中亞國ニ接スル最南ノ地境ニ約半部ノ兵力ヲ配置シアリ以テ如何ニ當國カ亞國ニ對シ戰爭準備ニ努メツツアルヤヲ察知シ得ヘシ

### 第九節 學校

左ノ陸軍諸學校アリ

- 一 聯隊學校
  - 二 士官學校
  - 三 歩兵及騎兵實施學校
  - 四 砲工學校
  - 五 砲工兵實施學校
  - 六 參謀學校
- 聯隊學校ハ下士養成ノ目的ヲ以テ兵卒及下士卒ヲ教育スルモノニシテ各所屬團隊長ノ統轄ニ屬ス
- 士官學校ハ各兵種將校ヲ養成スル所ニシテ「ホルト、アレグレ」市ニアリ其ノ修學年限二箇年ニシテ學生タラントスル者ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受クル外左ノ要件ヲ具備セサル可カラス
- 一 六箇月間兵卒ノ階級ニ在リテ現役勤務ノ實習ヲナシタル者

- 二 諸勤務ヲ實習シ所屬團隊長ノ品行證明書ヲ有スル者
  - 三 體格検査ニ合格セル者
  - 四 滿十七歳以上二十二歳以下ノ者
  - 五 未婚者又ハ子女ナキ嫁夫
  - 六 入學試験ニ合格シタル者
- 歩騎兵實施學校ハ歩騎兵將校ノ爲メ必要ナル應用教育ヲ授クル所ニシテ在學期ヲ十箇月トシ歩騎兵將校ハ必ス之ニ入校スルノ義務ヲ有ス
- 砲工學校ハ砲兵及工兵科將校ニ其ノ兵科専門ノ教育ヲ授クル所ニシテ兼テ砲工兵實施學校入學ノ準備級トナセリ在學期ハ砲兵科ハ二年工兵科ハ三年トス
- 砲工兵實施學校ハ砲工兵科將校ニ必要ナル特別専門ノ教育ヲ完成スル所ニシテ其ノ在學期ヲ十箇月トス
- 參謀學校ハ參謀本部長ノ監督下ニアリテ大尉以下ノ將校ニ參謀ノ業務ヲ特別ニ教育スル所ニシテ在學期ヲ二年トス

### 第十節 戰時兵力ノ大要

戰時編制詳ナラス從テ其ノ兵力ノ打算又精確ナラスト雖モ戰時少クモ三十萬ノ陸軍ヲ動員シ得ヘシト云フ

## 「ブルガリア」國

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政體

憲法ハ千八百七十九年ニ制定セラレ千九百九年ニ改正セラレタリ行政權ハ皇帝ニ屬ス

國民議會ハ三百人ノ議員ヨリ成ル  
行政上ノ區劃 北部ブルガリヤハ十七縣(五十七郡)ヨリ成リ南部ブルガリヤ  
ハ六縣(二十八郡)ヨリ成ル

### 第二節 面積及人口

面積 九萬六千三百四十五平方吉米  
人口 四百三十三萬人ニシテ一平方吉米ノ密度ハ四十五ニ當ル

### 第三節 豫算

國家ノ總支出(千九百十一年)ハ一億七千八百三十九萬五千四百四十三レインシテ  
陸軍豫算ハ三千九百六十四萬二千六十一レイトス(「レイ」ハ我カ約三十八錢ニ相  
當ス)

## 第二章 陸軍

### 第一節 統帥及行政

軍ノ最高指揮ハ皇帝ニ屬ス

陸軍省 陸軍省ハ左ノ諸部局ヨリ成ル

一 陸軍參謀部 陸軍參謀部ハ四課ヨリ成ル即チ作戰課(作戰謀報、通信、監督、豫  
審及懲罰ヲ掌ル)動員課、陸地測量課、庶務課之ナリ

二 官房 官房ハ一般問題、人事、文庫等ノ事務ヲ管掌ス

- 三 砲兵監部
- 四 騎兵監部
- 五 工兵監部
- 六 衛生監部
- 七 法務局
- 八 監督部

地方統帥 地方事務ノ爲メ全國ハ三箇ノ監軍區ニ區分セラル而シテ各管區ニハ其ノ長トシテ監軍ヲ有シ之ニ參謀長タル大佐一、少佐一、監督官一ヲ屬ス  
監軍ハ其ノ管内ノ軍隊ヲ統督スト雖モ歩兵以外ノ部隊ハ教育上ニ就テハ其ノ固有兵科ノ兵監ニ屬ス

- 軍管區ノ管轄區域左ノ如シ
- 第一監軍區 第一、第六、第七師團ヲ管轄シ司令部ハ「ソフイヤ」ニ在リ
- 第二監軍區 第二、第三、第八師團ヲ管轄シ司令部ハ「スタラザゴラ」ニ在リ
- 第三監軍區 第四、第五、第九師團ヲ管轄シ司令部ハ「ルスチウク」ニ在リ

### 第二節 兵役法

#### 徵兵

義務服役ニ關スル法律ハ千八百九十一年ニ制定セラレ千八百九十七年、千九百一年、千九百三年ニ改正セラレタリ  
服役ノ期限及條件 服役期限ハ二十五箇年ニシテ二十歳乃至四十六歳ノ間

トス

現役 歩兵ハ二年、他ノ兵種ハ三年トス但實際ニ於テハ歩兵ハ十八箇月、其ノ他ノ兵種ハ三十箇月服役ス

現役軍ノ豫備 歩兵ハ十八年、其ノ他ノ兵種ハ十六箇年トシ十四乃至十八週宛毎年召集ス

第一次民兵役 歩兵ハ四年、其ノ他ノ兵種ハ五年トシ毎年七日乃至二十一日間召集ヲ受ク

第二次民兵役 各兵種共二年ニシテ毎年三日乃至七日間召集ヲ受ク  
戰時ニ方テハ青年ノ十七歳ニ達シタル者ハ之ヲ召集スルコトヲ得

#### 免除

家族ノ扶養者、高等諸學校生徒ハ一年間ノ兵役義務ヲ有スルノミ又回回教徒ハ兵役ニ服スルコトナシト雖モ兵役稅ヲ支拂フヲ要ス

#### 兵役稅

兵役稅ハ免除者又ハ兵役ニ適セサル者之ヲ支拂フヲ要シ其ノ額ハ其ノ財產額ニ

從ヒ毎年二十乃至六十レイトス

### 第三節 將校、下士

#### 階級

下士卒ノ階級ハ上等兵新參下士(二等下士)古參下士(一等下士)及曹長ニ分ツ  
將校ノ階級ハ我カ國ニ於ケルモノニ同シ  
將校及下士ノ現員次ノ如シ即チ下士ノ再役者約三千五百人再役者ニ非ラサル者  
四千六百八人將校ノ常備幹部二千六百七十人補充將校二千六百八十二人(民兵將  
校ヲ含ム)

#### 下士ノ補充及進級

**補充** 下士ハ聯隊ノ下士教育小隊諸教導大隊及士官學校ヨリ補充ス而シテ下  
士任官ノ條件トシテハ一箇年服役シ(高等ノ教育ヲ受ケタル者ハ六箇月)採用試験  
ニ及第スルヲ要ス

**進級** 進級ノ條件ハ一等下士ニ進級スルニハ再服役ヲナスヲ要シ曹長トナル

ニハ服役三箇年ヲ經サル可カラス

#### 將校ノ補充及進級

**補充** 第一「ソフィヤ」ノ士官學校 士官學校ヘノ入學ハ競争試験ニ依ルモノ  
ニシテ年齢十六歳乃至二十一歳ノ者受験資格ヲ有ス學校ノ修學期限ハ各兵科ヲ  
通シテ二箇年ニシテ第一年ハ各兵科共通ノ科目ヲ教授シ第二年ニ於テ其ノ兵科  
専門ノ科目ヲ教授ス但砲兵生徒ノ爲ニハ一箇年間數學ノ補足教授ヲナス卒業シ  
タル生徒ハ直ニ下士ニ任命セラレ六箇月間部隊ニ派遣セラレテ士官候補生ノ名  
稱ヲ以テ見習勤務ニ服ス

第二 外國ノ士官學校ヲ卒業シタル生徒ヨリ補充ス

第三 特別ノ課程ヲ履修セル豫備將校ヨリ補充ス

**進級** 將官ノ外ハ總テ停年ニ依リ進級ス然レトモ大尉ハ實地課程ヲ履修シ良  
成績ヲ得ルニ非ラサレハ少佐ニ進級スルヲ得ス又進級不適當ノ者ハ進級ヲ延期  
セラル可ク此ノ延期三回ニ及フトキハ退職ヲ命セラル

#### 聯隊以外ノ教育

「ソフイヤ」ノ騎兵學校 本校ハ次ノ課程ヲ實施ス即チ騎兵中隊長ノ爲メノ完成課程騎兵青年將校ノ爲ノ實地教育課程下士及教導中隊ノ爲ノ教育課程之ナリ

將校ノ資格

地位 將校ノ地位ヲ分テ在職現役休職現役豫備民兵役及退役トナス  
罷職 千九百十年改正ノ年限年齡ハ大尉四十八少佐五十二中佐五十五大佐五十八將官ノ職務ヲ行フ大佐ハ六十將官六十五トス而シテ將校ハ總テ六十歳マテハ豫備役内ニアルモノトス  
將校ノ其ノ官職ヲ失フ場合ハ辭職瘵疾ニヨル退役無能力及處刑ヲ受ケタルトキトス

補充將校

補充 補充將校ハ左ノモノヨリ補充ス  
舊現役將校ヲ六十歳マテ豫備役ニ置ク  
十五箇年勤務シタル舊下士  
中等教育ノ證狀ヲ有スル者ニシテ十一箇月間クニヤエヅオ」ノ豫備將校學校ノ

課程ヲ修メ以テ見習士官トシテ一年間部隊ニ服務シタル者

第四節 軍隊及諸勤務

歩兵

平時歩兵ハ三十六聯隊ヨリ成リ各聯隊ハ四中隊編制ノ二大隊及列外一中隊ヨリ成ル各聯隊ハ市府州又ハ人ノ名ヨリ採リタル特稱ヲ有ス  
國境中隊 各歩兵聯隊ハ第九中隊ヲ有シ國境ノ勤務ニ充當ス而シテ國境中隊ハ六箇月毎ニ順次交代スルモノトス  
國境中隊ハ新兵ヲ受領スルコトナシ  
機關銃隊 各聯隊ニ機關銃一隊(大尉一、中尉一、二等下士一、二等下士四、兵卒十、技手二)ヲ有シ平時ニ銃編成ナルモ戰時ハ四銃ヨリ成ル  
定員 中隊ノ定員ハ平時百六人トス  
戰時編制 現役軍各聯隊ハ戰時四箇大隊ニ編成セラレ尙ホ各聯隊ニ於テ一大隊ノ補充隊ヲ編成ス即チ戰時現役軍ノ總計ハ百四十四大隊及三十六補充大隊トス

豫備軍歩兵ハ戰時三十六聯隊ヲ編成セラレ各聯隊ハ四中隊編制ノ四大隊ヨリ成  
ル  
第一次民兵ハ戰時四中隊編制ノ三十六大隊ヲ編成セラレ第二次民兵ハ三十六箇  
ノ半大隊ヲ編成ス

戰時定員 現役軍一大隊ハ將校十四下士卒千六十三ヨリ成リ豫備軍一大隊ハ  
約九百人ヨリ又民兵一中隊ハ百五十乃至百六十人ヨリ成ル

### 騎兵

平時騎兵ハ左ノ諸隊ヨリ成ル

三中隊編制ノ近衛騎兵一聯隊軍馬補充一隊輜重隊線列騎兵十聯隊内四聯隊  
ハ四中隊編制ニシテ六聯隊ハ三中隊編制トス尙ホ軍馬補充一隊及輜重一隊ア

「ソフイヤ」ノ騎兵學校ニ於ケル教導中隊一

各騎兵聯隊ハ二箇ノ半聯隊ニ區分セラレ各半聯隊ハ中佐之ヲ指揮ス

機關銃隊 機關銃隊ハ各騎兵聯隊毎ニ四門ノ一隊ヲ附ス

定員 三中隊編制ノ諸聯隊ハ將校十八兵卒三百二十馬匹三百二十四中隊編  
制ノ諸聯隊ハ將校二十三兵卒五百五十馬匹五百ヨリ成ル  
戰時編制 各聯隊ハ戰時四中隊ニ編成セラル故ニ戰時隊數總計四十四箇中隊  
及補充十一中隊トナル  
戰時定員 一聯隊ハ將校二十七名兵卒六百二十名乘馬五百二十四頭枕馬九十  
頭ヨリ成ル

### 野戰砲兵

平時野砲兵ノ總數ハ九箇聯隊ニシテ二聯隊ハ三中隊編制ノ二箇大隊ヨリ成ル  
重砲兵 野砲兵中ノ三箇聯隊ハ十二瓏榴彈砲一中隊ノ幹部ヲ有ス

定員 野砲兵中隊ノ定員ハ將校三下士二十五兵卒八十乃至八十五馬匹四十八  
砲六門トス

戰時編制 戰時諸聯隊ハ豫備ノ第三大隊ヲ動員シ總計八十一中隊トナル

### 山砲兵

山砲兵ハ總計三聯隊ニシテ聯隊ハ二中隊編制ノ二大隊ヨリ成ル



定員 平時一中隊ハ將校三、下士六、兵卒八十九、馬匹五十、砲六門ヨル成ル  
戰時編制 山砲兵ハ戰時十八箇中隊アリ、テ一中隊ノ定員ハ將校三、下士卒百六  
十三、馬匹百一頭、砲四門トス

要塞砲兵

平時二中隊編制ノ三大隊及職工中隊アリ、一大隊ノ定員ハ將校十八、二等下士二十  
四、兵卒千人トス

工兵

平時工兵隊ハ左ノ諸隊ヨリ成ル  
六中隊編制ノ鐵兵三大隊(第一大隊ニハ自動車一小隊ヲ屬ス)  
四中隊編制ノ電信一大隊  
五中隊編制ノ橋船一大隊  
四中隊編制ノ鐵道一大隊  
工兵廠一

氣球、自動車、爆破手ノ三部隊ヨリ成ル技術一中隊  
定員 大隊ノ定員左ノ如シ

鐵兵大隊ハ將校九、下士十七、兵卒百八十八

橋船大隊ハ將校十一、下士十七、兵卒二百十一

鐵道大隊ハ將校十、下士十七、兵卒二百

戰時編制 一大隊ノ定員左ノ如シ

鐵兵ハ將校二十、下士卒八百四十七

一中隊ノ定員ハ

橋船兵 將校十一、下士卒五百三十六

鐵道兵 將校十、下士卒三百四十

輜重兵

輜重兵ハ野砲兵聯隊ニ屬スル九隊アリ

定員 一隊ノ定員ハ將校三、下士十、兵卒十七トス

給養隊

師團毎ニ給養兵一中隊、收納一隊、材料並職工隊一隊アリ

衛生隊 九隊アリ

憲兵 九中隊アリ

尙ホ軍紀中隊アリ

平時兵力ノ總計約五萬五千人トス

### 參謀職員

參謀官ハ將校トシテ四年間服役シ陸軍大學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充ツ而シテ參謀本部ノ將校ハ大尉タルヲ要ス又此等將校ハ二年間隊附勤務ニ服ス可キモノニシテ内一年ハ自己兵科ノ中隊長トナリ他ノ一年ハ他兵科ノ二種ノ部隊ニ於テ見習ヲナス可キモノトス

### 監督勤務

監督勤務ハ左ノ諸部ニ於テ之ヲ採ル

陸軍省ノ監督

各師團管區ニ於テハ監督部長ハ中佐トシ其ノ下ニ二名ノ文官ヲ屬ス尙ホ師團

監督部長ハ其ノ隸下ニ少佐ヲ長トセル收納課、材料職工隊課及監督中隊ヲ有ス  
右ノ外大衛戍地ニハ大尉ノ指揮スル監督勤務部アリ

監督勤務ハ陸軍ノ材料購買、被服ノ購買並糧食勤務ヲ確保ス然レトモ基礎ノ勤務及會計ノ監督ハ大藏省ニ於テ之ヲ行フ

監督勤務員ノ補充 監督勤務員ハ「ソフィヤ」ニ於ケル監督勤務課程ヲ修業シタル者ニシテ少クモ三箇年將校ノ階級ニ在リシ者ヨリ補充ス

## 第五節 兵器、材料、器具、彈藥、輜重

### 兵器

歩兵 歩兵ハ千八百九十五年「マンリッヘル」式連發銃ヲ用フ其ノ口徑ハ八密米トス但民兵ハ口徑十一密米ノ「ベルダン」式銃ヲ用フ又機關銃ハ「マキシム」式トス  
騎兵 革製靴ヲ有スル露式騎兵刀ヲ佩フ又槍ハ近衛聯隊之ヲ有ス  
千八百九十年「マンリッヘル」式連發騎銃ヲ有ス口徑ハ八密米トス  
將校ハ「バラベリユム」式連發拳銃ヲ有ス

機關銃ハ「マキシム」式ナリ

野砲兵 野砲ハ口径七百五十五密米千九百三年「シユナイデル、カネー」式速射加農トシ砲架上ニ於テ後坐ス防楯ヲ有シ彈丸ノ重量ハ六吉瓦五〇〇ニシテ射程五千九百米トス

馭者及砲手ハ刀及拳銃ヲ有ス

山砲兵 山砲ハ有楯速射山砲ニシテ砲身ハ一驛馬ニ砲架ハ三頭ノ驛馬ニ積載スルコトヲ得

要塞砲兵 「グループ」「シユナイデル、カネー」式等諸種ノ加農アリ

榴彈砲ハ「クルーゾー」ノ十二珊米ヲ用フ

砲手ハ千八百九十五年「マンリッヘル」式連發銃及劍ヲ有ス

工兵 鋏兵ハ銃劍ヲ有スル「ベルダン」式銃ヲ有ス又橋船兵鐵道鋏兵ハ銃劍ナキ騎銃ヲ有ス

器具

歩兵 歩兵中隊ノ携帶器具ハ匙百二十箇、十字鋏十六箇、小斧二十箇トシ聯隊ノ

輜重ニハ匙百六十箇、鶴嘴八十箇、斧四十箇ヲ有ス

騎兵 中隊ハ歩兵ト同シキ携帶器具ヲ有シ其ノ數匙三十二、十字十六、小斧八箇トス又聯隊輜重ニハ匙百二十八箇、鶴嘴六十六箇、斧三十二箇ヲ有ス

工兵 鋏兵中隊ハ匙八十、十字鋏六十、斧二十ヲ有ス

彈藥

歩兵 各人百二十發ヲ携帶ス又大隊ノ行李ハ各人五十發宛ヲ携行シ尙ホ豫備トシテ各人九十發ノ携行彈藥アリ

騎兵 各人六十發ヲ携帶ス

砲兵 野砲ハ一門三百七十五發、山砲ハ五百發ヲ有ス

糧食

各人携帶糧食ハ尋常一日分豫備二日分トス各馬ハ一日分ノ燕麥ヲ携帶ス又聯隊輜重ニハ二日分ノ糧秣ヲ有ス

架橋輜重 埃國式架橋三縱列ヲ有シ各縱列ハ百五十五米ノ架橋ヲナシ得

自働車 鋏兵第一大隊ニ自働車一小隊ヲ屬ス

### 第六節 被服及裝具

步兵 步兵ノ制服ハ濃褐色ニシテ釦ヲ有セス又裝飾及肩章ハ聯隊ニヨリ皆其ノ色ヲ異ニス袴ハ褐色羅紗製ニシテ帽ハ露國式圓形帽ニシテ露國式長靴ヲ穿テ行軍ノ際ハ自國ノ鞋ヲ用フ

騎兵 近衛騎兵ノ制服ハ青色ニシテ獨逸鎗騎兵ノモノニ似タリ其ノ他ノ騎兵聯隊ハ綠色絨製ノ步兵ト同制式ノ制服ヲ著ス肩章裝飾及綠ハ聯隊ニヨリテ色ヲ異ニシ短袴ハ濃青色ニシテ長靴ヲ穿ツ

砲兵 制服ハ濃綠色ニシテ飾色ハ黑綠ハ紅ナリ袴ハ濃青色ナリ  
工兵 制服及袴ハ濃綠色裝飾ハ黑ナリ

### 第七節 戰時編制ニ於ケル大單位及總兵力

戰時編制 戰時師團ハ九箇アリテ各師團ハ步兵二聯隊ヨリ成ル三箇旅團(内一旅團ハ豫備)(二十四大隊)騎兵三中隊(内一中隊ハ豫備)砲兵九中隊(砲兵一大隊技術一中隊)憲兵一中隊(輜重ヲ有スル衛生一隊一野戰病院一戰地病院一彈藥廠一糧食縱

列ヨリ成リ人員總計約二萬三千五百人トス

戰時動員シ得ヘキ全兵員ハ左ノ如シ

- 軍旗ノ下ニ(約) 五萬五千人
- 豫備役 十四萬五千人
- 第一次民兵役 四萬六千人
- 第二次民兵役 二萬人

## 哥倫比亞共和國

### 第一章 國勢ノ概要

### 第一節 政治組織

哥倫比亞國ハ南米ノ西北隅ニアル共和國ニシテ其ノ憲法ハ千八百八十六年改定ノモノニ係リ立法行政及司法ノ三權ヲ分立シ且中央集權制ヲ採用セリ  
 立法權ハ議會ノ掌握スル所ニシテ議會ハ上下兩院ヨリ成リ兩院議員共ニ二箇年ノ任期ヲ有ス  
 行政權ハ大統領ノ掌握スル所ニシテ大統領ハ四年ノ任期ヲ以テ間接選舉法ニ依リ選出セラル  
 内閣ハ内務、外務、大藏、軍務、文部及公業省ノ六省ヨリ成ル

### 第二節 面積、人口

面積約四十五萬方哩(百十二萬七千三百七十二方吉米)ヲ有シ我カ國ノ約一倍八ニ相當シ總人口四百三十二萬人(二方哩ノ密度平均十人ニ相當ス)ニシテ其ノ百分ノ三十八白人種及混血種百分三十八純粹ノ印度人百分十四ハ黑人百分二十三ハ著色人種ノ混血族タリ羅馬舊教ヲ以テ國教トスト雖モ敢テ信仰ノ自由ヲ妨ケス

當國ハ南米諸國中教育ノ普及最モ不完全ニシテ頗ル幼稚ノ域ニアリ

### 第三節 一般豫算及軍事費

千九百九年度ニ於ケル一般豫算及軍事費左ノ如シ

入	三四、五五〇、九八九圓
出	三四、五四九、七八九圓
軍事費	五、四七八、六八八圓

## 第二章 陸軍

憲法上陸海軍平戰兩時ノ最高指揮官ハ大統領ニシテ内閣ノ一員タル軍務大臣ヲシテ直接政務ノ實施、監督、指揮ニ任セシム又各州ニハ各一名ノ監軍ヲ置キ各地屯在ノ軍隊ノ指揮教育ニ任セシム  
 兵役ハ義務兵役ニシテ現役及豫備役ノ二ニ分チ男子二十歳ヨリ六十歳マテ兵役

ノ義務ヲ有スト雖モ是レ豫備軍即チ民兵トシテ帳簿ニ記録スルニ止マレリ而シテ現役兵ハ民兵中ノ志願者ヲ募リテ之ヲ編成シ四年ノ服役トセリ當國ノ兵數ハ毎年議會ノ協賛ニ依リ決定スルモノニシテ從來約一萬人ノ定數ヲ有セシカ財政困難ノ結果大ニ軍備ヲ縮小シ千九百五年以後ニ於テハ約五千人内外ニ減少セリ即チ千九百九年調査ニ依レハ將校以下六千五百二十八人ヲ保有セリ

當時名義上ノ隊數左ノ如シ

歩兵十八大隊

砲兵二大隊

陸軍ノ最高編成ハ軍團ニシテ二師團ヨリ成リ師團ハ歩兵二旅團旅團ハ二箇若クハ二箇以上ノ大隊大隊ハ六中隊中隊ハ將校以下百人ヨリ成ル騎兵ハ平時之ヲ編成セス事變又ハ必要ニ際シ在郷兵及馬匹ヲ徵集シテ臨時之ヲ編成ス而シテ一聯隊ハ二若クハ三中隊ヨリ成ル砲兵一大隊ハ六中隊一中隊ハ砲四門（「クルップ」山砲又「ハルンツ」式野砲）ヨリ成ル

將校養成ノ爲メ首府ニ一士官學校アリ從來ハ佛國將校ヲ講師トセシカ近來ハ智利國將校ヲ聘シ居レリ

國家必要ノ時ニ際シ編成ス可キ豫備軍即チ民兵ノ兵力ハ計算上約十二萬人ニ達スト雖モ軍事上ノ教育素養ナク且武器被服ノ準備ナク臨時農民ヲ召集シ民間ノ武器馬匹等ヲ徵發應用スルニ過キサルヲ以テ其ノ價值又想像ニ値セス

### 「コスタリカ」共和國

## 第一章 國勢ノ概要

### 政治組織

「コスタリカ」國ハ中米ノ東部巴奈馬國ニ隣スル共和國ニシテ其ノ憲法ハ千八百七

十年ノ制定ニ係リ立法權ハ議會ノ掌握スル所ナリ  
議會ハ唯一院ニシテ千九百二年度ニ於テ三十二名ヲ有セリ其ノ任期ハ四年ニシ  
テ二年毎ニ其ノ半数ヲ改選ス  
行政權ハ大統領之ヲ總轄ス大統領ハ民選ニシテ四年ノ任期ヲ有シ連續再選ヲ許  
サス大統領ノ下ニ左ノ四省ヲ設ク

外務省

司法兼文部省

内務兼警務省

大藏兼商務省

陸海軍省

司法ノ爲メ高等法院一控訴院二及數多ノ地方裁判所ヲ設ケ高等法院ノ裁判官ハ  
議會之ヲ任命シ其ノ他ハ高等法院ニ於テ之ヲ任命ス  
又地方行政ノ爲メ全國ヲ五縣及二地方ニ區別シ大統領ノ任命スル知事ヲシテ之  
ヲ統轄セシム

面積 二三〇〇〇方哩(四萬八千四百十方吉米)

人口 三六八七八〇人

國民ハ主トシテ印度人ニシテ之ニ歐米ノ移民及混血族ヲ混セリ而シテ國民ノ約

八割ハ首府高原地方ノ都市及沿海ノ商港附近ニ居住シ海岸地方ニハ主トシテ黒  
人及混血族住居セリ千九百十年度ノ調査ニ依レハ全人口三十六萬八千七百八十  
人ニシテ外國人ノ數ハ千九百二年度ニ於テ西班牙人八百三十一人伊太利人六百  
二十二人獨乙人三百四十二人英人二百四十六人米人二百四人英領西印度人六百  
三十四人計六千二百八十九人ヲ有セリ  
宗教ハ羅馬加特力教ヲ信スル者多ク國語ハ西班牙語ナリト雖モ英語モ亦廣ク使  
用セラル

豫算

千九百九一十年年度歲出豫算 六、七七三、七八一圓

同 陸海軍豫算 二、二四〇、四五二圓

## 第二章 陸軍

兵制明瞭ナラスト雖モ戰時ニ際シテハ十八歲以上五十歲未滿ノ男子ハ兵役ニ服

スルノ義務ヲ有シ現役軍六千八百四十五人豫備軍一千四百七十人國民軍五百二十人ヲ保有シ現役軍ハ之ヲ三旅團ト一大隊及三中隊ニ編成セリ  
戰時ニ際シテハ約一萬二千人ヲ動員シ得ヘシト云フ

## 公 果

### 第一章 國勢ノ概要

公果ハ阿弗利加中部公果河ノ河孟ニシテ元ト公果自由國ト稱シ千八百八十二年白耳義王<sup>レ</sup>オボルド<sup>レ</sup>二世ニヨリテ建設セラレ同國王ノ主權ノ下ニ置カレシモノナリト雖モ之レ同國王一人ノ所有ニシテ白耳義國トハ何等ノ關係ヲ有スルモノニ非ラサリシガ千九百七年十一月之カ併合條約ヲ締結シ翌千九百八年十月白

耳義立法院議會及同國王ニ依リ其ノ屬領トシテ承認セララルニ至レリ  
面積ハ二百三十八萬二千八百平方吉米ニシテ人口ハ約一千五百五十萬人ヲ算シ千九百七年ニハ白人二千九百三十九人(白耳義人千七百二十二)ナリキ  
白耳義ノ公果ニ對スル千九百十年度豫算ハ約一千九百四十萬圓ニシテ内陸軍豫算ハ二百九萬圓ナリトス

## 第二章 陸 軍

### 第一節 統轄機關

公果ノ陸軍ハ總テ公果太守ノ統督スル所ニシテ陸軍司令官ハ太守ニ隸屬シテ國內ノ安寧秩序ノ維持ニ任ス可キ一機關タルニ過キス

### 第二節 將校下士卒ノ補充



公果陸軍ノ將校ハ總テ歐洲人ニシテ次ノ者ヨリ補充ス即チ歐洲各國ノ現役又ハ豫備役將校三箇年以上阿弗利加ニ勤務シ「アリラセル」ニ於テ學術試驗ニ及第セル下士並白耳義本國軍ノ將校ニシテ隊附又ハ陸地測量部附ノ志願者之ナリ下士ノ補充ハ一部ハ白耳義本國軍ノ下士ヨリ他ノ一部ハ土人中ヨリス而シテ土人ハ一般ニ軍曹マテ進級スト雖モ例外トシテハ特別ニ一等軍曹及曹長マテ進級スルコトヲ得

兵卒ハ志願兵及徴兵(民兵ト稱ス)ヨリ成リ毎年ノ徴兵人員ハ志願兵ノ數ニヨリテ變化スルモノニシテ毎年十四歳乃至二十五歳ノ男子中ヨリ所要人員ヲ抽籤ニヨリテ採用ス而シテ徴兵ニ採用セラレタル土人ノ家奴ハ之ニヨリテ自由民トナリ得ルモノトス

徴兵ノ服役期限ハ現役七年豫備役五年トシ志願兵ノ志願服役期限ハ一期二年ニシテ逐次志願ヲ追加スルコトヲ得

右ノ外年年新兵ト共ニ勞働兵ト稱スルモノヲ召集シ鐵道敷設工事ニ從事セシム尙ホ年年普通徴兵ノ定員外ニ約三百人ノ兵卒ヲ徴集シ之ヲ遊動豫備兵ト稱シ半

箇年教育ヲ施シタル後一種ノ屯田兵トシテ一定ノ村落ニ植民セシム其ノ服役期限ハ六箇年ニシテ何時ニテモ召集ニ應シ得セシム

志願兵及徴兵ノ教育ハ三箇ノ教導隊ニ於テ施行セララルモノニシテ豫備兵ハ每年一種ノ簡閱點呼ヲ行フノ外特ニ教育ヲ施スコトナシ

### 第三節 軍隊

陸兵 步砲工兵ノ三兵種ヨリ成リ其ノ隊數左ノ如シ

各州ノ守備歩兵 二十一中隊

教導隊 三大隊(六中隊)

「シンカサ」要塞ノ守備歩兵 一中隊

砲工兵隊 一中隊

右ノ外國境軍隊約二千六百人

以上兵員合計約一萬六千人(豫備軍兵力約九千人ニシテ戰時)

歩兵中隊ハ約兵員五百人ヨリ成リ各州屯在歩兵ハ州毎ニ一中隊ノ割合ヲ以テ配

布セラレ州ノ首都ニ主力約二百人屯在シ他ハ小隊又ハ半小隊ニ分レ州内各地ニ屯在ス  
 教導隊ノ兵員ハ總計二千五百人ニシテ「ルキ」「イレア」及「リサラ」ニ各一大隊（二中隊）宛屯在ス  
 「シンカサ」要塞ノ守備歩兵中隊及砲工兵中隊ハ同要塞ニ屯在シ機關銃及野砲ヲ有ス  
 國境軍隊ハ東部及北部國境ノ保安ニ任スル警察團ナリ

## 濠洲聯邦

### 第一章 國勢ノ概要

#### 第一節 政治組織

濠洲聯邦ハ濠太利亞大陸、多斯馬尼亞島及其ノ附屬ノ諸島ヲ包含スル英帝國ノ自治植民地ニシテ總督ハ英國國王ヲ代表シテ政務ヲ總攬シ兵馬ノ大權ヲ兼ヌ而シテ聯邦議會ノ議員中ヨリ選拔セラルル各大臣ハ集テ一ノ責任内閣ヲ組織シ且自ラ行政會議ノ一員トナリ總督ヲ之カ議長ニ推戴シ以テ行政ノ輔翼ニ任ス  
 立法權ハ總督及上下兩院ヨリ成ル議會ノ掌握スル所ナリ

#### 第二節 面積、人口

濠洲聯邦ノ面積ハ二百九十四萬八千三百六十六方哩ニシテ我カ帝國ニ比スレハ約十二倍ス  
 千九百八年十二月盡日調ニ據ル濠洲ノ人口ハ約四百四十五萬三千三百八十五人ニシテ内未開ノ土人約十五萬三千人アリ即チ其ノ總人口ハ我カ帝國人口ノ約十分一ニ相當シ人口ノ密度一方哩ニ一人四分五厘ナリ亦以テ其ノ人口ノ稀薄ナルヲ知ル可シ

### 第三節 豫算

#### 一般豫算

千九百十年—十一年度ニ於ケル濠洲聯邦ノ歳出豫算ハ一億五千九百九十六萬四千四百十八圓七十二錢ナリ

#### 陸軍豫算

千九百十一年—十二年度ニ於ケル陸軍費ハ九百八十五萬四千三百八十圓八錢トス

## 第二章 陸軍

### 第一節 陸軍ノ組織

現濠洲陸軍ハ千九百三年ノ軍制改革ニ依リ編成セラレタルモノニシテ志願兵制度ニ依リ建設セラレタル國軍ヲ常備基幹隊野戰軍及守備軍ニ區分ス其ノ任務左ノ如シ

常備基幹隊 軍事教育ニ任スル常置幹部砲兵一聯隊其ノ他ノ技術兵若干ヲ以テ編成シ民兵義勇兵ノ訓練及主要港灣ノ背面防禦ニ任セシメ戰時ニハ野戰軍ノ基幹タラシム

野戰軍 直接國防ニ任スルモノニシテ戰時ニ當リ民兵ヲ以テ編成スル乘馬步兵六旅團歩兵三旅團ヨリ成ル

守備軍 民兵ト義勇兵トノ混成ニシテ各州ノ地方的守備ニ任スルモノトス然ルニ濠洲政府ハ志願兵制度ノ國軍ハ必任義務制度ノ國軍ニ比シ缺點多キコトヲ自覺シ國民皆兵主義ヲ採用スルニ決シ千九百七年十二月十三日義務服役法案ヲ作成セリ此ノ案ハ濠洲ニ六箇月以上居住セル英國臣民タル男子ハ特別ノ者ヲ除キ十二歳ヨリ二十六歳ニ至ル間毎年若干日間軍事教育ヲ受ケシメ二十六歳以後ハ之ヲ豫備トスルノ制度ヲ設ケタリ

千九百十年十一月聯邦政府ハ更ニ「キッチナー」元帥ノ提案ニ基ク新制度ヲ採用セリ此ノ制度ハ義務服役法案ヲ根據トシ平時兵力ヲ八萬人トシ其ノ半ハ守備ニ他ノ半ハ遊動軍ニ充テ戰時ニハ訓練ヲ經タル豫備兵ヲ合シ十萬七千人ノ陸軍ヲ建

設セントスルニアリ  
之ヲ要スルニ濠洲陸軍ノ軍備ハ目下全ク渡過ノ時代ニアルモノニシテ「キ」チナ  
「元帥」ノ提案ニ基ク兵備ヲ完了スルニ至ルハ此ノ後八九年ノ後ニ屬ス

### 第二節 中央統轄機關

#### 一 總督

總督ハ英國國王ヲ代表シテ濠洲陸海軍ヲ統帥ス而シテ軍事秘書官及陪從官ヲ隨  
フ

#### 二 陸軍局

國防省ハ陸海軍兩局ヨリ成リ國防大臣之ヲ統轄シ議會ニ對シ其ノ責ニ任ス  
陸軍局ハ國防大臣ヲ長官トシ陸軍議員文官議員ヲ以テ合議體ヲ組織ス各議員ノ  
名稱左ノ如シ

- 參謀本部長 (第一陸軍議員)
- 軍務局長 (第二陸軍議員)

補給局長 (第三陸軍議員)

砲工兵局長 (第四陸軍議員)

政務局長 (文官議員)

財務局長 (文官議員)

右ノ外國防大臣ニ直屬セル監軍一名ヲ置キ軍隊ノ教育ヲ視察セシム

### 三 國防會議

國防會議ハ國防大臣ヲ議長トシ大藏大臣參謀本部長及海軍監督官ヲ以テ議員ト  
シ國防上ノ重要問題ニ關シ國防大臣ノ諮詢機關タリ

### 第三節 地方統轄機關

濠洲ノ海岸地方中住民稠密ノ地方ヲ二百十四ノ管區ニ區分シ各管區ニハ一名ノ  
幹部將校ヲ置キテ管區内ノ徵募及訓練事務ヲ掌ラシメ又概ネ十管區ヲ一團トシ  
合計二十一團ヲ編成シ旅團少佐ヲシテ之ヲ統轄セシム各州ハ之ヲ若干ノ地方管  
區ニ分チ管區内ノ市民軍ヲ管理シ教育ノ統一ヲ計ルカ爲メ地方幹部ヲ編成ス